

令和6年度市民アンケート調査 結果報告書

令和7年1月

盛岡市

目 次

I 事業の概要 1

II 調査結果と考察

テーマ1	市の情報発信について	
問1	広報紙を読む頻度	3
問2	広報紙を読む範囲	5
問3	広報紙を読まない理由	8
問4	広報紙に対する満足度	10
問5	市政情報等を得るために利用している媒体	12
問6	力を入れてほしい情報発信の方法	15
問7	力を入れてほしい話題	18
テーマ2	災害への備えについて	
問8	災害に備え実施している対策	21
問9	防災マップの形式	24
問10	災害に備え市が整備すべき設備	27
問11	災害・避難情報の伝達手段	30
問12	災害時に市へ望むこと	33
問13	避難場所への移動方法・支援	36
問14	避難所生活に必要な物資	40
テーマ3	市民協働について	
問15	地域活動への参加頻度	43
問16	地域活動に参加する理由	46
問17	地域活動に参加しない理由	49
問18	地域活動を活性化させる取組	52
問19	地域課題の解決策	55
問20	地域課題解決の支援・協力	58
テーマ4	シティプロモーションについて	
問21	「2023年に行くべき52カ所」に選出された感想	61
問22	「まちの文化や日常の魅力」の発信方針	64
問23	ニュース等の情報を得るために利用している媒体	66
問24	旅行先の情報を得るために利用している媒体	68
問25	盛岡市の魅力	71
問26	魅力の発信の課題	74
問27	魅力の発信の方針	77
テーマ5	交通について	
問28	民間路線バスの利用頻度	79
問29	民間路線バスを日頃利用する理由	82
問30	民間路線バスを日頃利用しない理由	85
問31	通勤・通学に利用する交通手段	88
問32	日頃の買い物に利用する交通手段	91
問33	定期的な通院に利用する交通手段	94

I 事業の概要

1 事業の目的

市民アンケート調査は、市政に対する市民の考えや意見を把握し、調査結果を施策検討の際の基礎資料として活用することにより、「市政の合理的かつ効率的な運営」を図るため毎年実施しています。

2 事業テーマ

(1) 市の情報発信について	(担当：広聴広報課)	7問
(2) 災害への備えについて	(担当：危機管理防災課)	7問
(3) 市民協働について	(担当：市民協働推進課)	6問
(4) シティプロモーションについて	(担当：都市戦略室)	7問
(5) 交通について	(担当：交通政策課)	6問

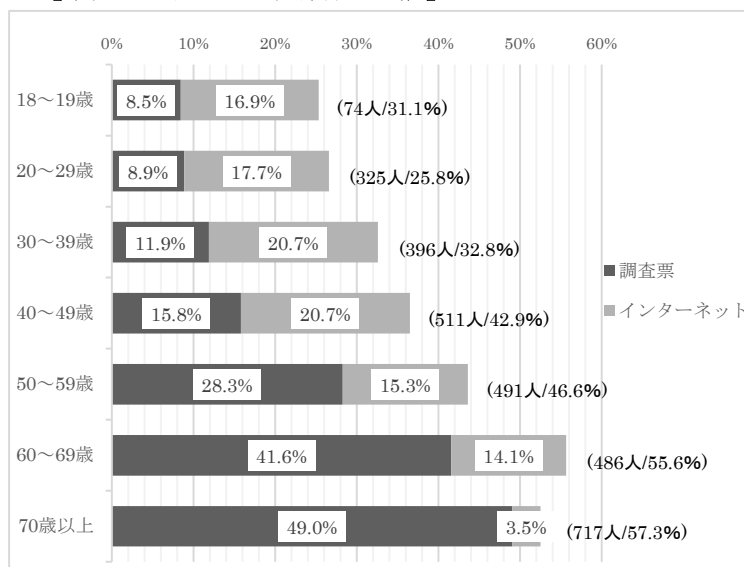
3 事業の設計

(1) 実施方法	アンケート方式による調査
(2) 調査地域	盛岡市全域
(3) 調査対象者	満18歳以上の市民
(4) 標本数	3,000人
(5) 抽出方法	住民票ファイル（令和6年6月30日）から無作為抽出
(6) 調査方法	郵送による配布・回収（インターネット回答を併用）
(7) 調査期間	令和6年8月16日～令和6年8月30日

4 調査の回収結果

(1) 対象者数	3,000人
(2) 有効回収数	1,286人（内訳…調査票：868人、インターネット：418人）
(3) 有効回収率	42.9%

【年代別回収率と回答媒体の内訳】



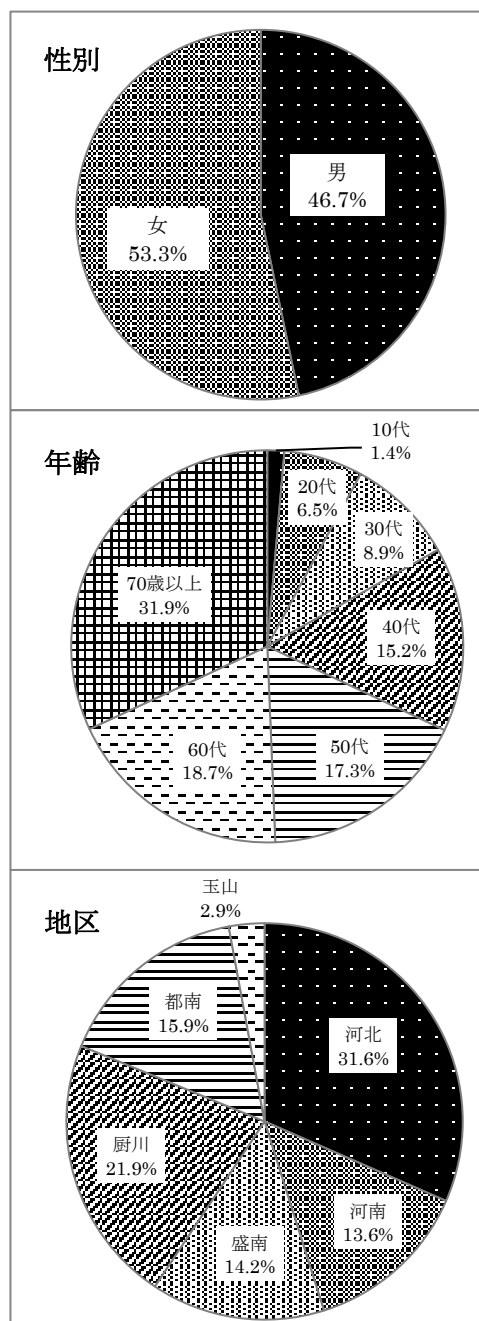
全体の有効回収率は令和5年度実施の同調査の43.0%と同程度だった。

回答のうち、インターネットでの回答率は32.5%で、令和5年度の24.0%よりも8.5ポイント高くなった。

（ ）内の数は、その年代の対象者の人数及び回答率

5 調査回答者の内訳

区分	実数 (人)
全 体	1,286
【性別】	
男 性	601
女 性	685
【年代別】	
18歳～19歳	18
20歳～29歳	84
30歳～39歳	115
40歳～49歳	196
50歳～59歳	222
60歳～69歳	241
70歳以上	410
【地区別】	
河 北	406
河 南	175
盛 南	182
厨 川	281
都 南	205
玉 山	37



【地区別】の区分について

現行のコミュニティ区分を基本単位とし、市域を次の6地区に区分しています。

1	河北	桜城、仁王、上田、緑が丘、松園、山岸、上米内
2	河南	城南、加賀野、中野、杜陵、大慈寺、築川
3	盛南	仙北、本宮、太田、繫
4	厨川	西厨川、土淵、東厨川、青山、みたけ、北厨川
5	都南	見前、飯岡、乙部
6	玉山	好摩、巻堀姫神、洪民、玉山藪川

6 留意事項について

- (1) 比率は全て百分率で表示し、小数点第2位を四捨五入して算出しました。したがって、合計が100.0%とならない場合があります。
- (2) 複数回答を求める設問では、その回答の数値は延べ回答数に対する百分率ではなく回答者数を100とした場合の百分率です。したがって、合計は100.0%を超えることがあります。
- (3) 「N」は、有効回収数で、比率算出の基礎になります。

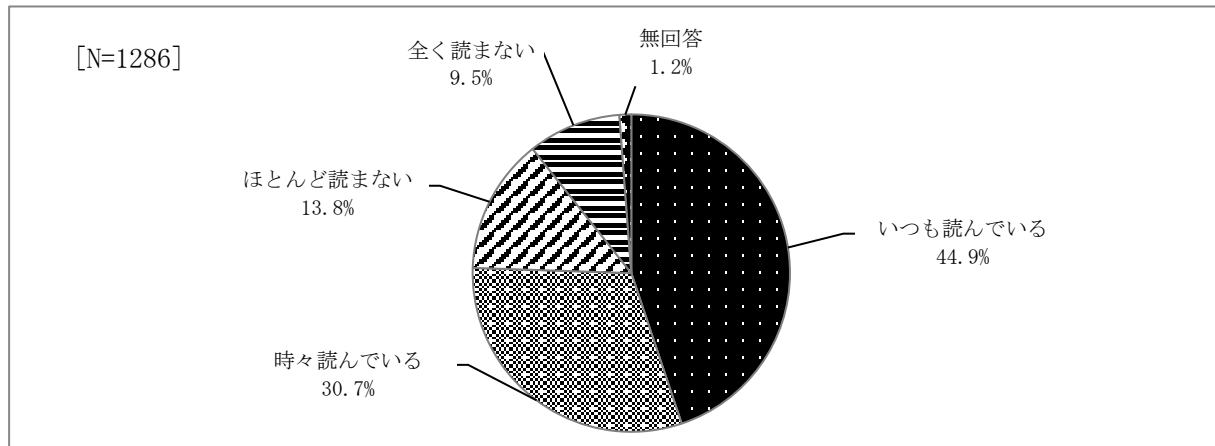
Ⅱ 調査結果と考察

《テーマ1 市の情報発信について》

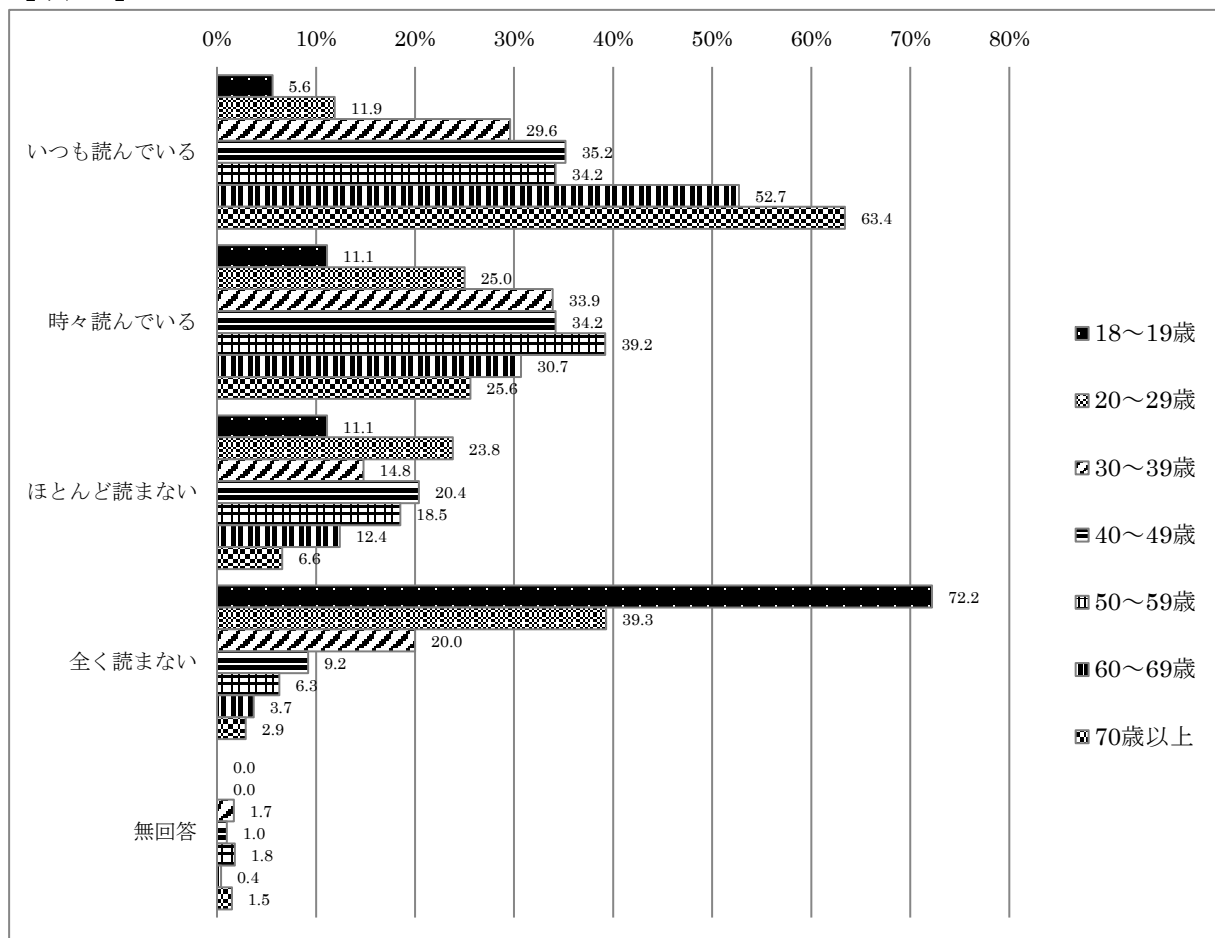
問1 あなたは、広報もりおかを読んでいますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

- | | |
|------------|------------|
| 1 いつも読んでいる | 3 ほとんど読まない |
| 2 時々読んでいる | 4 全く読まない |

【全体】



【年代別】



「いつも読んでいる」又は「時々読んでいる」の割合は、10代が16.7%、20代が36.9%だったのに対し、30代以上では6割を超えており、20代以下と30代以上との間に大きな差が見られる。

20代以下にも広報もりおかを読んでもらうには、若年層が興味を持つ紙面の検討が必要と考えられる。

【全体を通じて】

「いつも読んでいる」の割合が44.9%と最も高く、「時々読んでいる」が30.7%、「ほとんど読まない」が13.8%、「全く読まない」が9.5%だった。

およそ8割が閲覧しており、情報周知媒体として広報もりおかが担う役割は大きいものと考えられる。

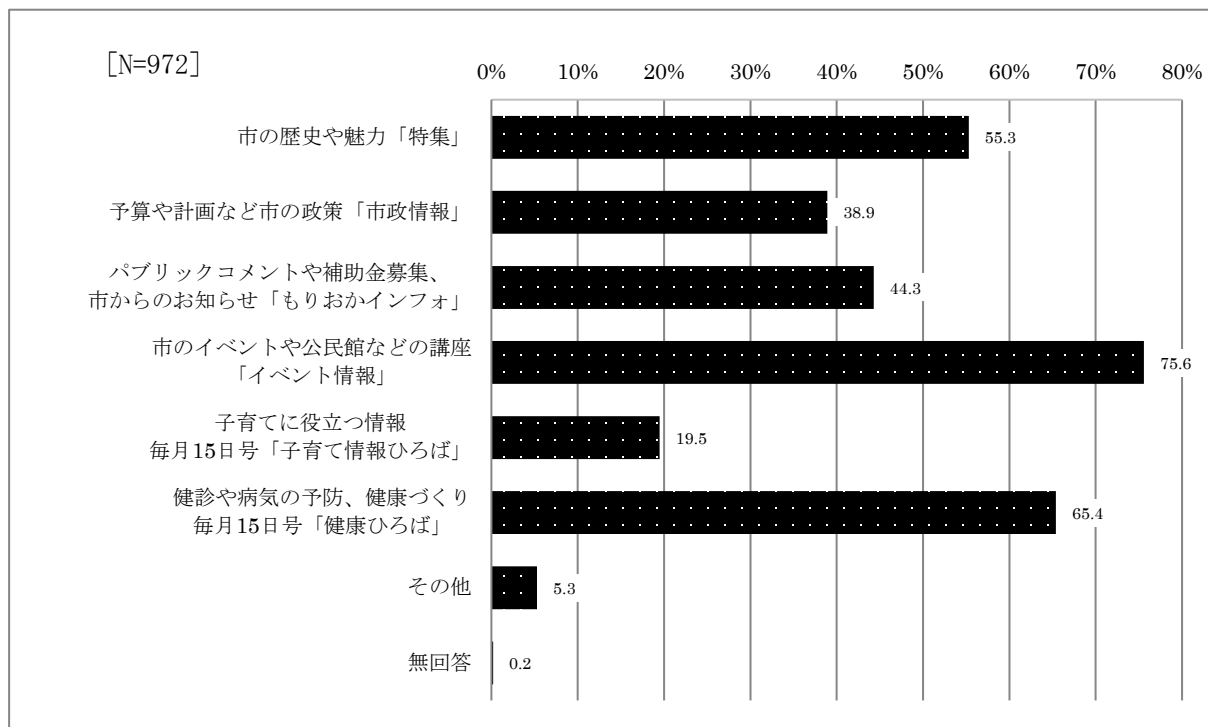
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	いつも 読んでいる	時々 読んでいる	ほとん ど読ま ない	全く 読ま ない	無回 答
全体		1286	577	395	177	122	15
地区	河北	406	176	129	58	40	3
	河南	175	85	50	21	16	3
	盛南	182	87	53	22	17	3
	厨川	281	122	90	44	22	3
	都南	205	94	61	28	20	2
	玉山	37	13	12	4	7	1
性別	男	601	243	198	88	64	8
	女	685	334	197	89	58	7
年齢	18～19歳	18	1	2	2	13	0
	20～29歳	84	10	21	20	33	0
	30～39歳	115	34	39	17	23	2
	40～49歳	196	69	67	40	18	2
	50～59歳	222	76	87	41	14	4
	60～69歳	241	127	74	30	9	1
	70歳以上	410	260	105	27	12	6

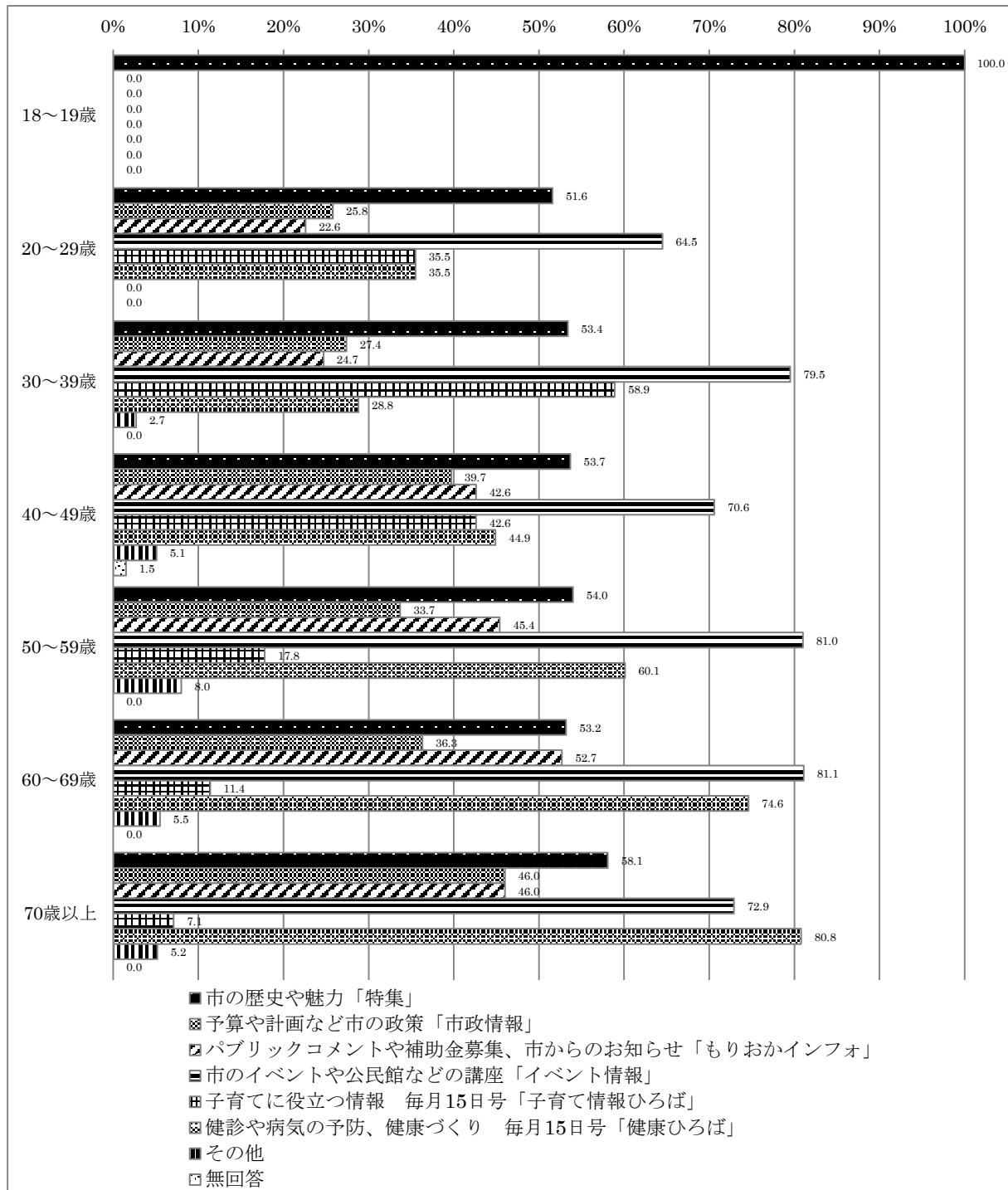
問2 問1で「1 いつも読んでいる」「2 時々読んでいる」を選んだ方にお聞きします。あなたは、広報もりおかのどの部分を読んでいますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | | |
|--------------------------------------|------------------|
| 1 市の歴史や魅力「特集」 | 5 子育てに役立つ情報 |
| 2 予算や計画など市の政策「市政情報」 | 毎月15日号「子育て情報ひろば」 |
| 3 パブリックコメントや補助金募集、市からのお知らせ「もりおかインフォ」 | 6 健診や病気の予防、健康づくり |
| 4 市のイベントや公民館などの講座「イベント情報」 | 毎月15日号「健康ひろば」 |
| | 7 その他（ ） |

【全体】



【年代別】



「イベント情報」は広い年代で割合が最も高かった。また、30代では次いで「子育て情報ひろば」の割合が高く、50代～60代では「健康ひろば」が高かった。

【全体を通じて】

「イベント情報」の割合が最も高く、続いて「健康ひろば」「特集」が特に読まれている部分だったことから、市内での催しや健康情報など自身の生活に身近な情報への関心が高いほか、自身が暮らす地域に対する関心も高いことが考えられる。

広報もりおかがイベント情報を知る手段の一つとして認知されていた。また、「健康ひろば」や「子育て情報ひろば」を読んでいる割合から、ライフステージに応じた情報発信が大切であると考えられる。

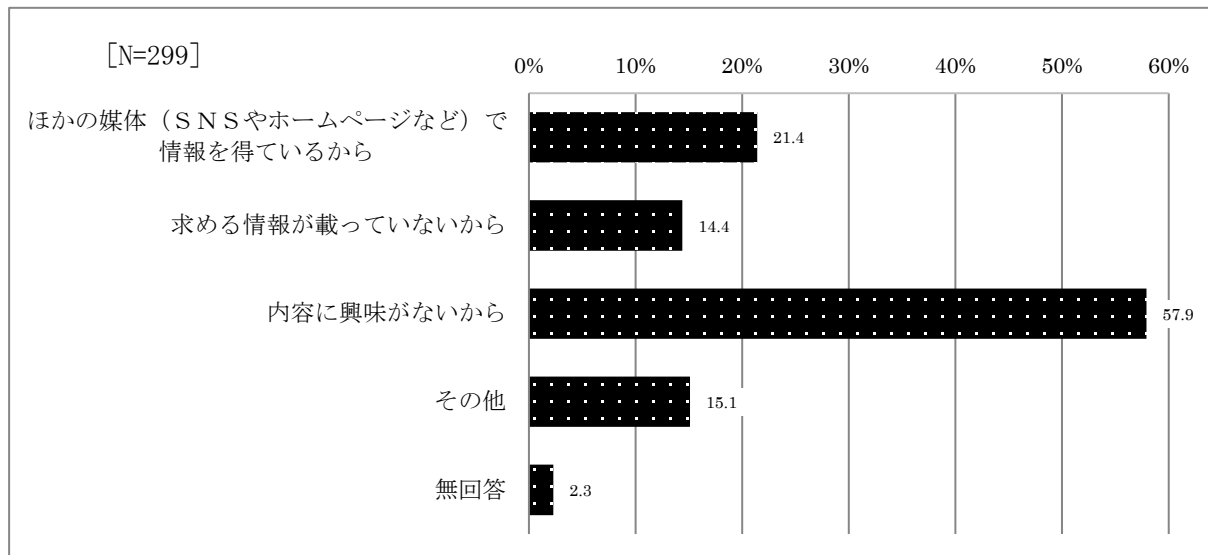
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	市の歴史や魅力「特集」	予算や計画など市の政策「市政情報」	パブリックコメントや補助金募集 市からのお知らせ「もりおかインフォ」	市のイベントや公民館などの講座「イベント情報」	子育てに役立つ情報 毎月15日号「子育て情報ひろば」	健診や病気の予防、健康づくり 毎月15日号「健康ひろば」	その他	無回答
全体		972	538	378	431	735	190	636	52	2
地区	河北	305	171	133	139	228	60	201	20	0
	河南	135	78	51	61	106	21	89	4	0
	盛南	140	88	46	60	108	31	83	8	0
	厨川	212	110	73	92	162	45	136	11	1
	都南	155	81	61	67	113	24	107	6	1
	玉山	25	10	14	12	18	9	20	3	0
性別	男	441	227	218	192	328	84	265	27	0
	女	531	311	160	239	407	106	371	25	2
年齢	18～19歳	3	3	0	0	0	0	0	0	0
	20～29歳	31	16	8	7	20	11	11	0	0
	30～39歳	73	39	20	18	58	43	21	2	0
	40～49歳	136	73	54	58	96	58	61	7	2
	50～59歳	163	88	55	74	132	29	98	13	0
	60～69歳	201	107	73	106	163	23	150	11	0
	70歳以上	365	212	168	168	266	26	295	19	0

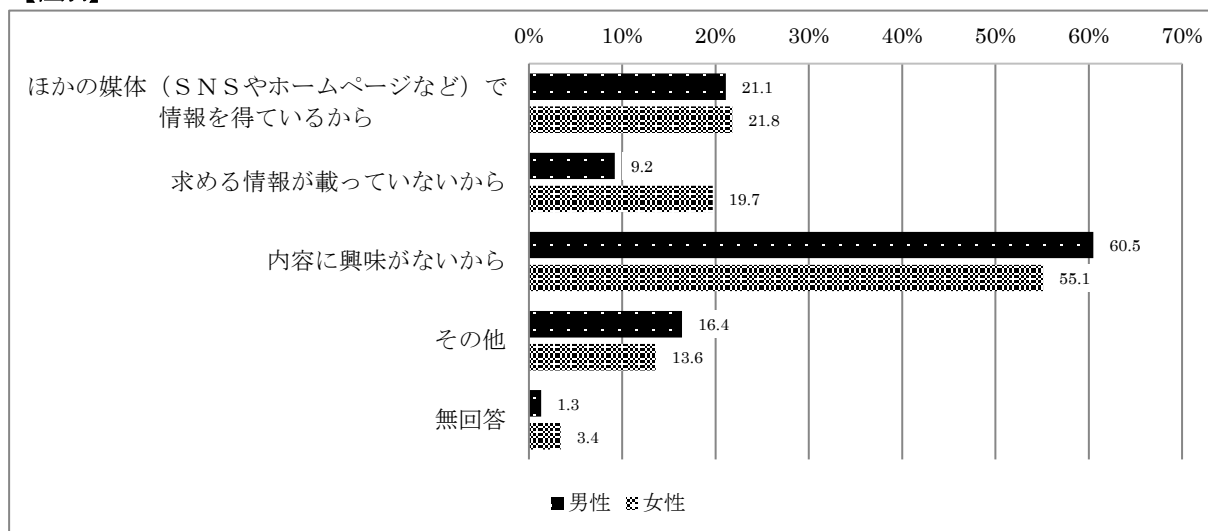
問3 問1で「3 ほとんど読まない」「4 全く読まない」を選んだ方にお聞きします。その理由は何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | | |
|---------------------------------|--------------|
| 1 ほかの媒体（SNSやホームページなど）で情報を得ているから | 3 内容に興味が無いから |
| 2 求める情報が載っていないから | 4 その他（ ） |

【全体】



【性別】



「求める情報が載っていないから」と回答した女性の割合は男性の2倍以上あることから、属性によりどのような情報を求めているのか、引き続き把握に努める必要があると考えられる。

【全体を通じて】

「内容に興味が無いから」の割合が57.9%と最も高かったことから、市政情報を必要と感じられていないことや、ニーズとのミスマッチが推測される。内容の充実に加え、手に取ってもらえるデザイン等の検討が必要と考えられる。

「その他」の回答では、家族が読んで内容を知る、見たいところだけ見ている、必要なところが分からないなどの回答もあった。広報もりおかを目にした際に自分に必要な情報が掲載されていることが分かれば読み進めてもらえると考えられるため、内容の充実に加え、掲載されている情報がある程度分かるようなデザインが可能になれば、閲覧率は高まるものと考えられる。

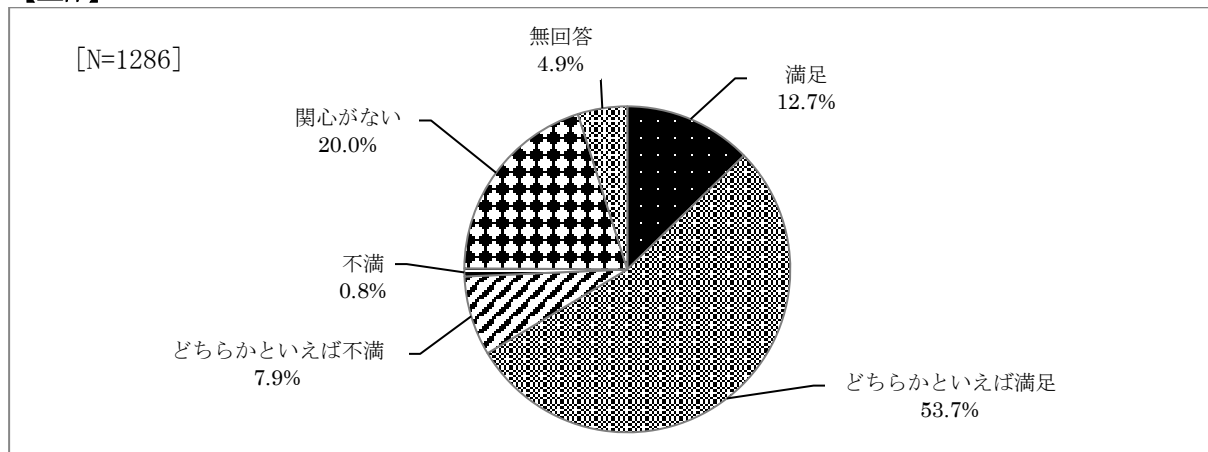
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	ほかの媒体 (SNSやホームページなど) で情報を得ているから	求める情報が載っていないから	内容に興味がないから	その他	無回答
全体		299	64	43	173	45	7
地区	河北	98	15	14	63	16	0
	河南	37	11	5	24	4	1
	盛南	39	9	3	24	3	1
	厨川	66	19	13	24	13	4
	都南	48	8	7	29	7	1
	玉山	11	2	1	9	2	0
性別	男	152	32	14	92	25	2
	女	147	32	29	81	20	5
年齢	18～19歳	15	3	2	11	0	1
	20～29歳	53	9	7	33	7	0
	30～39歳	40	7	7	26	5	1
	40～49歳	58	16	11	33	7	0
	50～59歳	55	12	7	34	11	0
	60～69歳	39	11	6	18	6	0
	70歳以上	39	6	3	18	9	5

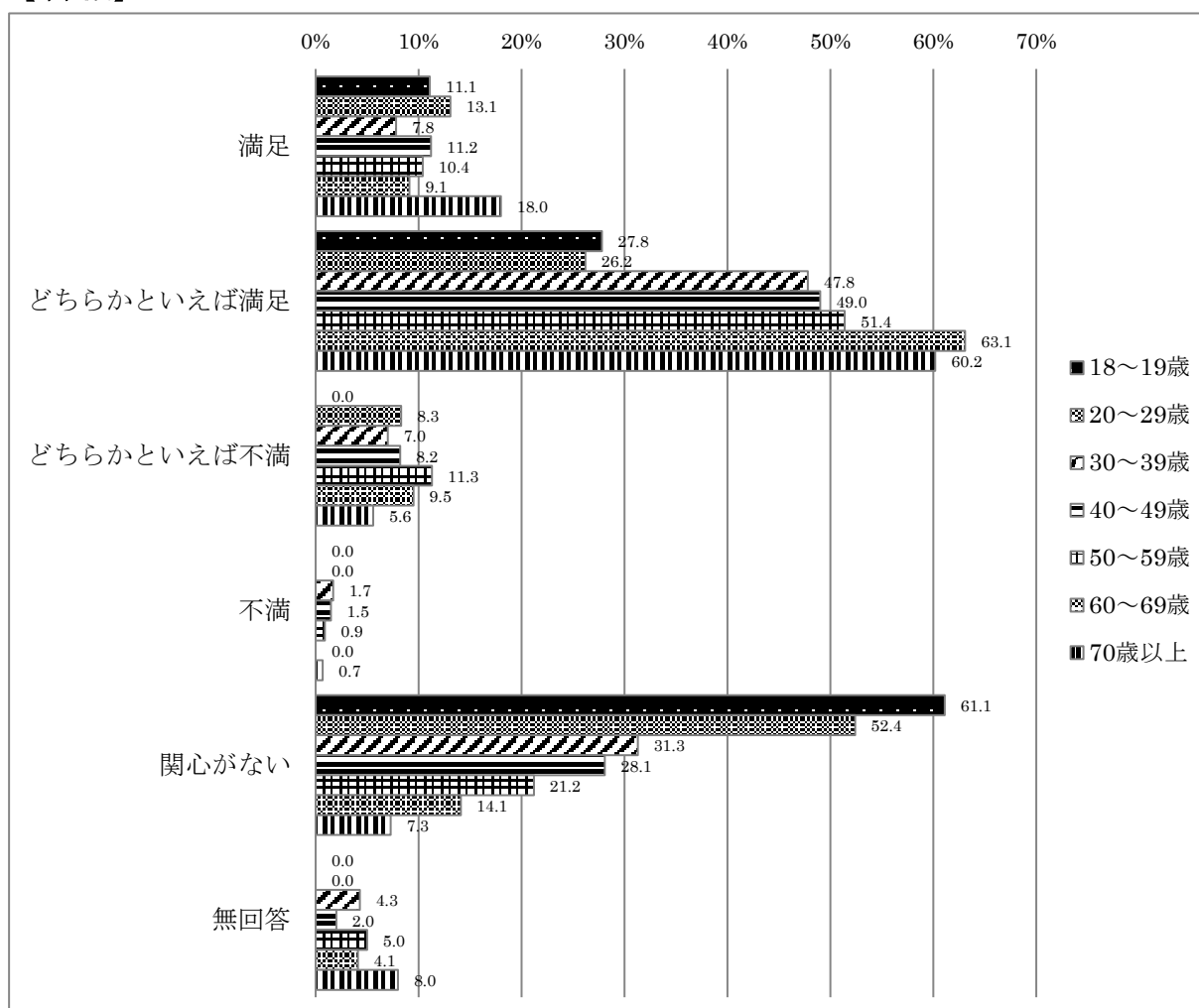
問4 あなたは、広報もりおかの記事に満足していますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

- | | |
|--------------|---------|
| 1 満足 | 4 不満 |
| 2 どちらかといえば満足 | 5 関心がない |
| 3 どちらかといえば不満 | |

【全体】



【年代別】



【全体を通じて】

「満足」「どちらかといえば満足」が合わせて66.4%だった。およそ7割の人が満足感を得ている一方、それ以外の選択肢では「関心がない」が20.0%と一番高かったことから、関心のない2割の人の興味を引くための方策の検討が必要と考えられる。

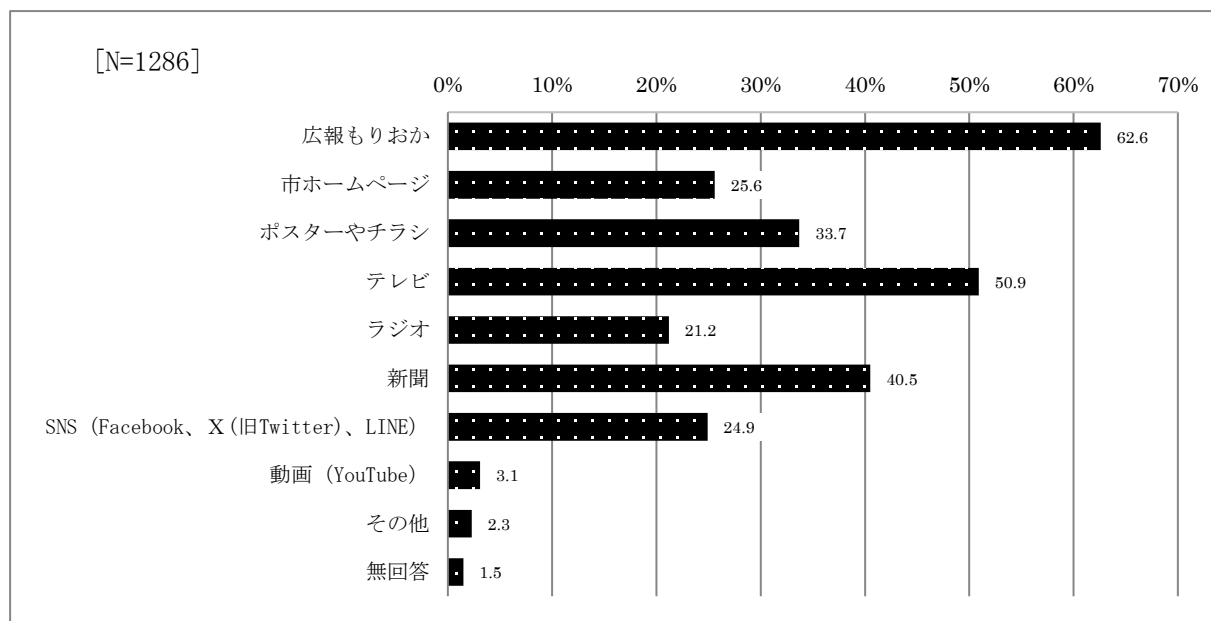
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満足	不満	関心がない	無回答
全体		1286	163	691	102	10	257	63
地区	河北	406	38	240	26	2	86	14
	河南	175	22	91	18	1	33	10
	盛南	182	26	99	12	0	40	5
	厨川	281	41	136	28	3	54	19
	都南	205	29	109	16	3	36	12
	玉山	37	7	16	2	1	8	3
性別	男	601	62	330	52	6	127	24
	女	685	101	361	50	4	130	39
年齢	18～19歳	18	2	5	0	0	11	0
	20～29歳	84	11	22	7	0	44	0
	30～39歳	115	9	55	8	2	36	5
	40～49歳	196	22	96	16	3	55	4
	50～59歳	222	23	114	25	2	47	11
	60～69歳	241	22	152	23	0	34	10
	70歳以上	410	74	247	23	3	30	33

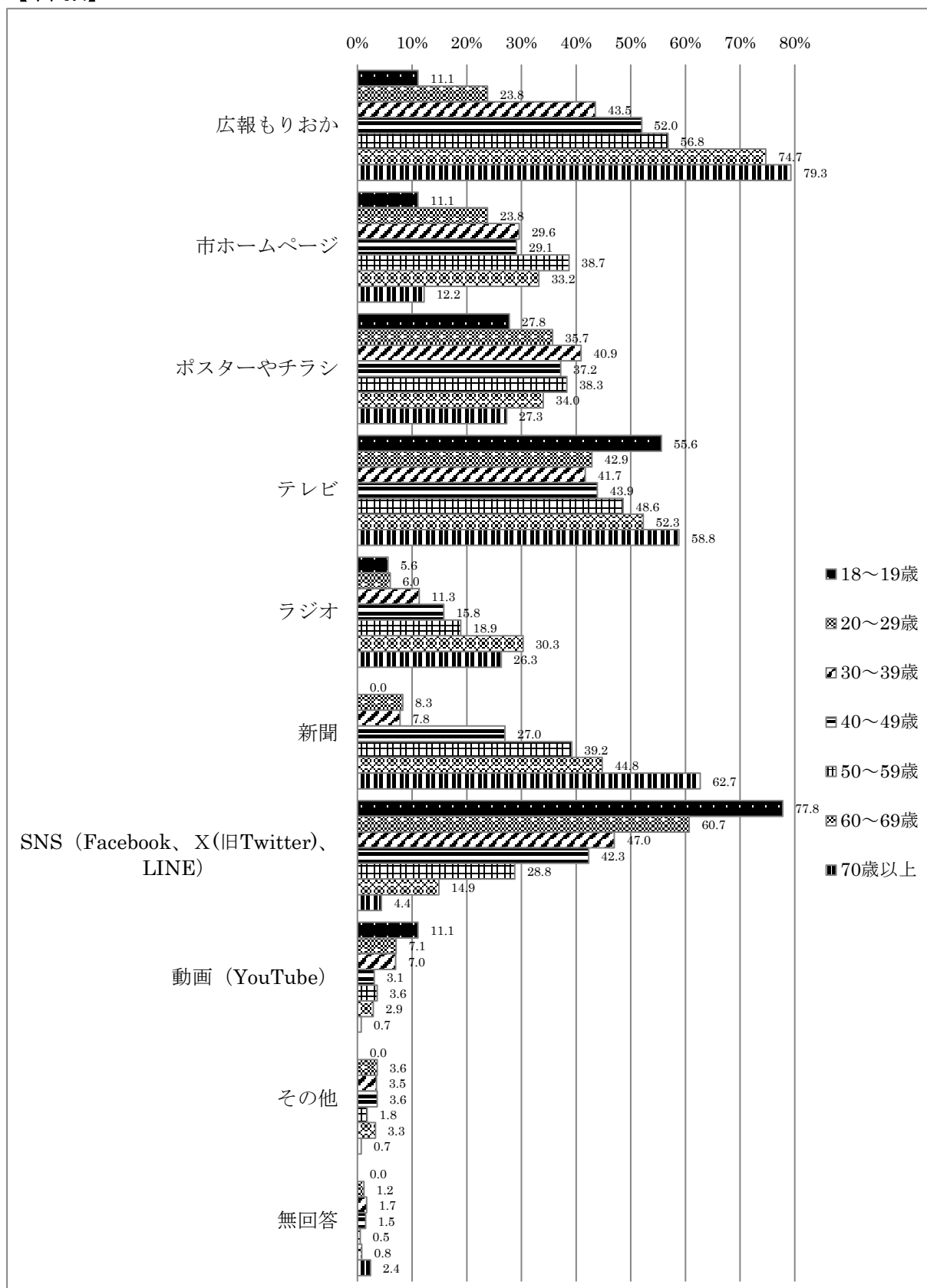
問5 あなたが、市政情報や市のイベント情報を得る際に利用している媒体は何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | | |
|------------|--------------------------------------|
| 1 広報もりおか | 6 新聞 |
| 2 市ホームページ | 7 SNS
(Facebook、X(旧Twitter)、LINE) |
| 3 ポスターやチラシ | 8 動画 (YouTube) |
| 4 テレビ | 9 その他 () |
| 5 ラジオ | |

【全体】



【年代別】



40代以上は「広報もりおか」の割合が最も高いのに対し、それよりも若い世代では「SNS (Facebook、X(旧Twitter)、LINE)」の割合が最も高かった。「テレビ」は各年代で2～4番目に割合が高く、「新聞」はおおむね年代が上がるにつれて高くなる傾向があった。

年代により主な情報収集手段が異なるため、情報を届けたい年代に応じた情報発信手段・媒体の検討が必要と考えられる。

【全体を通じて】

「その他」では、職場、友人・知人からの情報、個人ブログを見るなどといった回答もあり、口コミなどを情報源として重視している人もいる。

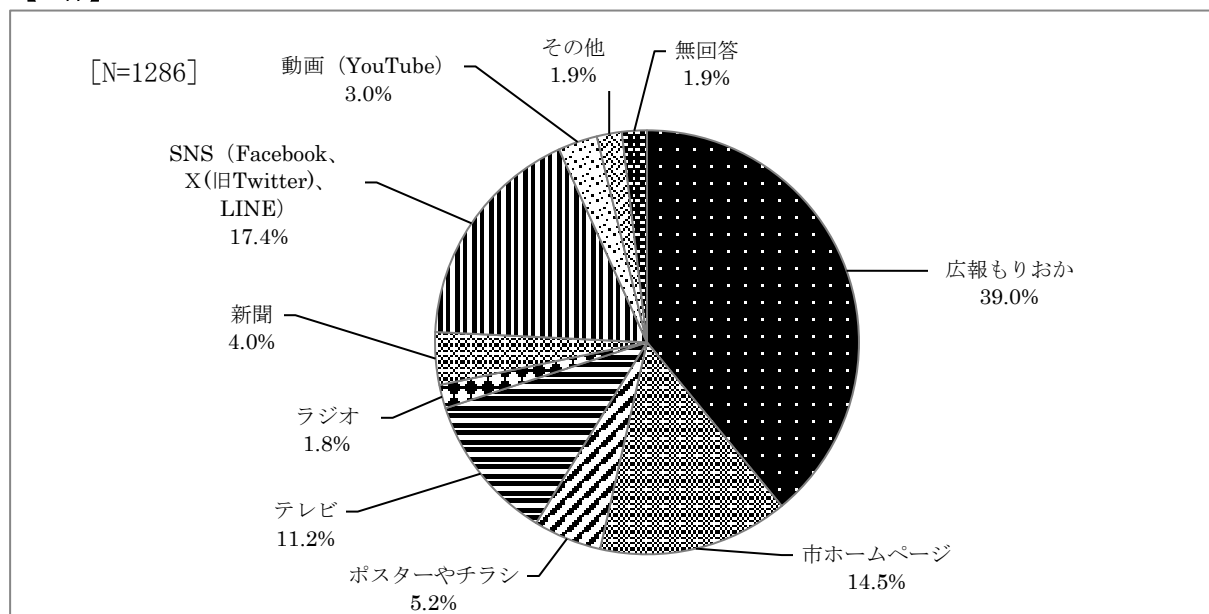
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	広報 もりおか	市 ホームページ	ポ スターやチ ラシ	テ レ ビ	ラ ジ オ	新 聞	S N S (Facebook、X(旧Twitter)、LINE)	動 画 (YouTube)	そ の 他	無 回 答
全体		1286	805	329	434	655	273	521	320	40	29	19
地 区	河北	406	259	118	132	195	83	182	99	10	9	4
	河南	175	103	49	72	98	31	79	46	6	2	3
	盛南	182	116	50	53	90	42	61	50	10	3	2
	厨川	281	178	66	91	136	52	106	76	6	6	5
	都南	205	123	38	74	118	54	78	41	6	8	5
	玉山	37	26	8	12	18	11	15	8	2	1	0
性 別	男	601	364	185	200	292	115	247	141	21	17	8
	女	685	441	144	234	363	158	274	179	19	12	11
年 齢	18～19歳	18	2	2	5	10	1	0	14	2	0	0
	20～29歳	84	20	20	30	36	5	7	51	6	3	1
	30～39歳	115	50	34	47	48	13	9	54	8	4	2
	40～49歳	196	102	57	73	86	31	53	83	6	7	3
	50～59歳	222	126	86	85	108	42	87	64	8	4	1
	60～69歳	241	180	80	82	126	73	108	36	7	8	2
	70歳以上	410	325	50	112	241	108	257	18	3	3	10

問6 あなたが、今後特に力を入れてほしい市の情報発信の方法は何ですか。当てはまるもの 1 つ に○を付けてください。

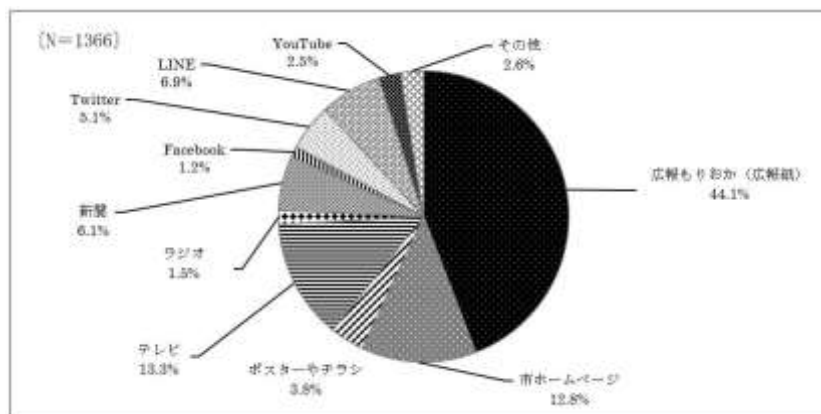
- | | |
|------------|--------------------------------------|
| 1 広報もりおか | 6 新聞 |
| 2 市ホームページ | 7 SNS
(Facebook、X(旧Twitter)、LINE) |
| 3 ポスターやチラシ | 8 動画 (YouTube) |
| 4 テレビ | 9 その他 () |
| 5 ラジオ | |

【全体】

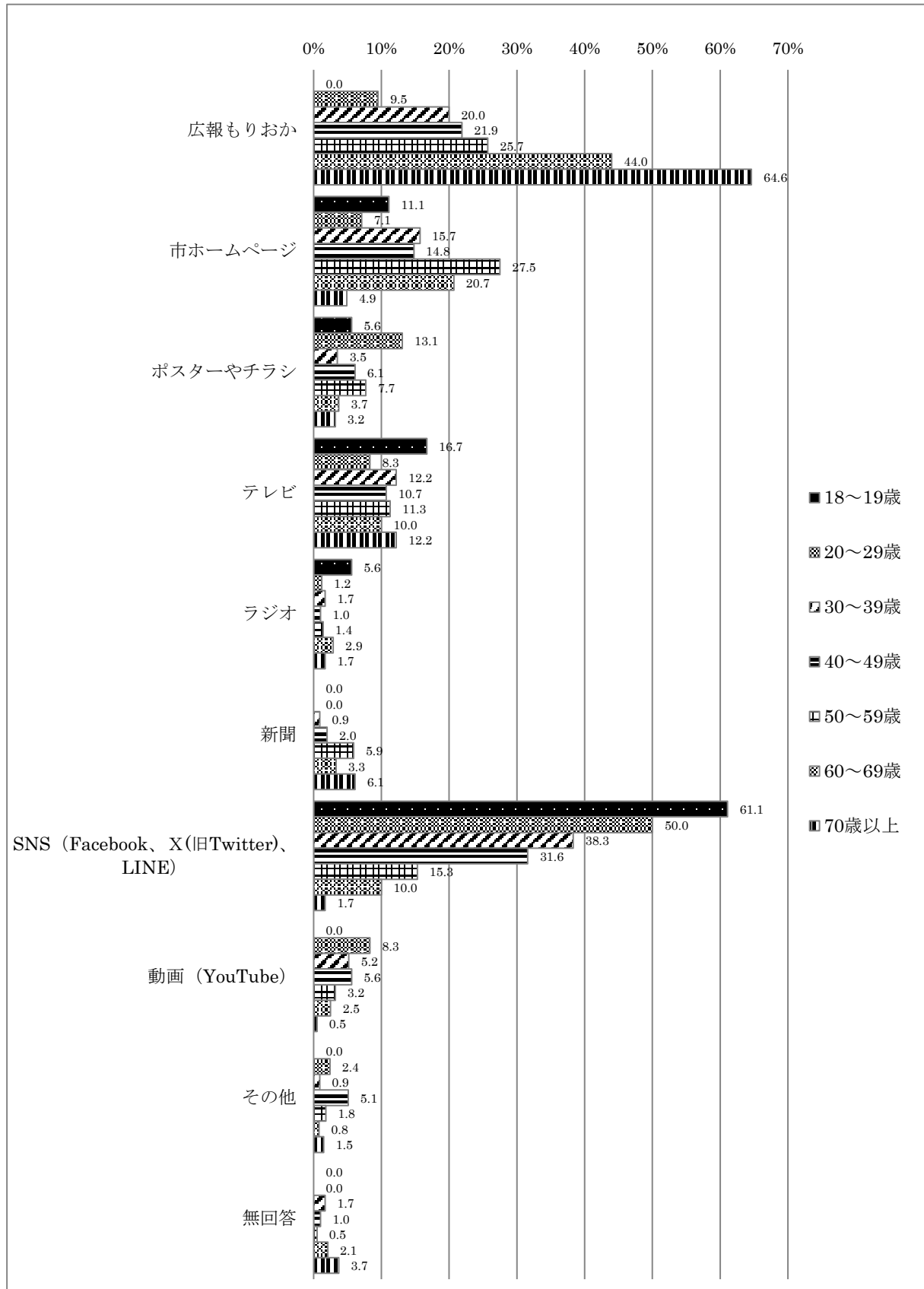


【参考】

令和4年度市民アンケート調査



【年代別】



「広報もりおか」は年代が上がるほど割合が高くなり、「SNS (Facebook、X(旧Twitter)、LINE)」は年代が下がるほど割合が高くなっていた。

【全体を通じて】

「広報もりおか」と回答した人が約4割いることから、市の情報発信ツールとして認知されていると考えられる。「SNS（Facebook、X(旧Twitter)、LINE）」の割合とメディア（テレビ・新聞・ラジオの合算）の割合は同程度であることから、SNSだけでなくメディアを通じた情報発信も求められているものと考えられる。一方、「ラジオ」単体では1.8%と令和4年度市民アンケート調査に引き続き低調であり、事業効果が限定的であると考えられる。

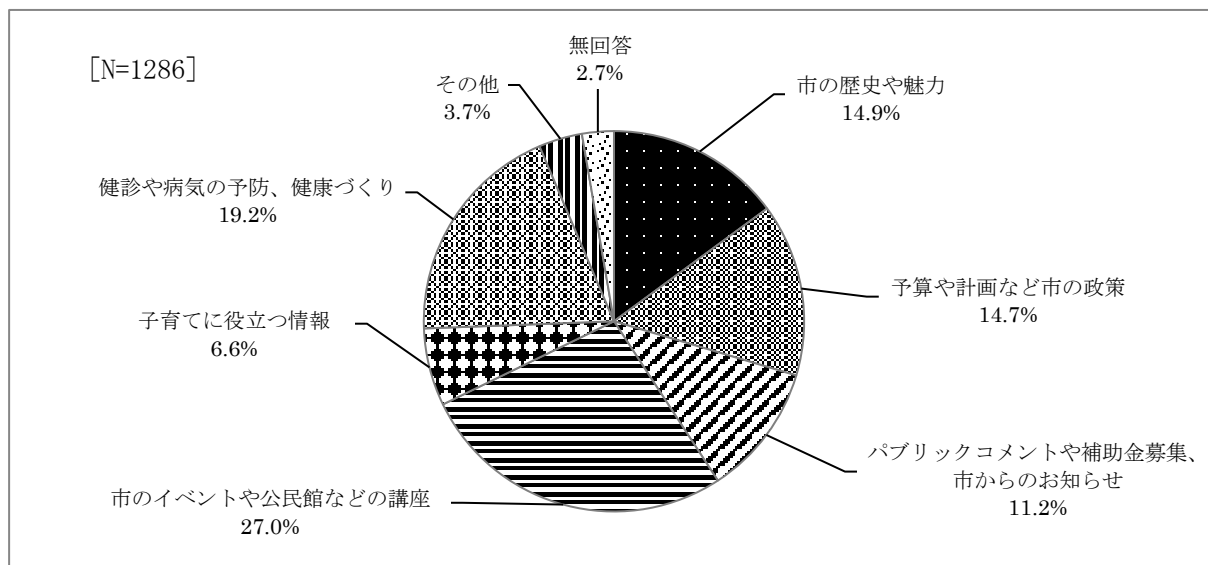
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	広報 もり おか	市 ホ ー ム ペ ー ジ	ポ ス タ ー や チ ラ シ	テ レ ビ	ラ ジ オ	新 聞	S N S (Facebook、 X(旧Twitter)、 LINE)	動 画 (YouTube)	そ の 他	無 回 答
全体		1286	502	186	67	144	23	51	224	39	25	25
地区	河北	406	151	62	20	44	11	19	70	15	9	5
	河南	175	69	19	9	18	2	8	39	3	2	6
	盛南	182	78	31	5	17	1	7	33	5	4	1
	厨川	281	113	43	15	34	4	7	45	8	5	7
	都南	205	75	24	14	30	5	9	31	7	4	6
	玉山	37	16	7	4	1	0	1	6	1	1	0
性別	男	601	205	100	35	74	9	29	99	27	16	7
	女	685	297	86	32	70	14	22	125	12	9	18
年齢	18～19歳	18	0	2	1	3	1	0	11	0	0	0
	20～29歳	84	8	6	11	7	1	0	42	7	2	0
	30～39歳	115	23	18	4	14	2	1	44	6	1	2
	40～49歳	196	43	29	12	21	2	4	62	11	10	2
	50～59歳	222	57	61	17	25	3	13	34	7	4	1
	60～69歳	241	106	50	9	24	7	8	24	6	2	5
	70歳以上	410	265	20	13	50	7	25	7	2	6	15

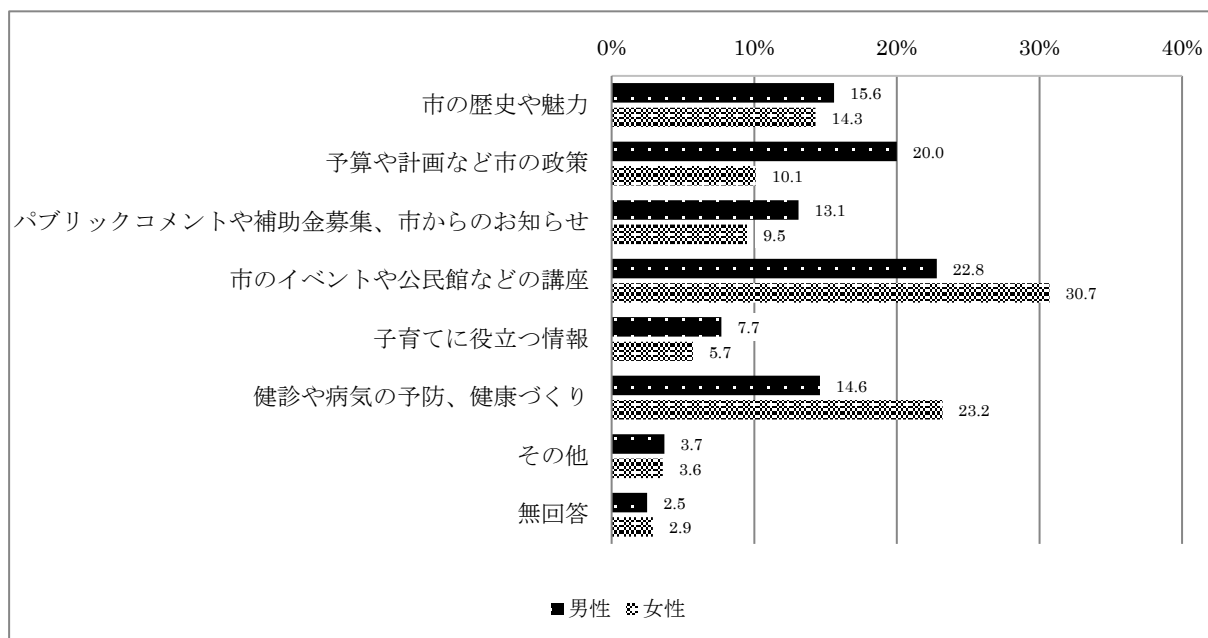
問7 あなたが、今後市の情報発信で特に力を入れてほしい話題は何ですか。当てはまるもの 1 つ に○を付けてください。

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1 市の歴史や魅力 | 4 市のイベントや公民館などの講座 |
| 2 予算や計画など市の政策 | 5 子育てに役立つ情報 |
| 3 パブリックコメントや補助金募集、市からのお知らせ | 6 健診や病気の予防、健康づくり |
| | 7 その他（ ） |

【全体】

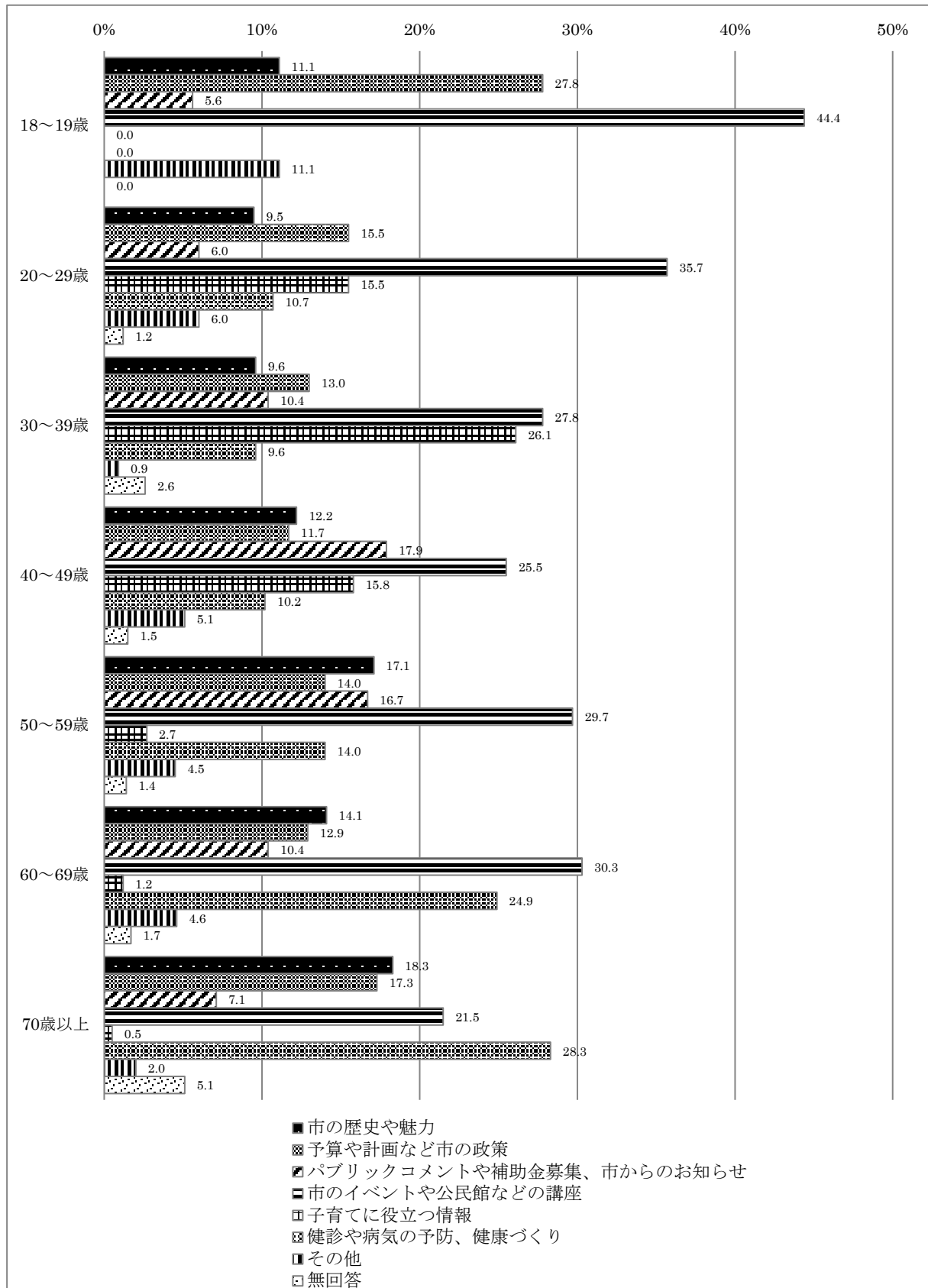


【性別】



男女ともおおむね「全体」の回答分布と同様であったが、「市のイベントや公民館などの講座」「健診や病気の予防、健康づくり」「予算や計画など市の政策」では性別により回答割合に差が見られた。

【年代別】



多くの年代で「市のイベントや公民館などの講座」の割合が最も高かった。そのほか、年代によって求める内容にばらつきが見られた。ライフステージ等により、求める情報が異なるものと考えられる。

【全体を通じて】

「市のイベントや公民館などの講座」の割合が最も高く、「健診や病気の予防、健康づくり」「市の歴史や魅力」と続いた。イベントや健康など、自分の生活に身近な情報に対する関心が高いものと考えられる。

年代による差異が顕著であり、この差異を意識して情報発信することが必要であると考えられる。広報もりおかは全方位的な情報発信となっているため、年代によっては関心の低い情報も含まれたり、必要な情報が得られなかったりすることから手に取ってもらえない可能性も想定される。情報の内容と受け手の特徴を捉え、紙面構成を検討する必要があると考える。

【性別、年代別、地区別の回答数】

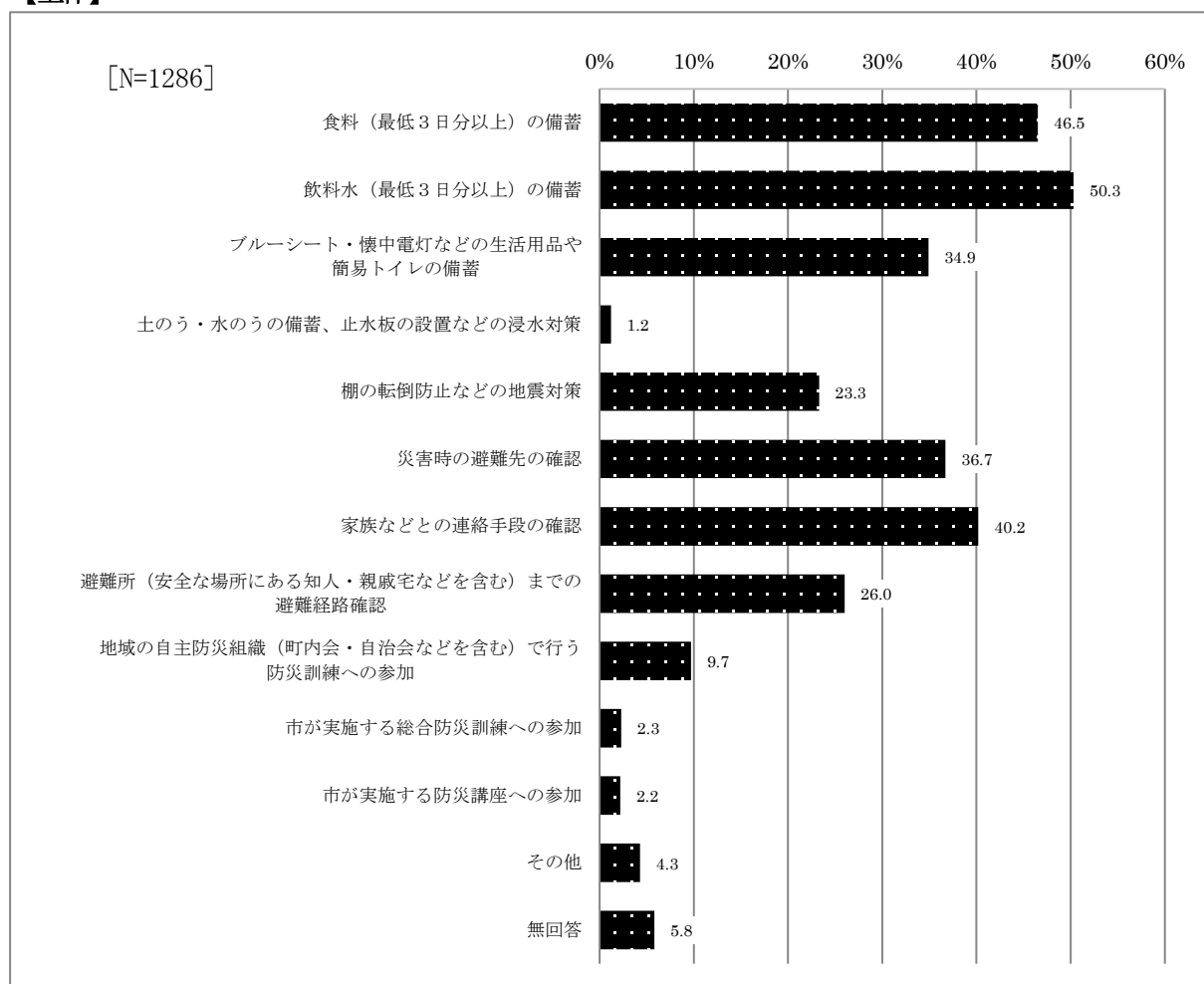
		実数 (人)	市の歴史や魅力	予算や計画など市の政策	パブリックコメントや補助金募集、市からのお知らせ	市のイベントや公民館などの講座	子育てに役立つ情報	健診や病気の予防、健康づくり	その他	無回答
全体		1286	192	189	144	347	85	247	47	35
地区	河北	406	62	68	51	104	20	81	12	8
	河南	175	25	23	11	52	12	41	5	6
	盛南	182	37	19	24	43	20	29	5	5
	厨川	281	37	37	36	81	18	48	16	8
	都南	205	26	33	20	60	10	41	7	8
	玉山	37	5	9	2	7	5	7	2	0
性別	男	601	94	120	79	137	46	88	22	15
	女	685	98	69	65	210	39	159	25	20
年齢	18～19歳	18	2	5	1	8	0	0	2	0
	20～29歳	84	8	13	5	30	13	9	5	1
	30～39歳	115	11	15	12	32	30	11	1	3
	40～49歳	196	24	23	35	50	31	20	10	3
	50～59歳	222	38	31	37	66	6	31	10	3
	60～69歳	241	34	31	25	73	3	60	11	4
	70歳以上	410	75	71	29	88	2	116	8	21

《テーマ2 災害への備えについて》

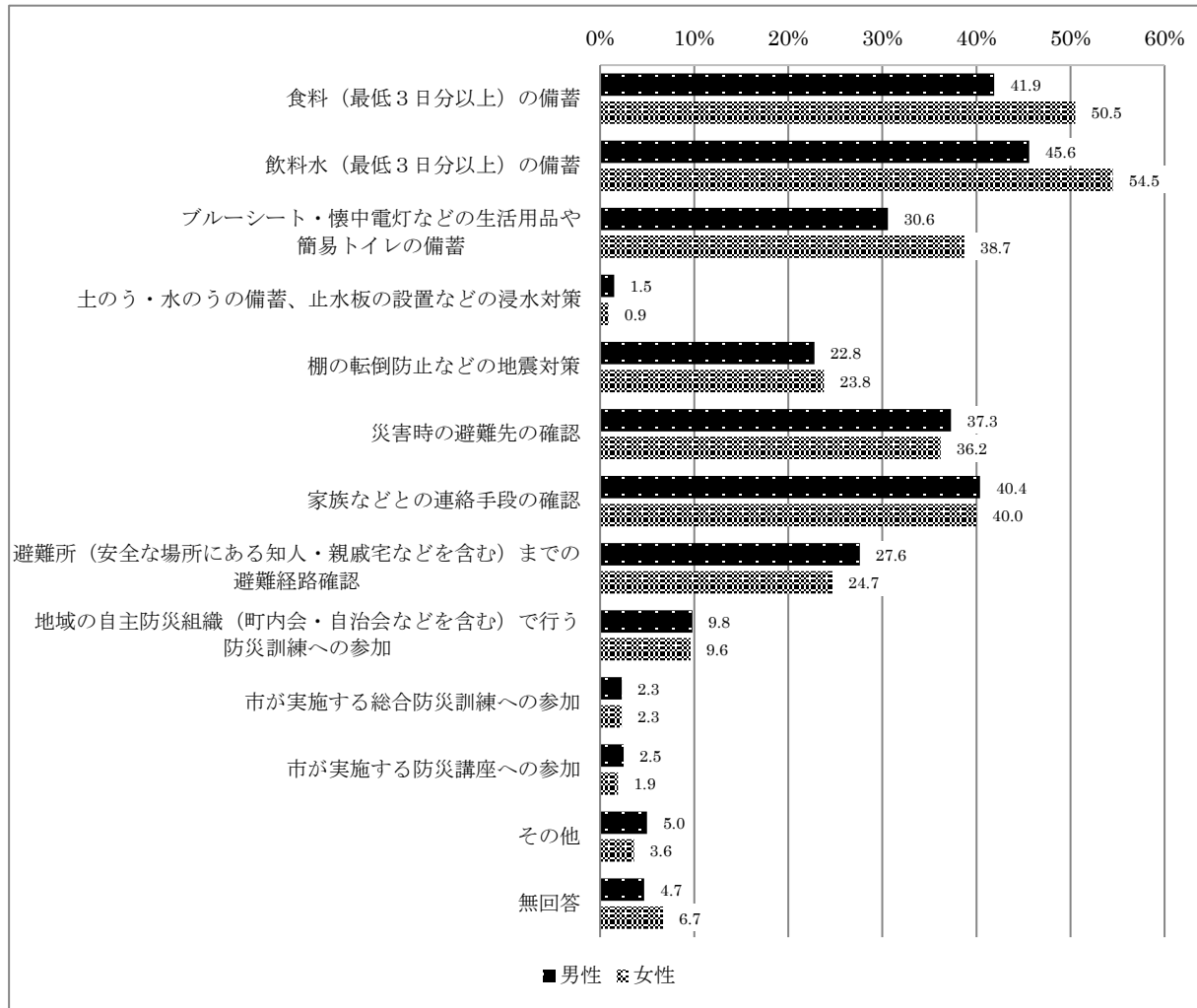
問8 災害への備えとして、現在、あなたが実施している対策はありますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

1 食料（最低3日以上）の備蓄	7 家族などとの連絡手段の確認
2 飲料水（最低3日以上）の備蓄	8 避難所（安全な場所にある知人・親戚宅などを含む）までの避難経路確認
3 ブルーシート・懐中電灯などの生活用品や簡易トイレの備蓄	9 地域の自主防災組織（町内会・自治会などを含む）で行う防災訓練への参加
4 土のう・水のうの備蓄、止水板の設置などの浸水対策	10 市が実施する総合防災訓練への参加
5 棚の転倒防止などの地震対策	11 市が実施する防災講座への参加
6 災害時の避難先の確認	12 その他（ ）

【全体】



【性別】



「飲料水の備蓄」「食料の備蓄」「ブルーシート・懐中電灯などの生活用品や簡易トイレの備蓄」は、女性の方が男性よりも割合が高いことから、女性は発災後の生活について重視している傾向が見られた。

【全体を通じて】

飲食物品の備蓄、家族などとの連絡手段の確認、避難所・避難経路の確認は一定程度の備えがなされている状況が見られたが、当市における災害リスクが高い水害への対策や、防災講座・防災訓練への参加は低い状況が見られることから、今後、具体的な対策啓発や、防災講座等の周知に取り組む必要がある。

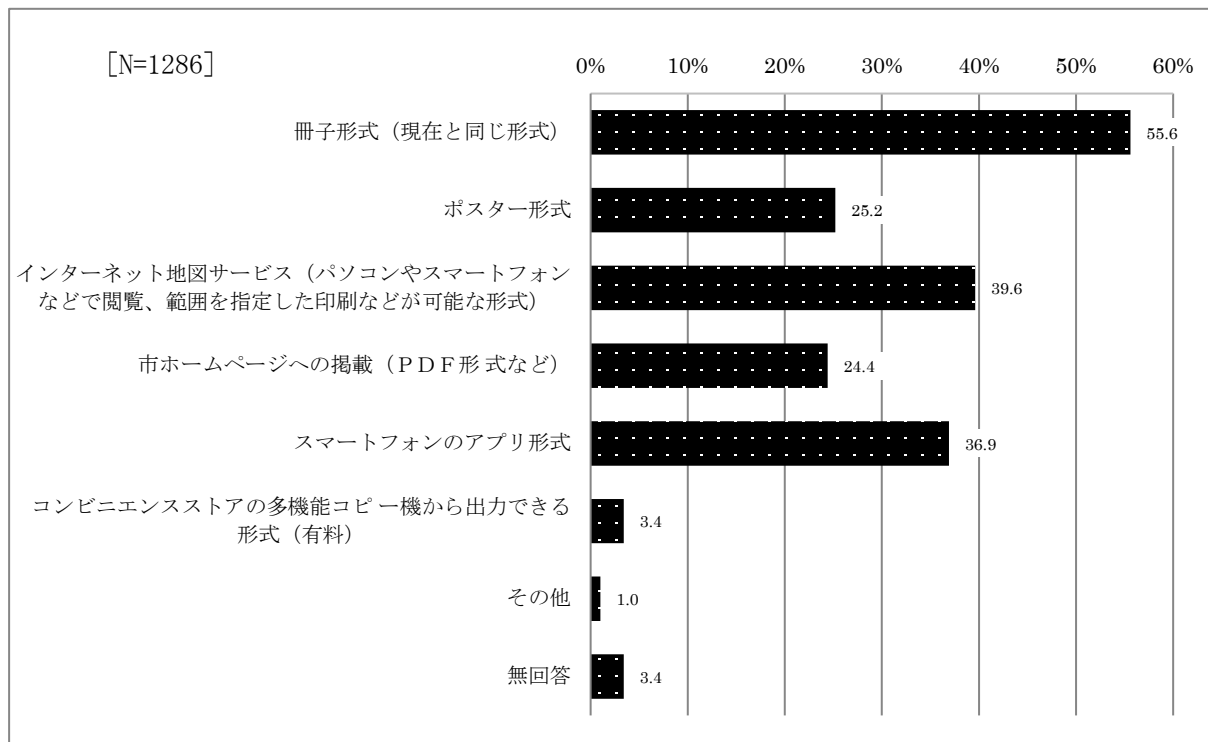
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数（人）	食料（最低3日分以上）の備蓄	飲料水（最低3日分以上）の備蓄	ブルーシート・懐中電灯などの生活用品や簡易トイレの備蓄	土のう・水のうの備蓄、止水板の設置などの浸水対策	棚の転倒防止などの地震対策	災害時の避難先の確認	家族などとの連絡手段の確認	避難所（安全な場所にある知人・親戚宅などを含む）までの避難経路確認	地域の自主防災組織（町内会・自治会などを含む）で行う防災訓練への参加	市が実施する総合防災訓練への参加	市が実施する防災講座への参加	その他	無回答
全体		1286	598	647	449	15	300	472	517	335	125	30	28	55	74
地区	河北	406	192	210	151	3	110	144	165	111	36	7	8	12	21
	河南	175	90	91	59	2	38	68	78	42	22	2	7	4	10
	盛南	182	82	92	58	2	35	72	67	49	15	5	4	5	9
	厨川	281	119	134	96	4	65	107	115	70	17	6	3	22	13
	都南	205	96	103	70	2	47	71	80	58	29	10	5	8	18
	玉山	37	19	17	15	2	5	10	12	5	6	0	1	4	3
性別	男	601	252	274	184	9	137	224	243	166	59	14	15	30	28
	女	685	346	373	265	6	163	248	274	169	66	16	13	25	46
年齢	18～19歳	18	4	6	3	0	0	3	8	6	1	0	0	3	0
	20～29歳	84	31	46	23	1	19	15	26	16	1	2	2	6	4
	30～39歳	115	42	51	28	0	16	36	36	25	5	0	0	9	10
	40～49歳	196	81	84	63	0	33	56	83	52	8	1	0	10	12
	50～59歳	222	101	110	79	2	60	77	80	59	12	3	2	5	7
	60～69歳	241	141	140	102	5	56	108	111	59	20	8	8	10	7
	70歳以上	410	198	210	151	7	116	177	173	118	78	16	16	12	34

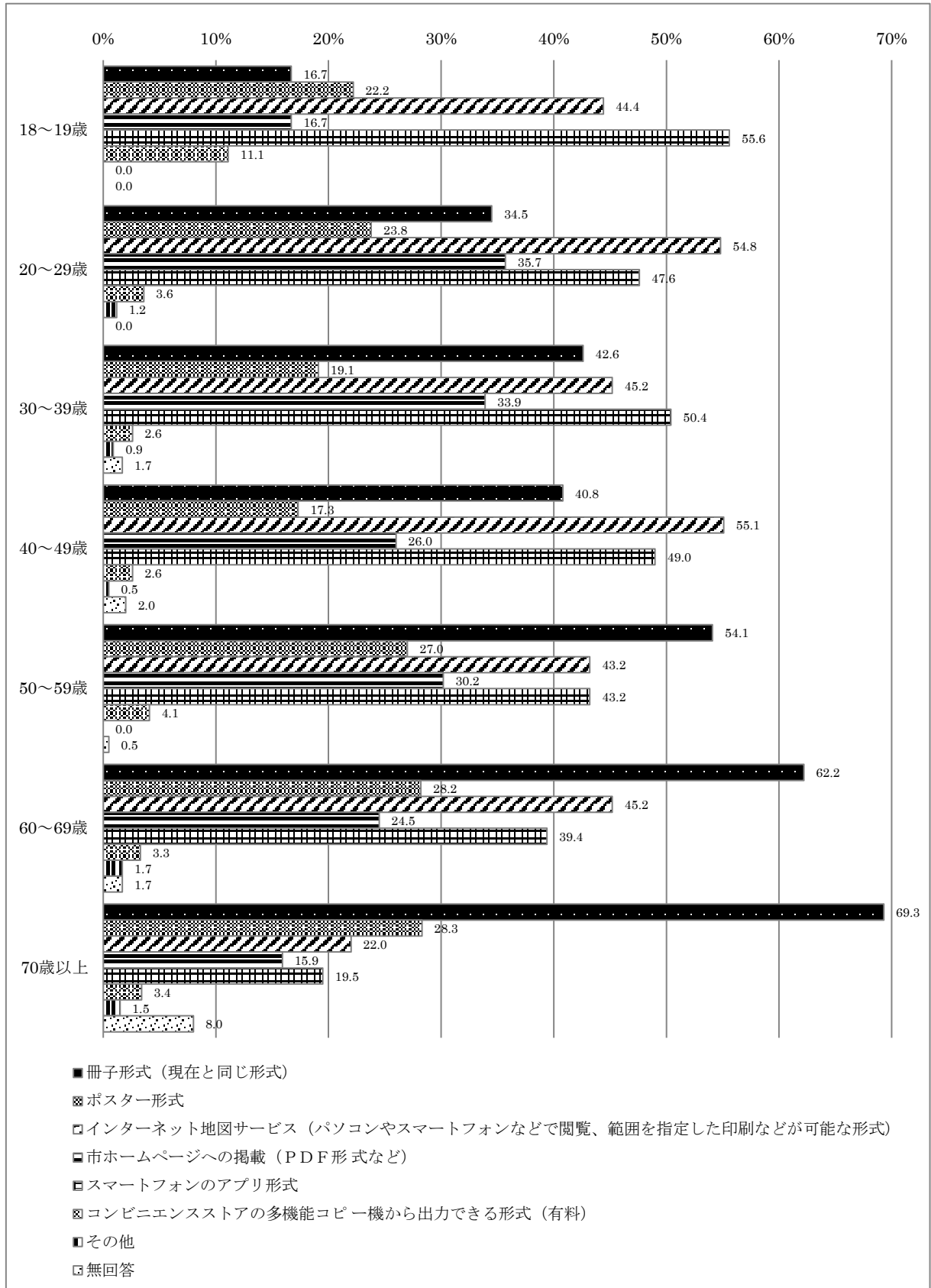
問9 現在、洪水浸水想定区域や土砂災害計画区域などを記載した防災マップは冊子になっています。マップを新しくする際、あなたにとって使いやすいと考える形式は何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | | |
|--|-----------------------------------|
| 1 冊子形式（現在と同じ形式） | 4 市ホームページへの掲載（PDF形式など） |
| 2 ポスター形式 | 5 スマートフォンのアプリ形式 |
| 3 インターネット地図サービス（パソコンやスマートフォンなどで閲覧、範囲を指定した印刷などが可能な形式） | 6 コンビニエンスストアの多機能コピー機から出力できる形式（有料） |
| | 7 その他（ ） |

【全体】



【年代別】



10代から40代までの年代では「スマートフォンのアプリ形式」や「インターネット地図サービス」の割合が高い一方で、50代以上は「冊子形式」の割合が最も高くなっていることから、次期防災マップは、紙媒体とデジタルツールを上手く組み合わせる必要があると考えられる。

【全体を通じて】

「冊子形式」の割合が最も高かったが、「インターネット地図サービス」「スマートフォンのアプリ形式」をあげた回答も約40%あることから、デジタルツールの活用も含めた次期防災マップの検討が必要である。

災害時に、インターネットが使用できない可能性や、インターネット閲覧環境がない場合もあることから、デジタル版だけではなく、紙媒体との併用を検討する必要がある。

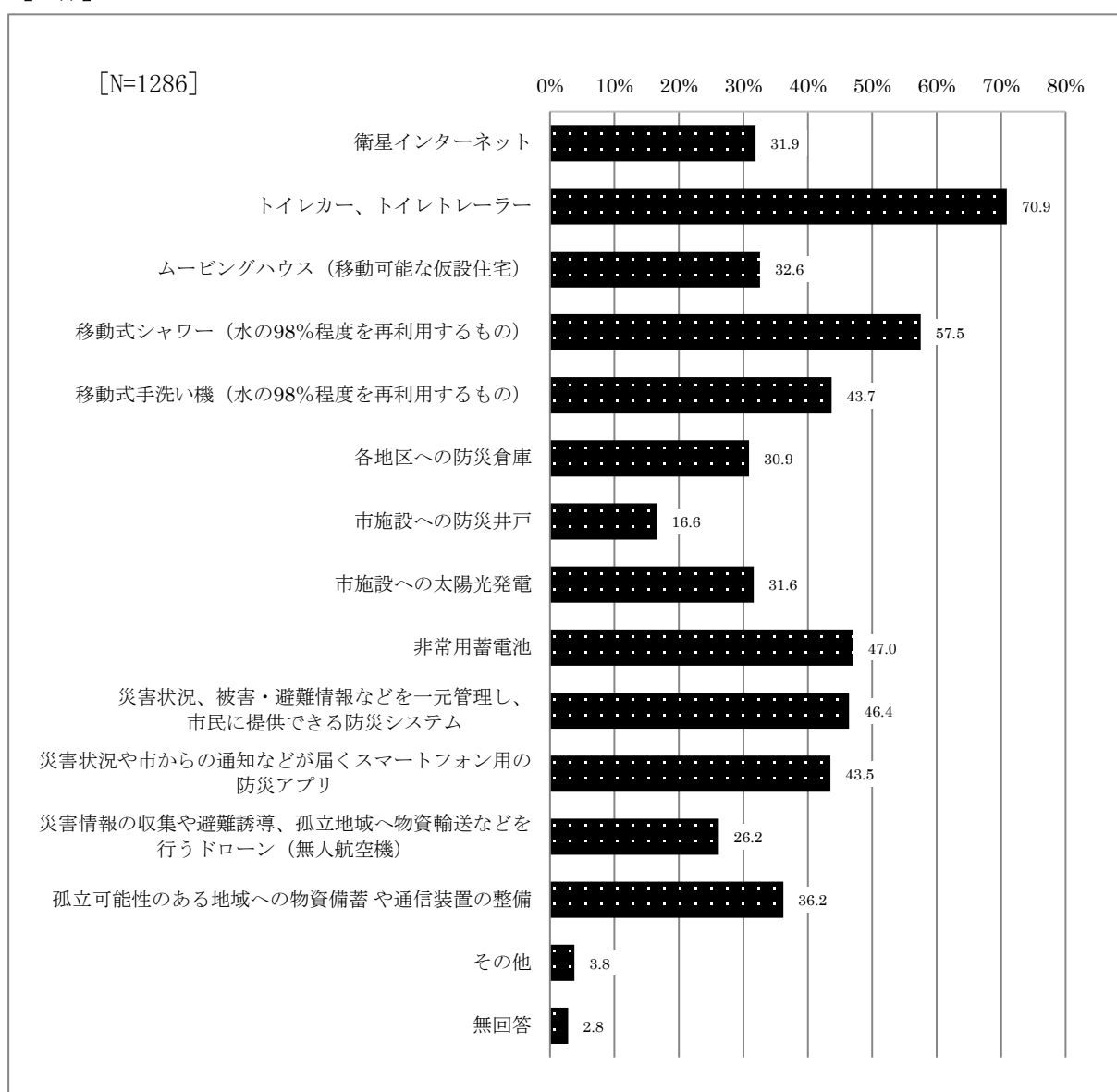
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	冊子形式 (現在と同じ形式)	ポスター形式	インターネット地図サービス (パソコンやスマートフォンなどで閲覧、 範囲を指定した印刷などが可能な形式)	市ホームページへの掲載 (PDF形式など)	スマートフォンのアプリ形式	コンビニエンスストアの多機能コピー機から出力できる形式 (有料)	その他	無回答
全体		1286	715	324	509	314	475	44	13	44
地区	河北	406	228	99	168	116	146	8	4	12
	河南	175	94	32	69	45	67	11	2	6
	盛南	182	94	52	80	39	72	4	0	6
	厨川	281	159	63	104	65	108	13	4	8
	都南	205	118	68	73	38	69	6	1	12
	玉山	37	22	10	15	11	13	2	2	0
性別	男	601	325	161	268	149	236	25	8	12
	女	685	390	163	241	165	239	19	5	32
年齢	18～19歳	18	3	4	8	3	10	2	0	0
	20～29歳	84	29	20	46	30	40	3	1	0
	30～39歳	115	49	22	52	39	58	3	1	2
	40～49歳	196	80	34	108	51	96	5	1	4
	50～59歳	222	120	60	96	67	96	9	0	1
	60～69歳	241	150	68	109	59	95	8	4	4
	70歳以上	410	284	116	90	65	80	14	6	33

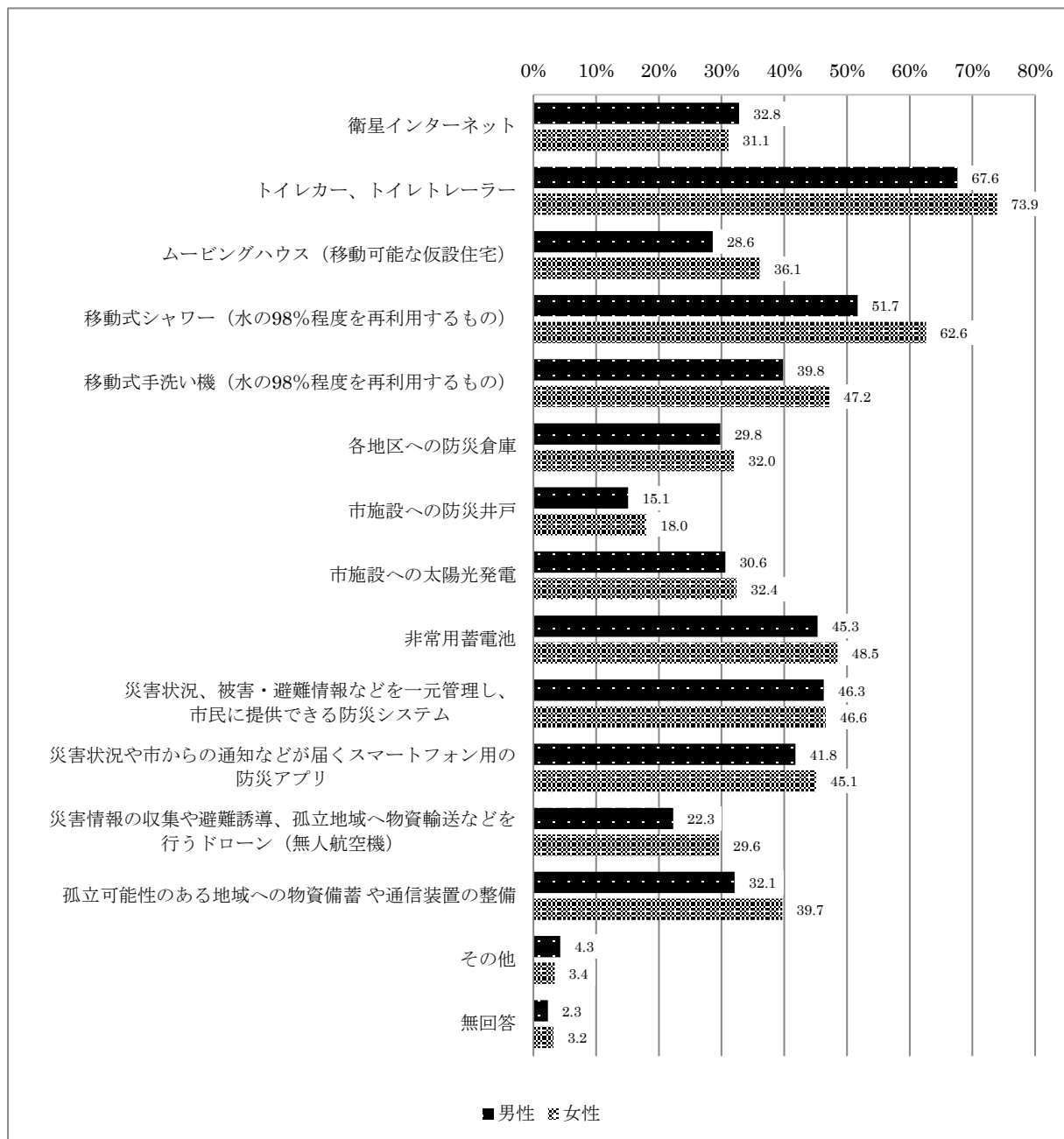
問 10 災害等に備えて、市が整備しておくべきと考える設備などは何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

1 衛星インターネット	9 非常用蓄電池
2 トイレカー、トイレトレーラー	10 災害状況、被害・避難情報などを一元管理し、市民に提供できる防災システム
3 ムービングハウス（移動可能な仮設住宅）	11 災害状況や市からの通知などが届くスマートフォン用の防災アプリ
4 移動式シャワー（水の98%程度を再利用するもの）	12 災害情報の収集や避難誘導、孤立地域へ物資輸送などを行うドローン（無人航空機）
5 移動式手洗い機（水の98%程度を再利用するもの）	13 孤立可能性のある地域への物資備蓄や通信装置の整備
6 各地区への防災倉庫	14 その他（ ）
7 市施設への防災井戸	
8 市施設への太陽光発電	

【全体】



【性別】



女性の方が割合が高い項目としては、「移動式シャワー」「移動式手洗い機」「トイレカー、トイレトレーラー」などがあり、生活に必要な水に関心が高い傾向がある。

【全体を通じて】

「トイレカー、トイレトレーラー」の割合が最も高く、「移動式シャワー」「非常用蓄電池」「災害状況、被害・避難情報などを一元管理し、市民に提供できる防災システム」「移動式手洗い機」と続いた。

災害時に身近な問題となる水やトイレ、情報収集ツールについて関心が高く、整備が必要であるという傾向であった。一方で、ハード整備は費用がかかるものであることから、優先順位を定めるとともに、ハードによらない対策（家庭における水や簡易トイレの備蓄周知等）も検討する必要がある。

また、「その他」では、移動式コインランドリーやペットの避難対策、医療関係に関する整備要望の回答もあった。

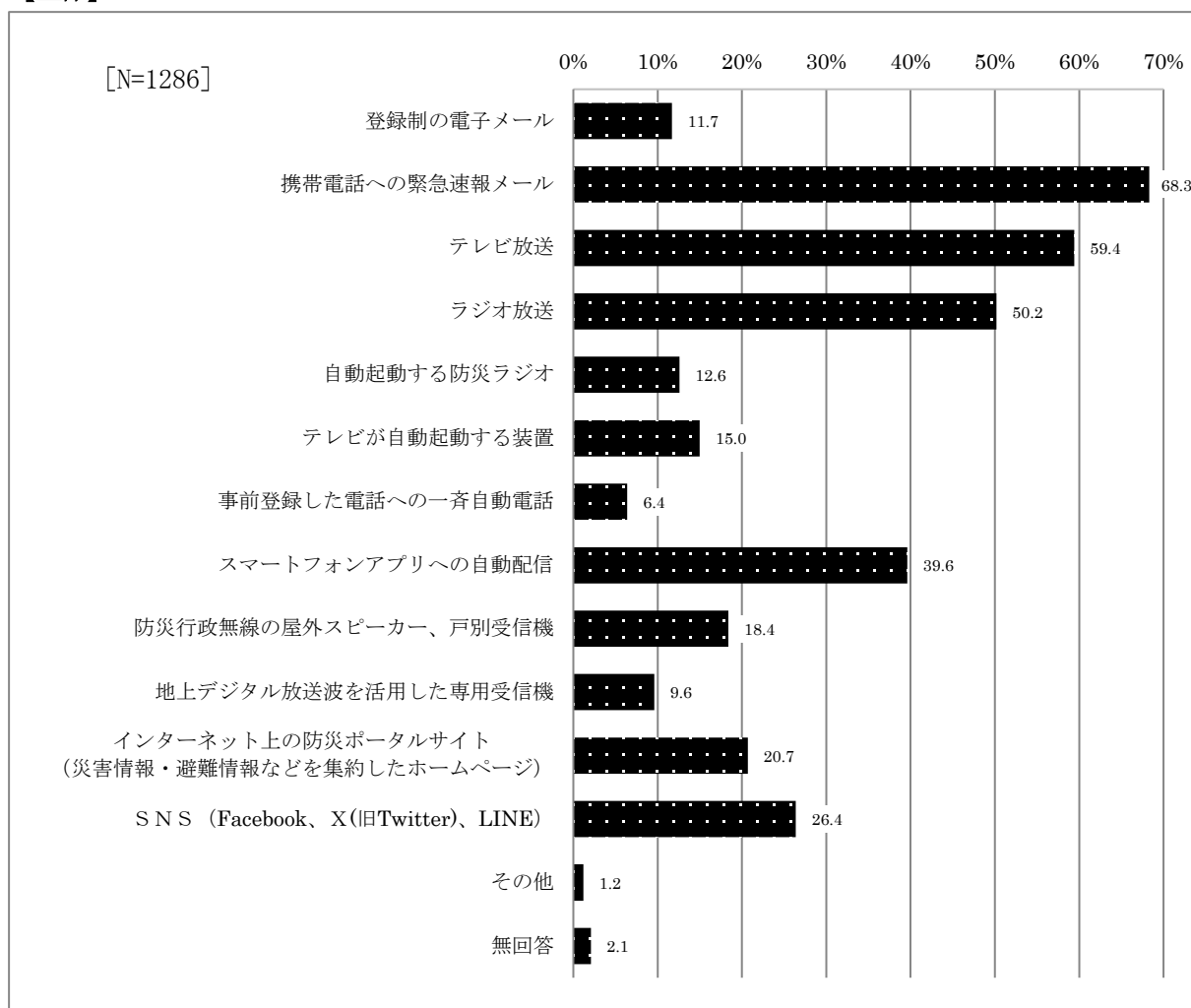
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数（人）	衛星インターネット	トイレカー、トイレトレーラー	ムービングハウス（移動可能な仮設住宅）	移動式シャワー（水の80%程度を再利用するもの）	移動式手洗い機（水の80%程度を再利用するもの）	各地区への防災倉庫	市施設への防災井戸	市施設への太陽光発電	非常用蓄電池	災害状況、被害・避難情報などを一元管理し、市民に提供できる防災システム	災害状況や市からの通知などが届くスマートフォン用の防災アプリ	災害情報の収集や避難誘導、孤立地域へ物資輸送などを行うドローン（無人航空機）	孤立可能性のある地域への物資備蓄や通信装置の整備	その他	無回答
全体		1286	410	912	419	740	562	398	214	406	604	597	560	337	465	49	36
地区	河北	406	137	279	134	229	185	142	72	142	200	197	185	117	152	18	12
	河南	175	55	128	57	94	70	50	32	51	93	77	74	45	62	3	7
	盛南	182	61	136	62	117	80	54	29	50	89	94	73	42	59	6	3
	尉川	281	92	200	87	154	116	85	46	87	118	131	128	71	106	14	3
	都南	205	54	147	69	123	96	56	31	64	90	81	85	52	73	7	9
	玉山	37	11	22	10	23	15	11	4	12	14	17	15	10	13	1	2
性別	男	601	197	406	172	311	239	179	91	184	272	278	251	134	193	26	14
	女	685	213	506	247	429	323	219	123	222	332	319	309	203	272	23	22
年齢	18～19歳	18	9	11	7	10	4	3	3	1	4	4	4	0	5	0	0
	20～29歳	84	40	61	23	46	41	30	11	20	39	36	33	21	29	5	0
	30～39歳	115	48	84	29	67	48	34	9	38	57	46	42	32	30	4	1
	40～49歳	196	81	138	52	115	91	47	26	60	100	73	83	39	69	9	5
	50～59歳	222	85	156	70	128	99	64	34	81	103	116	121	52	77	4	4
	60～69歳	241	76	181	86	142	97	88	45	75	120	127	137	80	99	14	3
	70歳以上	410	71	281	152	232	182	132	86	131	181	195	140	113	156	13	23

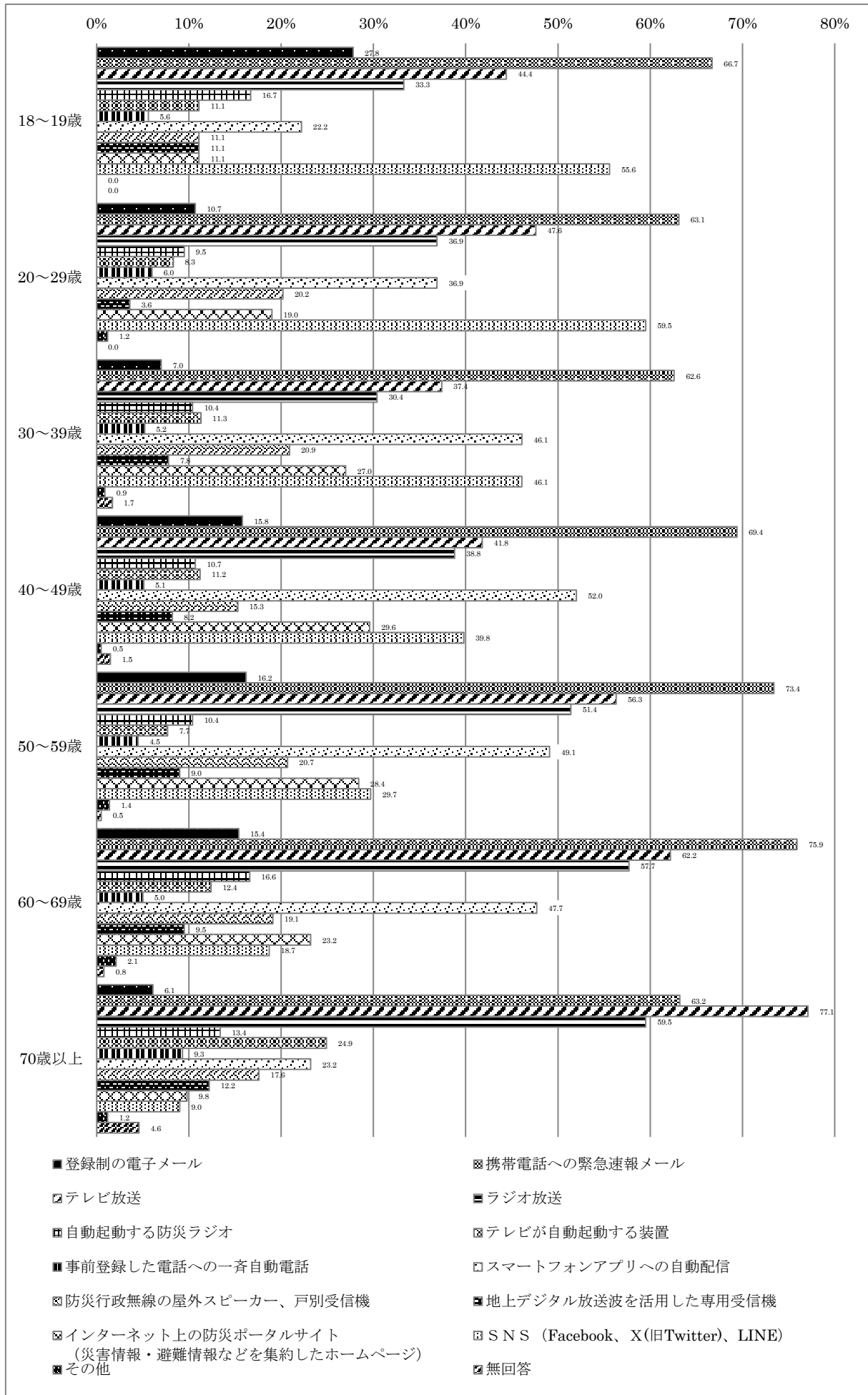
問 11 災害情報や避難情報に関する市からの伝達手段として、あなた自身にとって効果的と思うものは何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | | |
|------------------------|---|
| 1 登録制の電子メール | 10 地上デジタル放送波を活用した専用受信機 |
| 2 携帯電話への緊急速報メール | 11 インターネット上の防災ポータルサイト
(災害情報・避難情報などを集約したホームページ) |
| 3 テレビ放送 | 12 SNS
(Facebook、X(旧Twitter)、LINE) |
| 4 ラジオ放送 | 13 その他 () |
| 5 自動起動する防災ラジオ | |
| 6 テレビが自動起動する装置 | |
| 7 事前登録した電話への一斉自動電話 | |
| 8 スマートフォンアプリへの自動配信 | |
| 9 防災行政無線の屋外スピーカー、戸別受信機 | |

【全体】



【年代別】



ほぼ全ての世代で「携帯電話への緊急速報メール」の割合が高く、「テレビ放送」や「ラジオ放送」も高い割合を示している。60代までは携帯電話やスマートフォンを使用した情報伝達手段を希望する割合が高いが、70代以上はテレビの割合が高い。

今後においても、様々な媒体を通じた情報発信が必要であると考えられる。

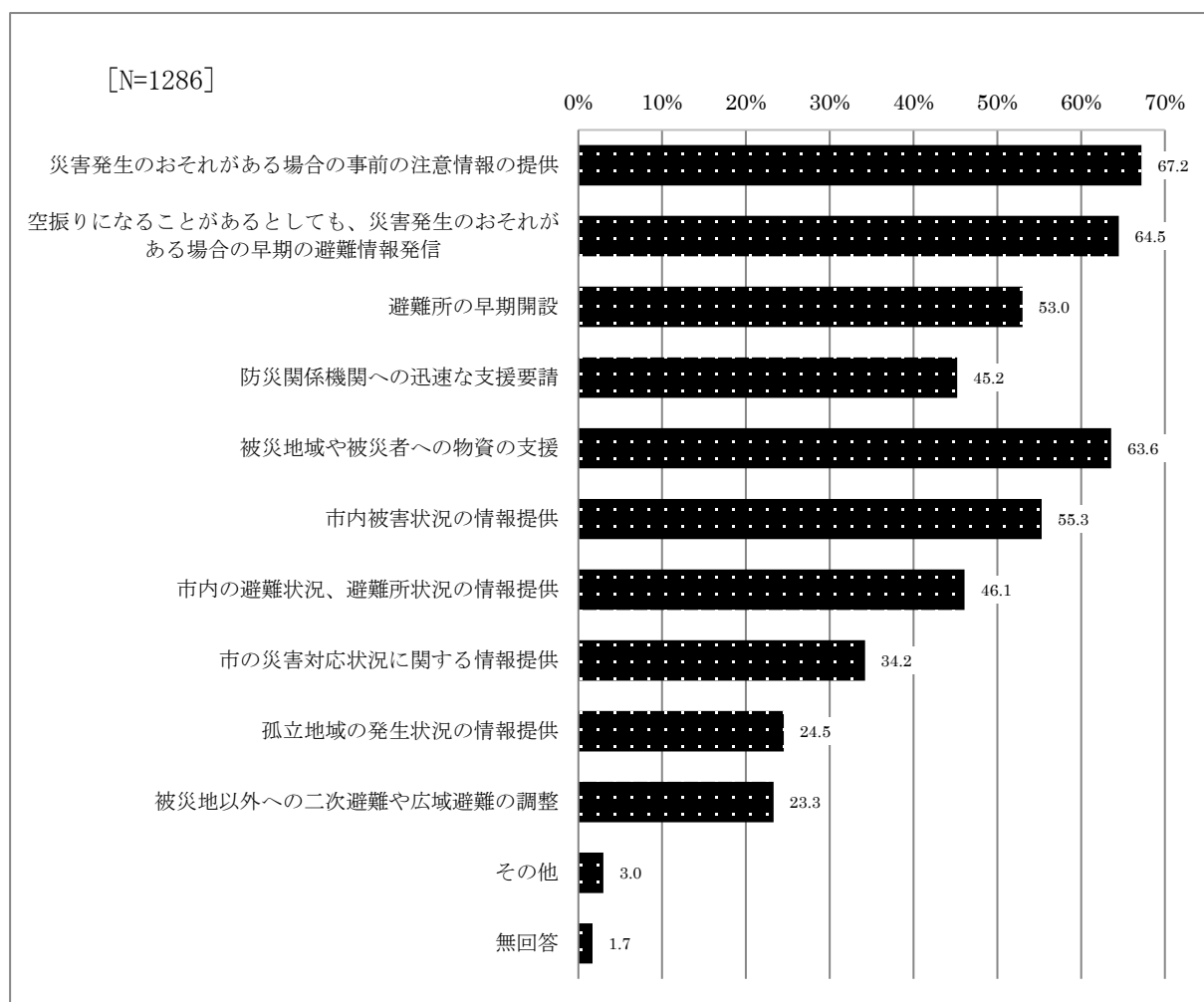
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	登録制の電子メール	携帯電話への緊急速報メール	テレビ放送	ラジオ放送	自動起動する防災ラジオ	テレビが自動起動する装置	事前登録した電話への一斉自動電話	スマートフォンアプリへの自動配信	防災行政無線の屋外スピーカー、戸別受信機	地上デジタル放送波を活用した専用受信機	インターネット上の防災ポータルサイト（災害情報・避難情報などを集約したホームページ）	SNS（Facebook、X（旧Twitter）、LINE）	その他	無回答
全体		1286	151	878	764	645	162	193	82	509	237	123	266	339	16	27
地区	河北	406	55	279	244	211	60	66	18	160	73	38	93	111	7	8
	河南	175	22	106	105	80	18	25	13	65	31	13	35	54	0	6
	盛南	182	18	129	103	92	27	29	13	77	29	12	43	44	2	2
	厨川	281	29	195	168	132	26	38	18	116	46	23	50	76	5	3
	都南	205	23	149	124	112	25	31	19	81	37	31	38	46	2	7
	玉山	37	4	20	20	18	6	4	1	10	21	6	7	8	0	1
性別	男	601	80	405	331	285	65	90	41	244	119	62	133	141	9	13
	女	685	71	473	433	360	97	103	41	265	118	61	133	198	7	14
年齢	18～19歳	18	5	12	8	6	3	2	1	4	2	2	2	10	0	0
	20～29歳	84	9	53	40	31	8	7	5	31	17	3	16	50	1	0
	30～39歳	115	8	72	43	35	12	13	6	53	24	9	31	53	1	2
	40～49歳	196	31	136	82	76	21	22	10	102	30	16	58	78	1	3
	50～59歳	222	36	163	125	114	23	17	10	109	46	20	63	66	3	1
	60～69歳	241	37	183	150	139	40	30	12	115	46	23	56	45	5	2
	70歳以上	410	25	259	316	244	55	102	38	95	72	50	40	37	5	19

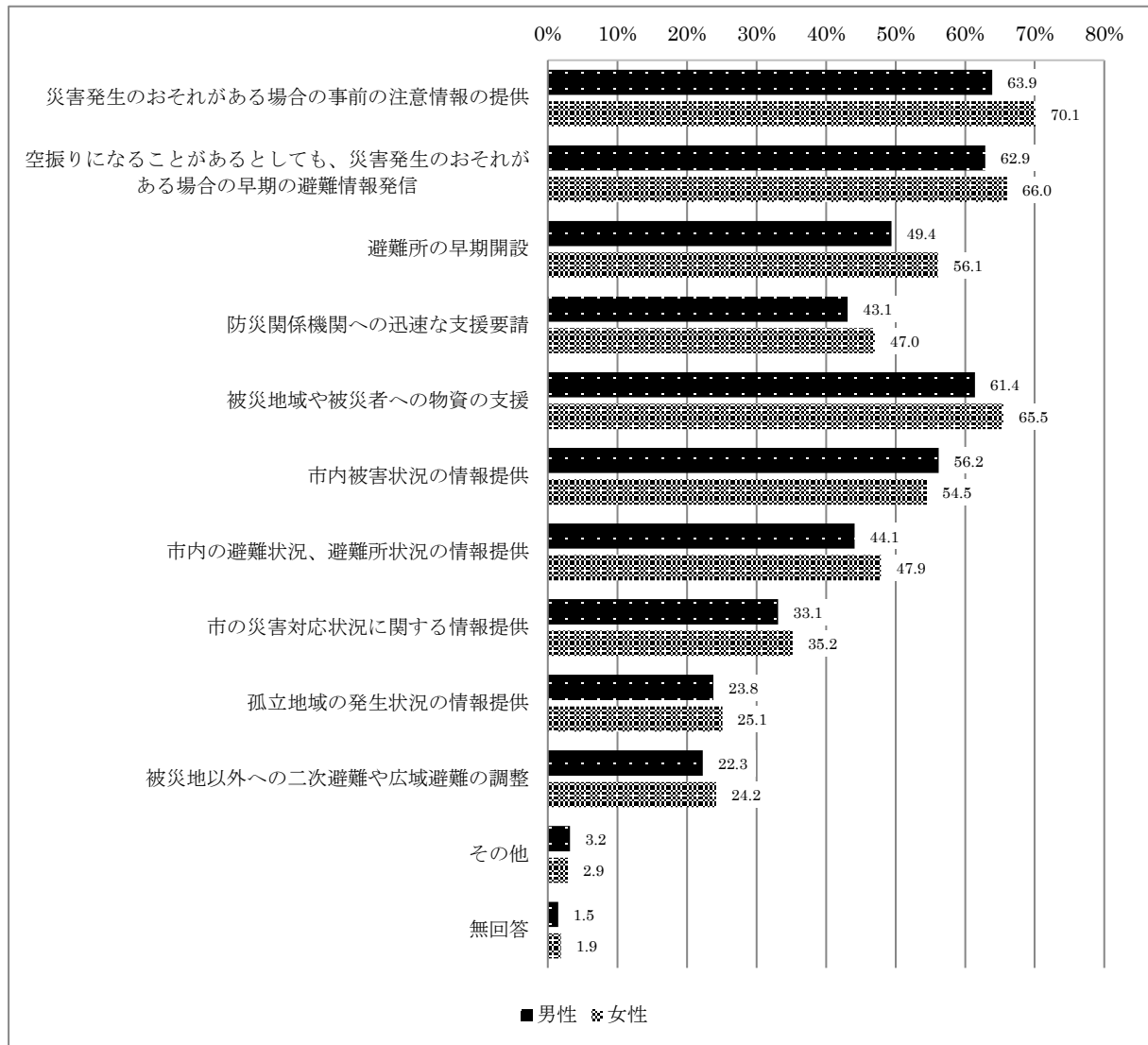
問 12 災害などの際に、あなたが市に望むことは何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | | |
|---|------------------------|
| 1 災害発生のおそれがある場合の事前の注意情報の提供 | 6 市内被害状況の情報提供 |
| 2 空振りになることがあるとしても、災害発生のおそれがある場合の早期の避難情報発信 | 7 市内の避難状況、避難所状況の情報提供 |
| 3 避難所の早期開設 | 8 市の災害対応状況に関する情報提供 |
| 4 防災関係機関への迅速な支援要請 | 9 孤立地域の発生状況の情報提供 |
| 5 被災地域や被災者への物資の支援 | 10 被災地以外への二次避難や広域避難の調整 |
| | 11 その他（ ） |

【全体】



【性別】



【全体を通じて】

「災害発生のおそれがある場合の事前の注意情報の提供」「空振りになることがあるとしても、災害発生のおそれがある場合の早期の避難情報発信」の割合が60%以上であり、可能な限り早い情報発信が求められている。また、「被災地域や被災者への物資の支援」も60%以上であることから、備蓄品の準備の必要性とともに、市の備蓄品には限りがあることから自助に関する意識の向上を図る必要があるものと考えられる。

【性別、年代別、地区別の回答数】

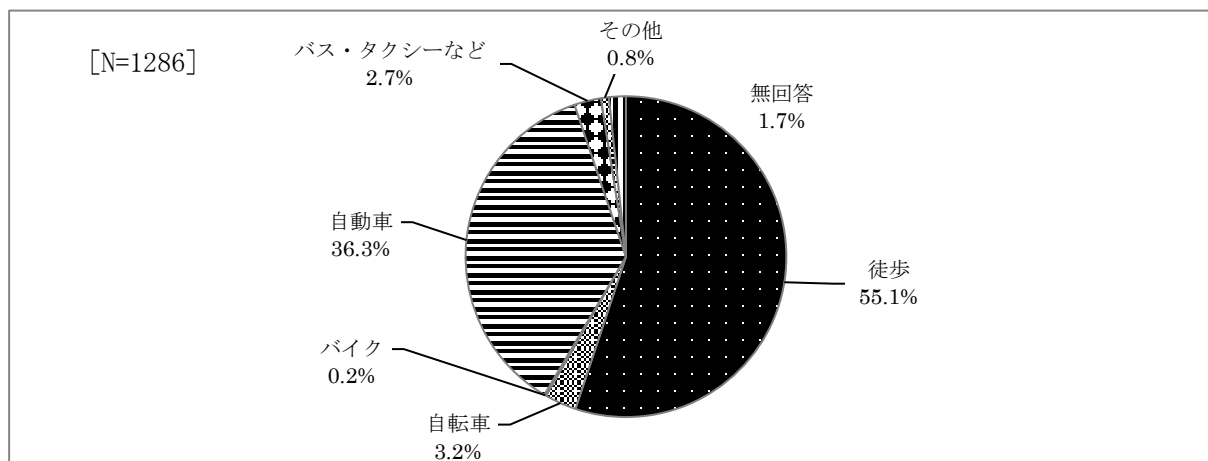
		実数（人）	災害発生のおそれがある場合の事前の注意情報の提供	空振りになることがあるとしても、災害発生のおそれがある場合の早期の避難情報発信	避難所の早期開設	防災関係機関への迅速な支援要請	被災地域や被災者への物資の支援	市内被害状況の情報提供	市内の避難状況、避難所状況の情報提供	市の災害対応状況に関する情報提供	孤立地域の発生状況の情報提供	被災地以外への二次避難や広域避難の調整	その他	無回答
全体		1286	864	830	681	581	818	711	593	440	315	300	39	22
地区	河北	406	280	281	214	192	262	242	200	147	102	91	16	7
	河南	175	115	108	84	66	103	93	80	53	38	45	1	5
	盛南	182	127	119	99	91	116	93	89	59	41	40	3	1
	厨川	281	186	170	156	126	190	152	125	95	70	67	12	4
	都南	205	132	127	109	90	123	116	83	72	55	47	4	5
	玉山	37	24	25	19	16	24	15	16	14	9	10	3	0
性別	男	601	384	378	297	259	369	338	265	199	143	134	19	9
	女	685	480	452	384	322	449	373	328	241	172	166	20	13
年齢	18～19歳	18	11	7	5	8	10	4	7	3	2	2	0	0
	20～29歳	84	56	44	40	42	50	43	32	21	16	17	2	1
	30～39歳	115	56	60	56	49	78	60	55	27	20	23	3	1
	40～49歳	196	121	123	89	95	128	117	99	66	55	44	7	3
	50～59歳	222	142	133	100	94	144	119	102	73	47	45	6	1
	60～69歳	241	174	168	140	112	161	140	116	96	65	70	9	2
	70歳以上	410	304	295	251	181	247	228	182	154	110	99	12	14

問 13 災害が発生した際に、①あなたが想定する避難場所（避難所・知人・親戚宅など）への移動方法は何か。②また、あなた自身で避難できない状態となった場合、市などからの支援として最も効果的だと考える手段は何か。それぞれ1つに○を付けてください。

①移動方法

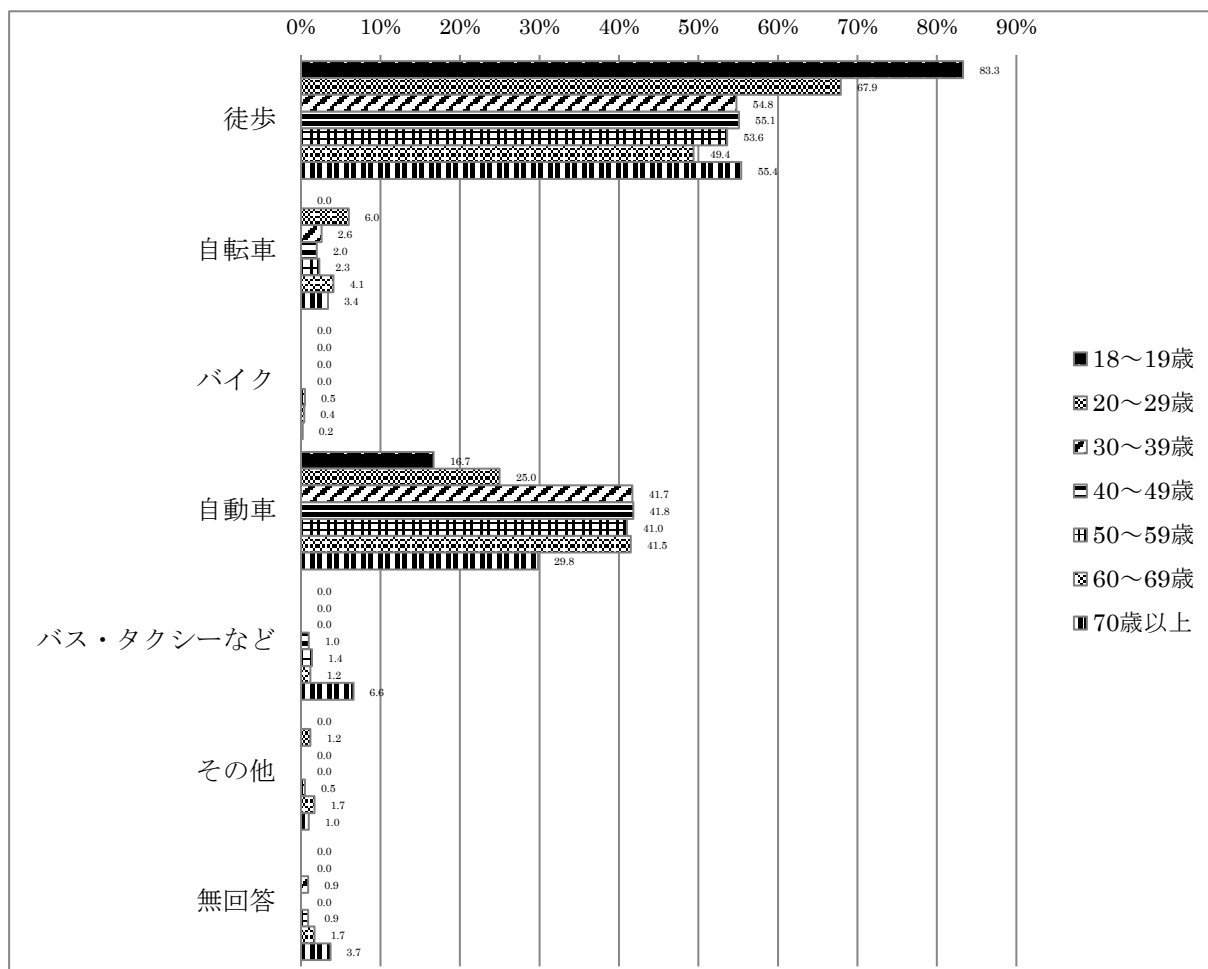
1 徒歩	4 自動車
2 自転車	5 バス・タクシーなど
3 バイク	6 その他（ ）

【全体】



50%以上が「徒歩」と回答しているものの、「自動車」の割合も約4割となっている。避難所開設の検討の際には、駐車場の有無など、自動車による移動も踏まえた検討が必要である。

【年代別】



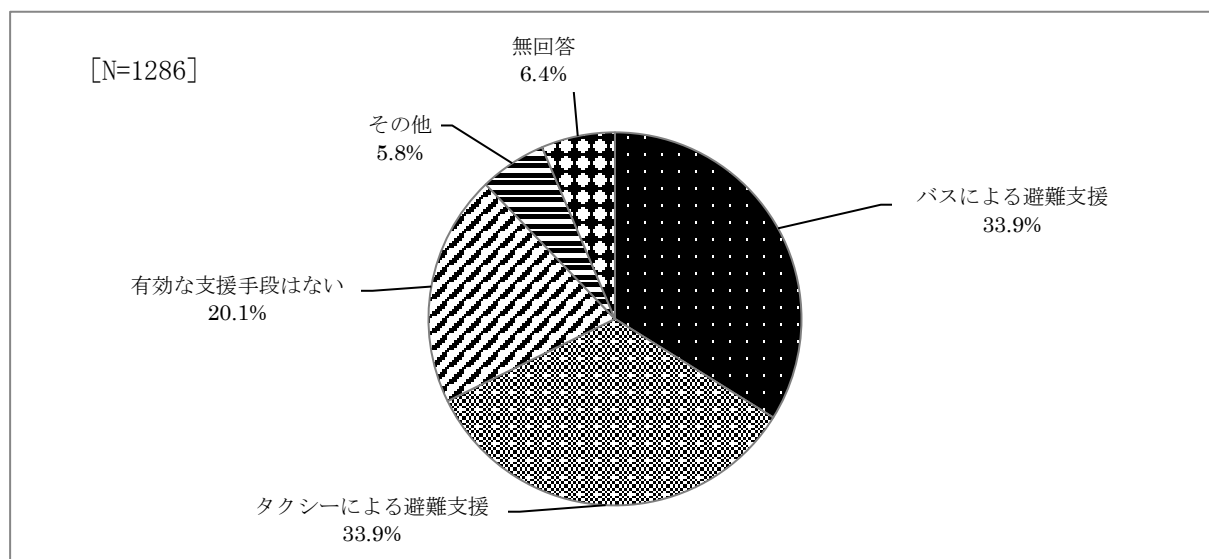
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	徒歩	自転車	バイク	自動車	バス・タクシーなど	その他	無回答
全体		1286	708	41	3	467	35	10	22
地区	河北	406	258	10	1	120	8	2	7
	河南	175	115	6	1	42	6	2	3
	盛南	182	80	6	0	84	5	4	3
	厨川	281	153	8	1	104	11	1	3
	都南	205	87	11	0	99	3	0	5
	玉山	37	15	0	0	18	2	1	1
性別	男	601	336	13	3	219	12	6	12
	女	685	372	28	0	248	23	4	10
年齢	18～19歳	18	15	0	0	3	0	0	0
	20～29歳	84	57	5	0	21	0	1	0
	30～39歳	115	63	3	0	48	0	0	1
	40～49歳	196	108	4	0	82	2	0	0
	50～59歳	222	119	5	1	91	3	1	2
	60～69歳	241	119	10	1	100	3	4	4
	70歳以上	410	227	14	1	122	27	4	15

②支援

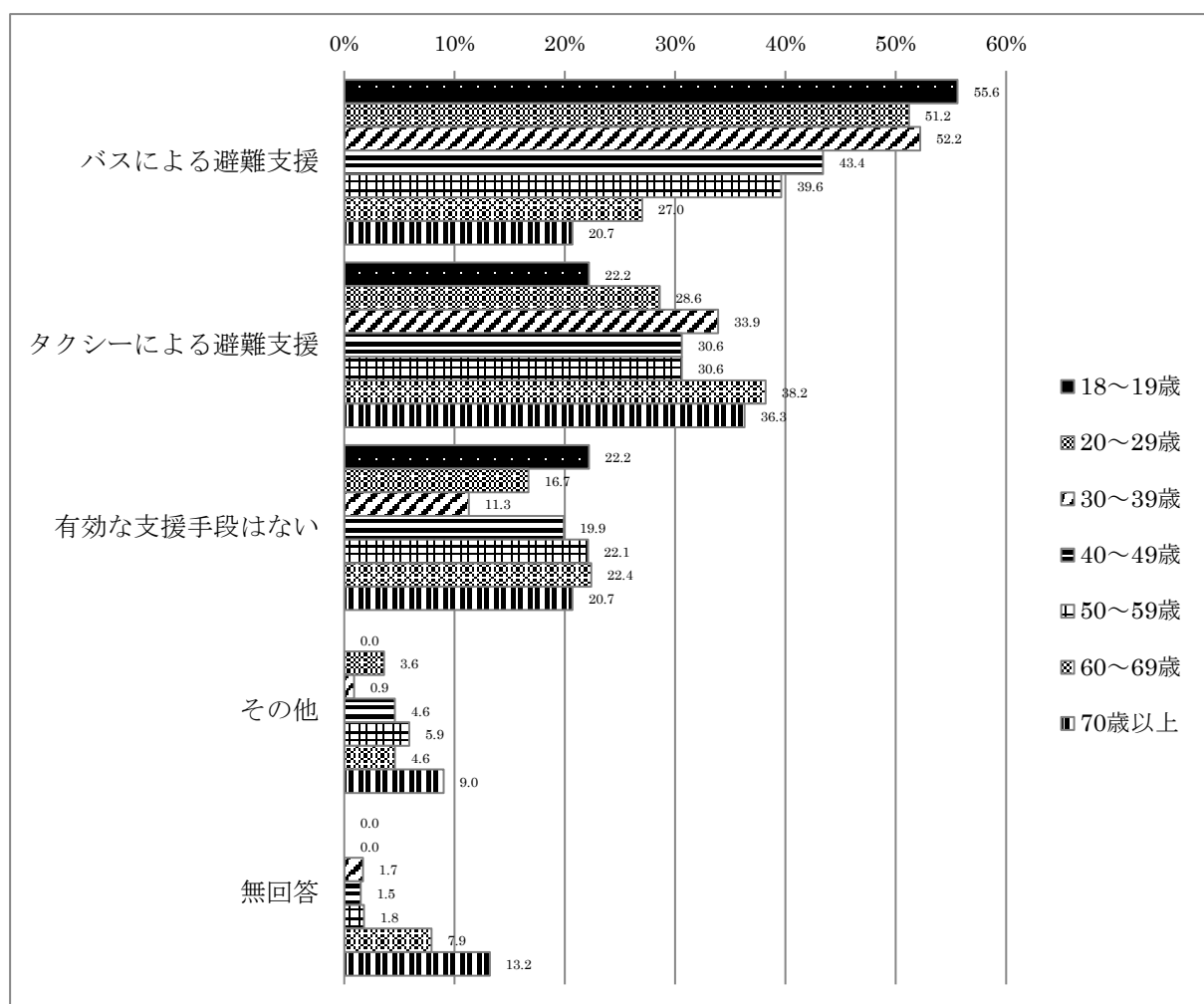
- | | |
|---------------|--------------|
| 1 バスによる避難支援 | 3 有効な支援手段はない |
| 2 タクシーによる避難支援 | 4 その他（ ） |

【全体】



「バスによる避難支援」と「タクシーによる避難支援」が同じ割合であり、バスとタクシーを併用した支援策が効果的であると考えられる。

【年代別】



【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	バスによる避難支援	タクシーによる避難支援	有効な支援手段はない	その他	無回答
全体		1286	436	436	258	74	82
地区	河北	406	139	138	83	26	20
	河南	175	57	65	36	6	11
	盛南	182	67	61	31	10	13
	厨川	281	93	94	62	14	18
	都南	205	70	68	35	15	17
	玉山	37	10	10	11	3	3
性別	男	601	180	198	150	42	31
	女	685	256	238	108	32	51
年齢	18～19歳	18	10	4	4	0	0
	20～29歳	84	43	24	14	3	0
	30～39歳	115	60	39	13	1	2
	40～49歳	196	85	60	39	9	3
	50～59歳	222	88	68	49	13	4
	60～69歳	241	65	92	54	11	19
	70歳以上	410	85	149	85	37	54

【全体を通じて】

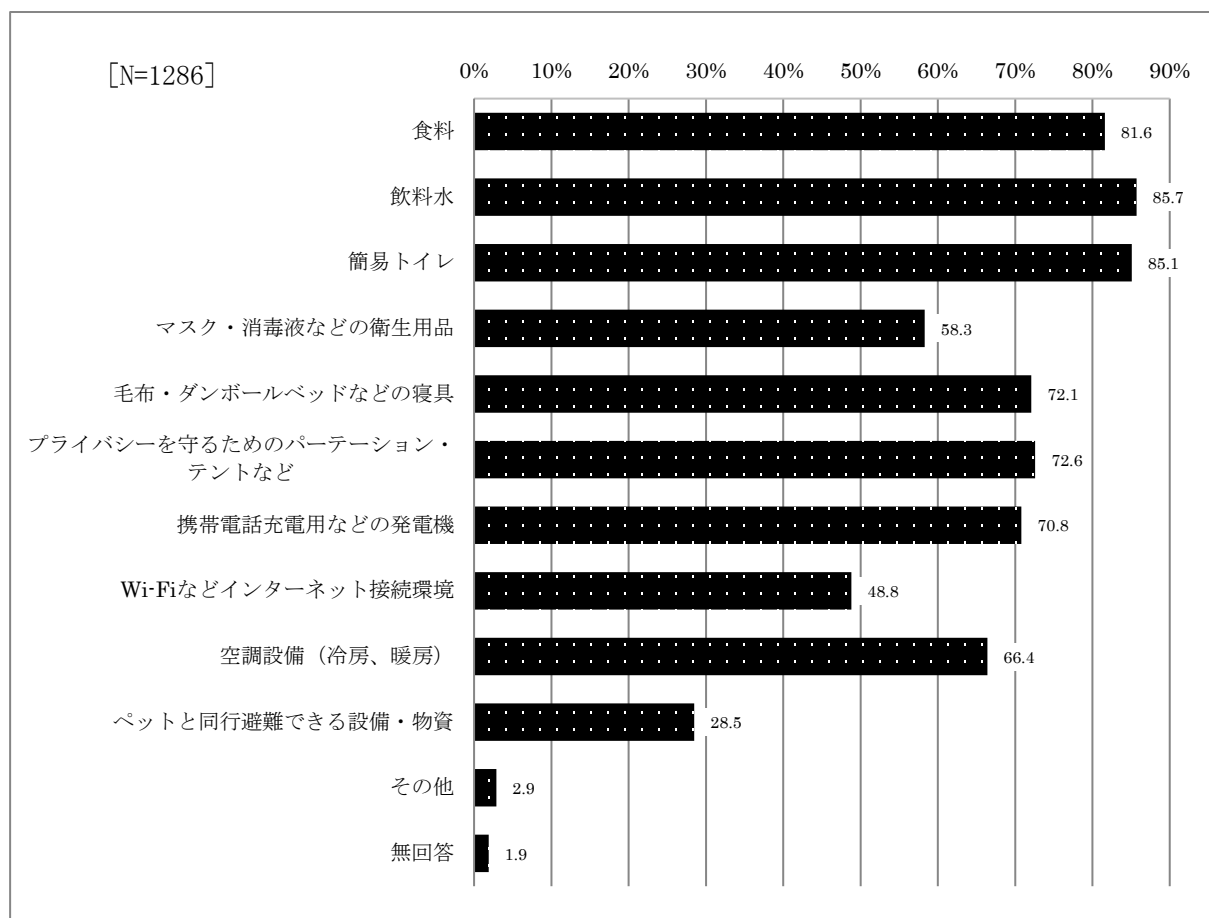
災害時の避難手段の基本は「徒歩」として周知しており、半数以上の方は「徒歩」で移動すると回答している。一方で、「自動車」と回答している方も4割程度いる状況であるため、現実的な問題として、自動車での避難についても対応を検討する必要があることが明らかとなった。

また、バスやタクシーでの支援を希望する方が6割以上となっていることに加え、「その他」では子どもや車いす利用者のサポートの必要もあるとの回答もあることから、支援の在り方について検討が必要である。

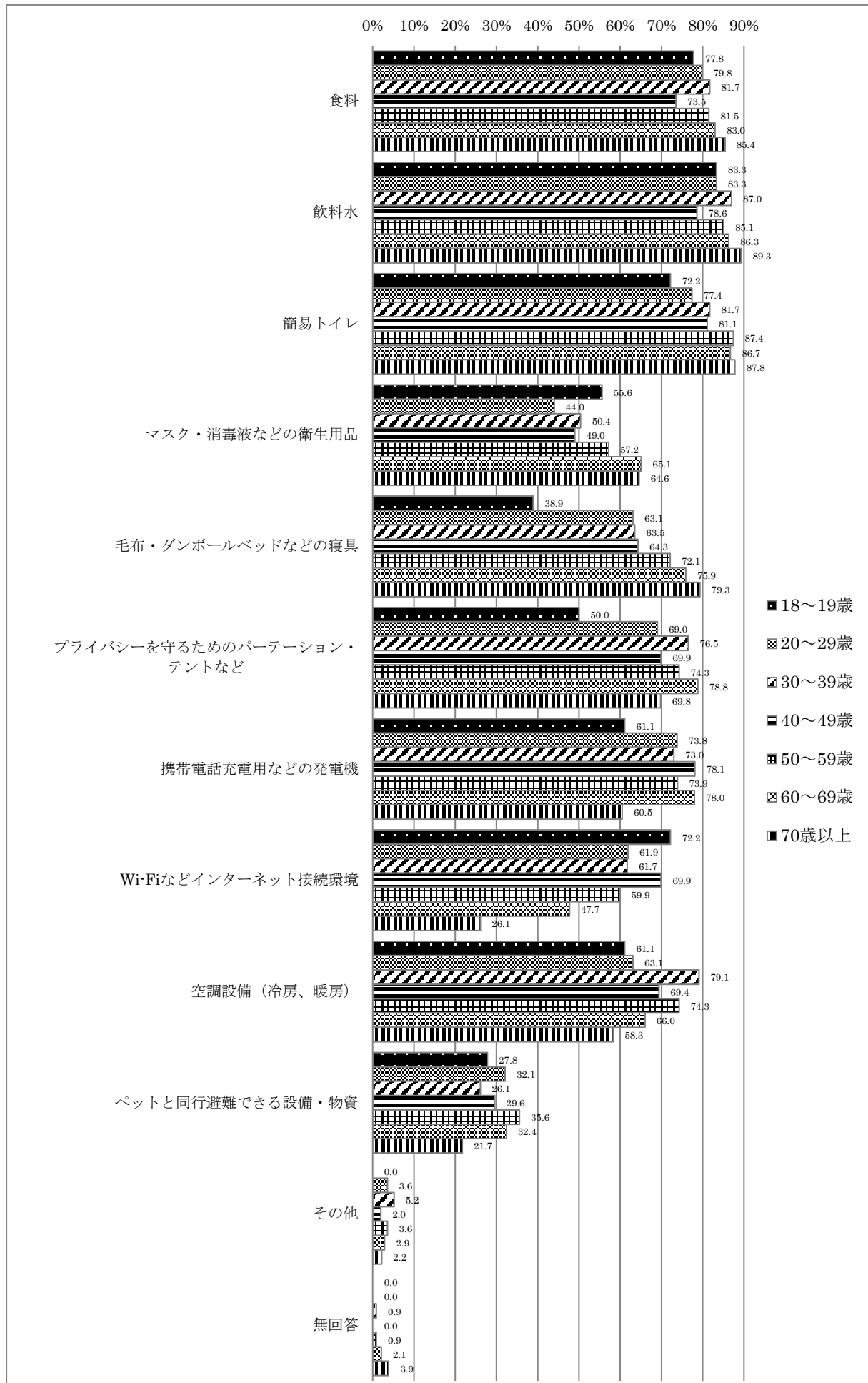
問 14 避難所生活で必要となる物資などで市が整備を拡充すべきだと思うものは何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。（なお、選択肢7～10は現在備蓄がないため、新規整備となります。）

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1 食料 | 7 携帯電話充電用などの発電機 |
| 2 飲料水 | 8 Wi-Fi などインターネット接続環境 |
| 3 簡易トイレ | 9 空調設備（冷房、暖房） |
| 4 マスク・消毒液などの衛生用品 | 10 ペットと同行避難できる設備・物資 |
| 5 毛布・ダンボールベッドなどの寝具 | 11 その他（ ） |
| 6 プライバシーを守るためのパーテーション・テントなど | |

【全体】



【年代別】



【全体を通じて】

飲料水や食料、それらと切り離せないトイレに関係する項目について重要視している傾向となった。
現在、市では飲料水の備蓄は行っていないことから、備蓄の検討を進めていく必要があると考える。

【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	食料	飲料水	簡易トイレ	マスク・消毒液などの衛生用品	毛布・ダンボールベッドなどの寝具	プライバシーを守るためのパーテーション・テントなど	携帯電話充電用などの発電機	モバイルなどインターネット接続環境	空調設備（冷房、暖房）	ペットと同行避難できる設備・物資	その他	無回答
全体		1286	1050	1102	1094	750	927	933	910	628	854	366	37	24
地区	河北	406	328	344	339	241	285	300	287	207	274	104	18	8
	河南	175	151	157	153	98	128	122	126	88	110	42	1	2
	盛南	182	146	153	157	100	136	134	128	95	121	54	7	3
	厨川	281	229	236	238	169	206	205	202	135	192	84	7	3
	都南	205	169	181	178	123	147	148	145	87	134	72	3	7
	玉山	37	27	31	29	19	25	24	22	16	23	10	1	1
性別	男	601	483	507	502	327	407	406	408	294	396	146	15	12
	女	685	567	595	592	423	520	527	502	334	458	220	22	12
年齢	18～19歳	18	14	15	13	10	7	9	11	13	11	5	0	0
	20～29歳	84	67	70	65	37	53	58	62	52	53	27	3	0
	30～39歳	115	94	100	94	58	73	88	84	71	91	30	6	1
	40～49歳	196	144	154	159	96	126	137	153	137	136	58	4	0
	50～59歳	222	181	189	194	127	160	165	164	133	165	79	8	2
	60～69歳	241	200	208	209	157	183	190	188	115	159	78	7	5
	70歳以上	410	350	366	360	265	325	286	248	107	239	89	9	16

《テーマ3 市民協働について》

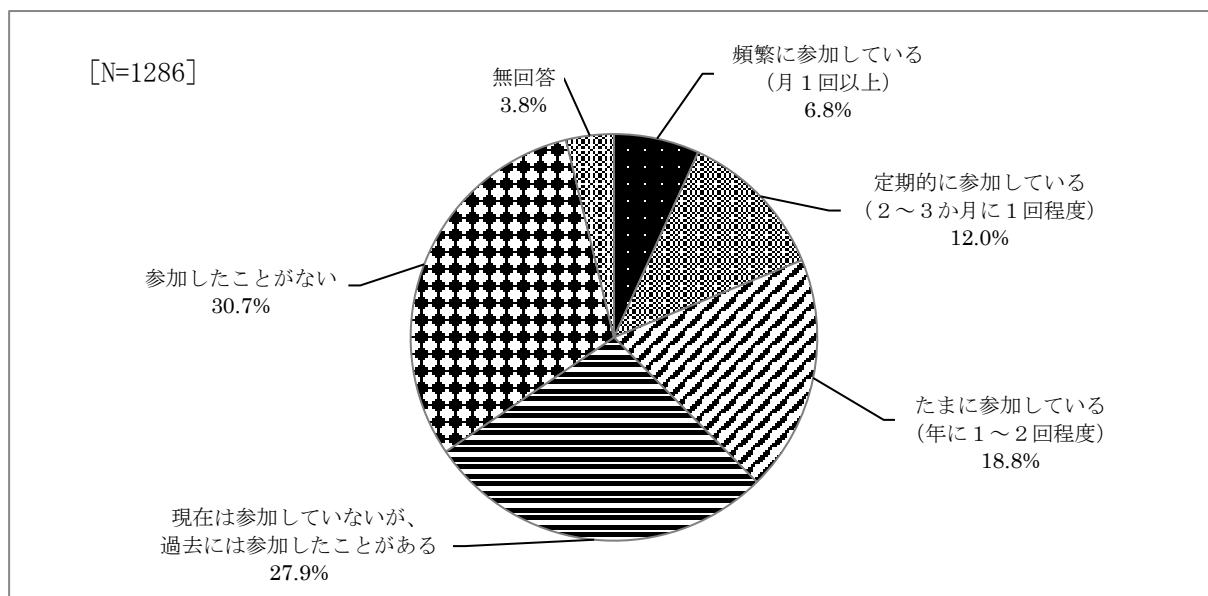
問 15 あなたは、主に住民によって組織された団体（*1）が行う地域活動（*2）に、どのくらいの頻度で参加していますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

（*1）住民によって組織された団体の例：町内会・自治会、子ども会、老人クラブ、地区福祉推進
会、まちづくり団体など

（*2）地域活動の例：清掃活動、お祭り、見守り活動、防災訓練、世代間交流、資源回収、あいさ
つ運動など

- 1 頻繁に参加している（月1回以上）
- 2 定期的に参加している（2～3か月に1回程度）
- 3 たまに参加している（年に1～2回程度）
- 4 現在は参加していないが、過去には参加したことがある
- 5 参加したことがない

【全体】

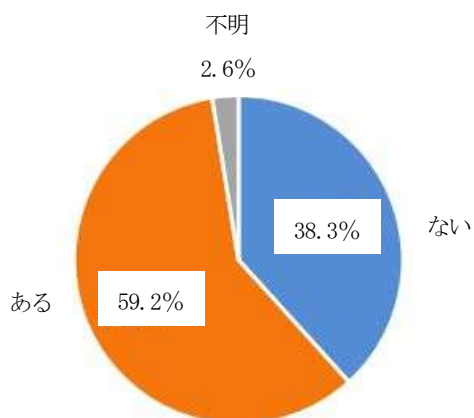


【参考】

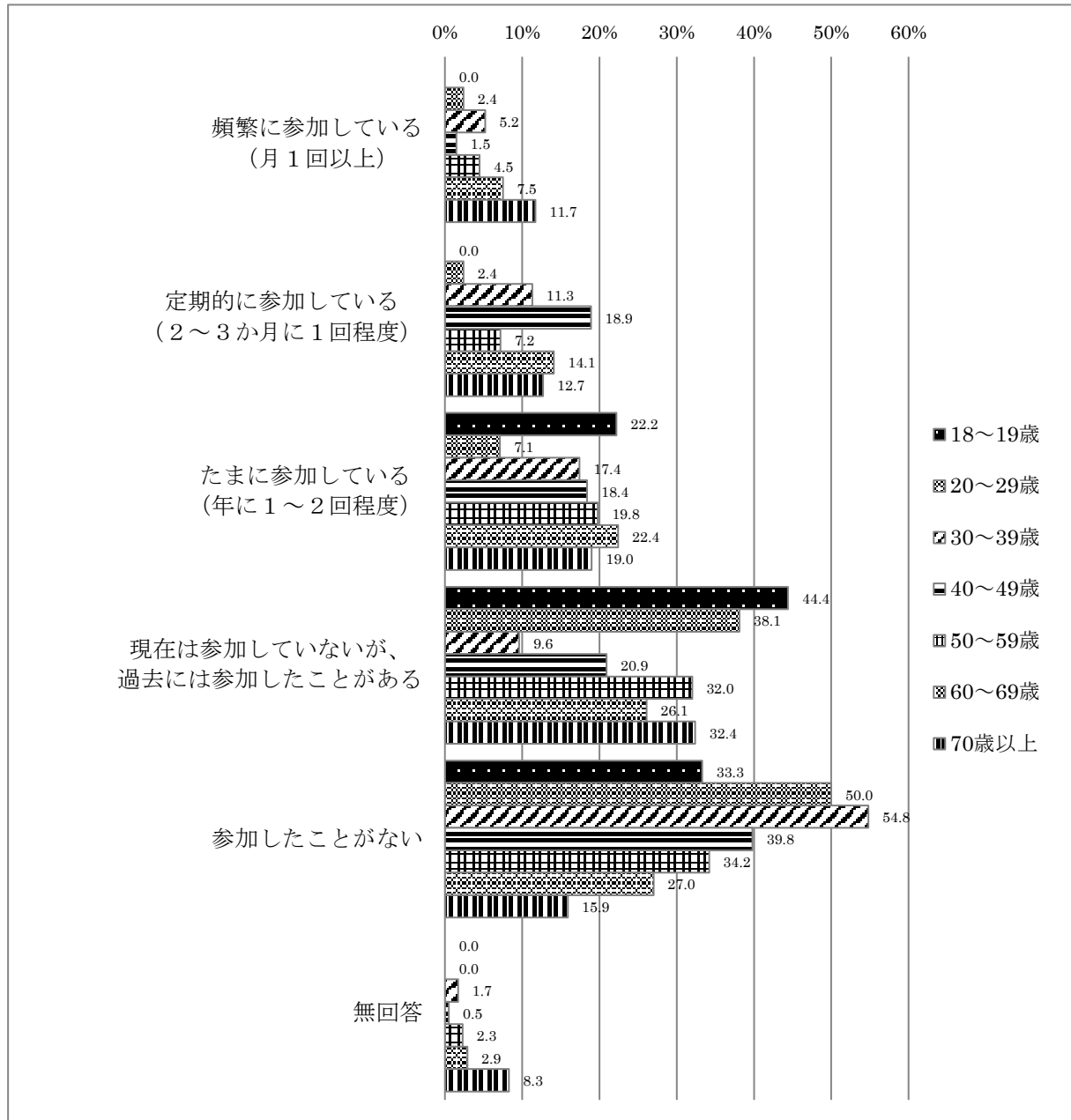
令和5年度盛岡市まちづくり評価アンケート調査

問22 あなたは、この1年間に地域のコミュニティ活動に参加したことがありますか。

（コミュニティ活動とは、町内会等を中心に行われている、集会や清掃活動、集団回収、花いっぱい運動、防犯活動などのほか、文化祭、スポーツ大会、新年会、その他住民相互の交流活動のことをいいます。）（回答数：1,207）



【年代別】



現在、地域活動に参加している人（「頻繁に参加している」「定期的に参加している」「たまに参加している」と回答した者）の割合は60代以上が多く、特に「頻繁に参加している」割合は、70歳以上がほかの世代と比べ最も高かった。これに対し、50代は地域活動に参加している人の割合が30代～40代よりも低かった。

【全体を通じて】

現在、地域活動に参加していない人（「現在は参加していないが、過去には参加したことがある」「参加したことがない」と回答した者）の割合は58.6%で、「令和5年度盛岡市まちづくり評価アンケート」のコミュニティ活動への参加状況の59.2%（「この1年参加したことがない」と回答した者）と同程度の結果となっており、コミュニティの活力低下が懸念される。

少子高齢化が進む中で、より若い年代から地域活動に参加するための施策や、地域ごとに特性を考慮した施策を講じていく必要がある。

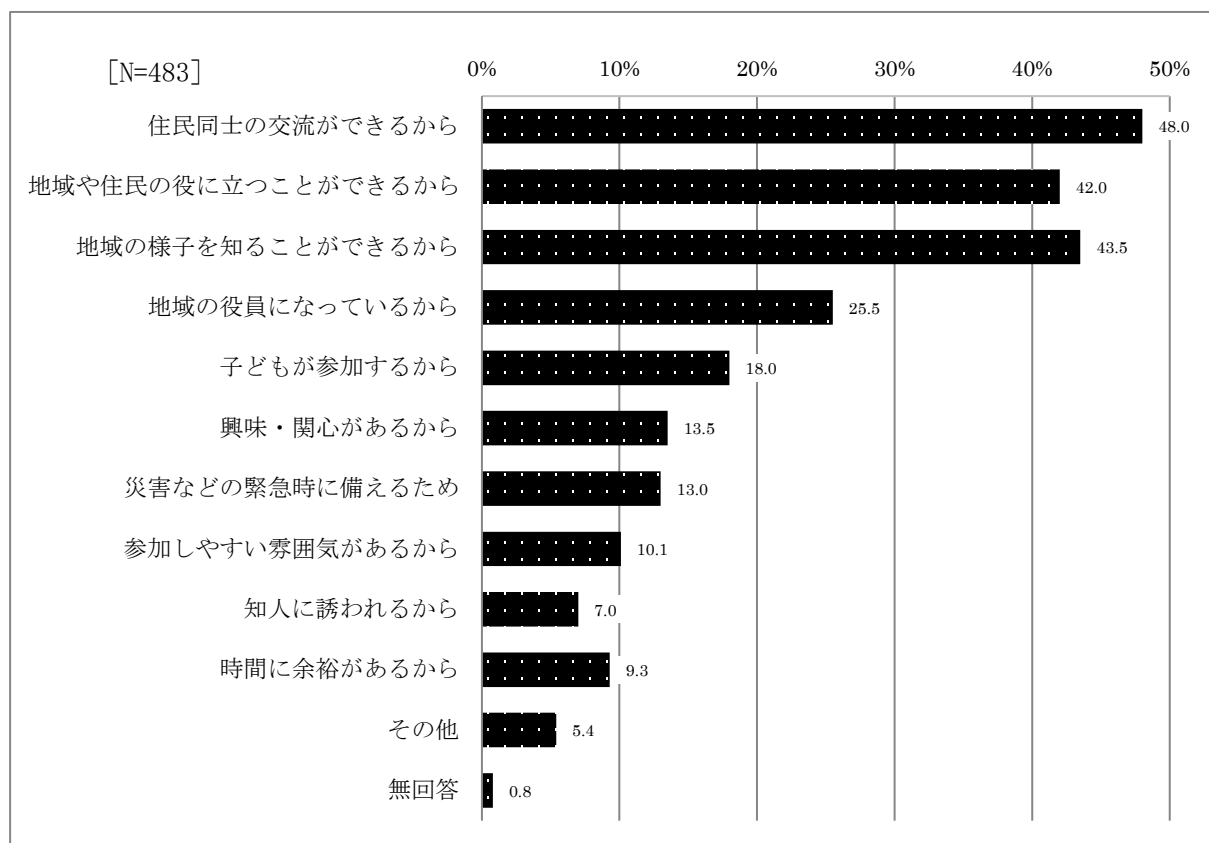
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数（人）	頻繁に参加している（月1回以上）	定期的に参加している（2～3か月に1回程度）	たまに参加している（年に1～2回程度）	現在は参加していないが、過去には参加したことがある	参加したことがない	無回答
全体		1286	87	154	242	359	395	49
地区	河北	406	27	39	85	109	131	15
	河南	175	7	22	28	49	64	5
	盛南	182	13	15	33	53	61	7
	厨川	281	21	36	49	80	82	13
	都南	205	15	37	38	56	51	8
	玉山	37	4	5	9	12	6	1
性別	男	601	43	70	121	143	202	22
	女	685	44	84	121	216	193	27
年齢	18～19歳	18	0	0	4	8	6	0
	20～29歳	84	2	2	6	32	42	0
	30～39歳	115	6	13	20	11	63	2
	40～49歳	196	3	37	36	41	78	1
	50～59歳	222	10	16	44	71	76	5
	60～69歳	241	18	34	54	63	65	7
	70歳以上	410	48	52	78	133	65	34

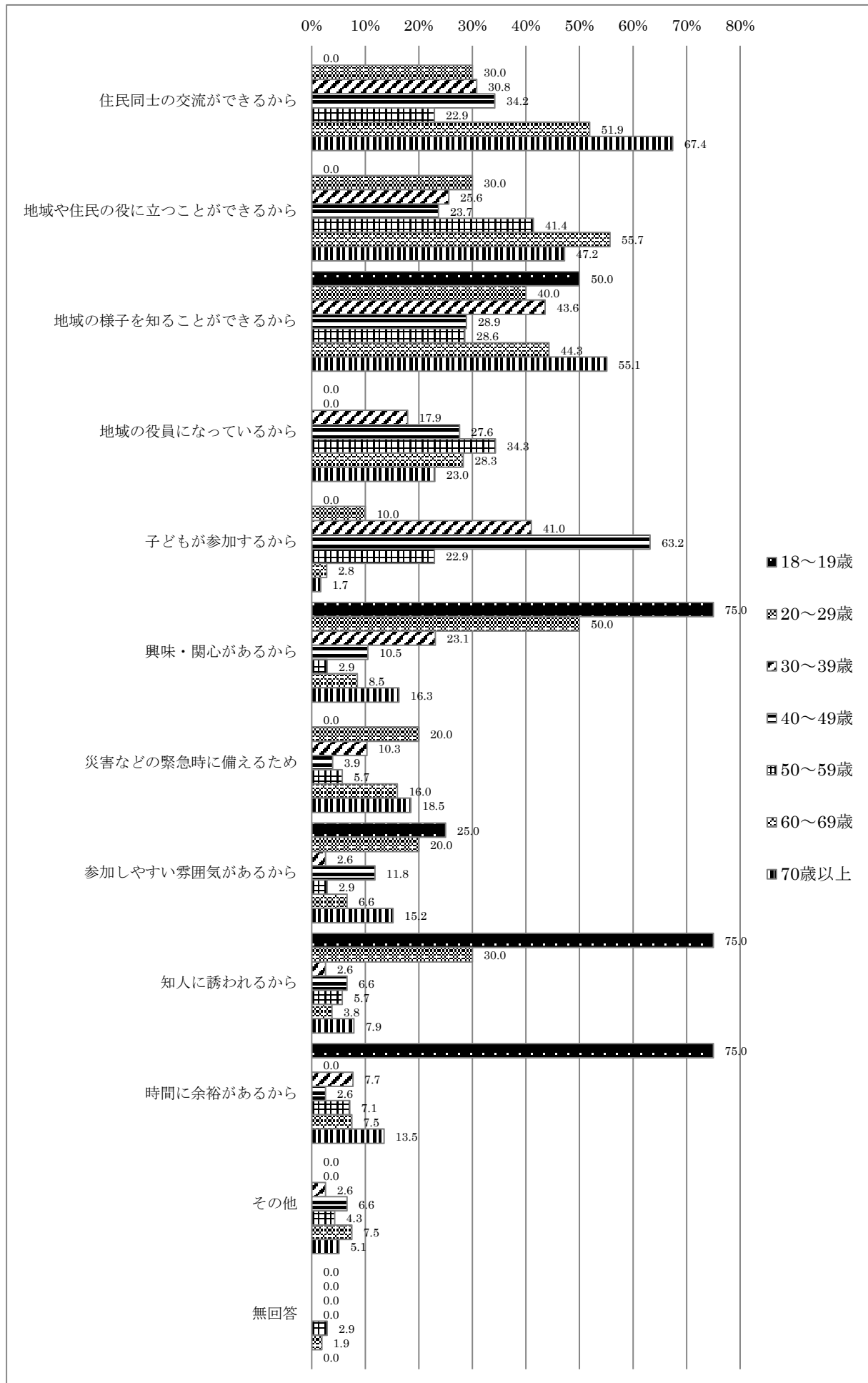
問 16 問 15 で「1 頻繁に参加している（月 1 回以上）」「2 定期的に参加している（2～3 か月に 1 回程度）」「3 たまに参加している（年に 1～2 回程度）」を選んだ方にお聞きします。あなたが、地域活動に参加する理由は何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1 住民同士の交流ができるから | 7 災害などの緊急時に備えるため |
| 2 地域や住民の役に立つことができるから | 8 参加しやすい雰囲気があるから |
| 3 地域の様子を知ることができるから | 9 知人に誘われるから |
| 4 地域の役員になっているから | 10 時間に余裕があるから |
| 5 子どもが参加するから | 11 その他（ ） |
| 6 興味・関心があるから | |

【全体】



【年代別】



【全体を通じて】

「住民同士の交流ができるから」「地域の様子を知ることができるから」「地域や住民の役に立つことができるから」は、全体として回答の割合が高く、地域活動に期待されている主な役割が明らかになった。

自然災害の頻発化や、高齢化が進む社会において、住民同士の共助が非常に重要であるが、地域コミュニティはその醸成の場として欠かせないものであることから、将来にわたって地域のつながりが維持・継続できるような仕組みづくりが重要となる。

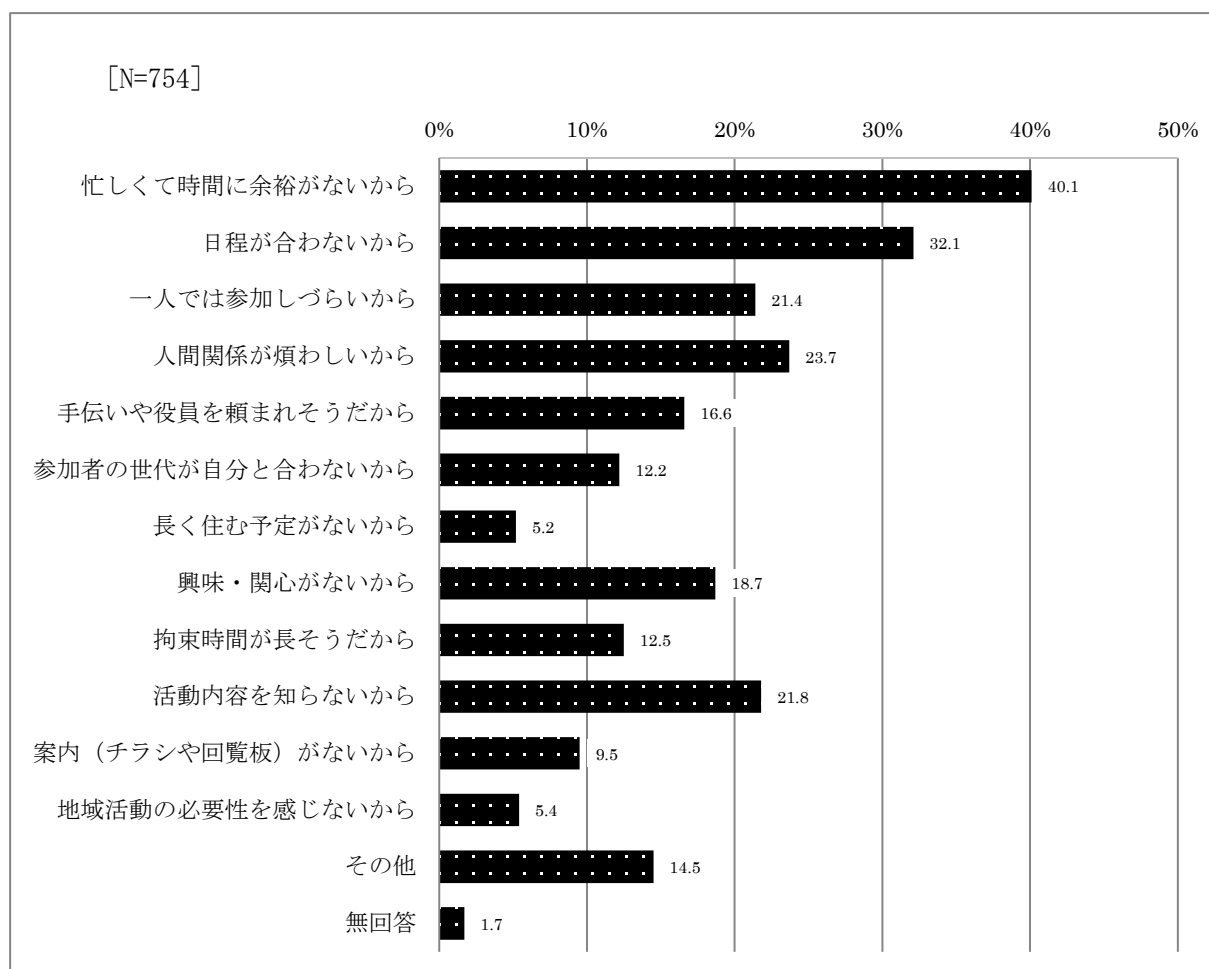
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	住民 同士の 交流が できる から	地域 や住民 の役に 立つこ とがで きるか ら	地域 の様子 を知ら ること がで きるか ら	地域 の役員 になっ てい るから	子 ども が参 加す るから	興 味・ 関心 があ るから	災 害な どの 緊急 時に 備え るた め	参 加し やす い雰 囲気 があ るから	知 人に 誘わ れる から	時 間 に 余 裕 が あ る から	そ の 他	無 回 答
全体		483	232	203	210	123	87	65	63	49	34	45	26	4
地区	河北	151	66	65	63	34	24	20	24	18	17	15	13	0
	河南	57	33	22	30	17	10	10	11	5	3	3	2	3
	盛南	61	30	19	33	14	13	10	9	9	3	9	3	1
	厨川	106	46	46	38	26	24	13	9	10	5	10	6	0
	都南	90	46	41	38	24	12	11	8	6	5	8	2	0
	玉山	18	11	10	8	8	4	1	2	1	1	0	0	0
性別	男	234	110	103	99	63	48	31	25	22	19	22	14	2
	女	249	122	100	111	60	39	34	38	27	15	23	12	2
年齢	18～19歳	4	0	0	2	0	0	3	0	1	3	3	0	0
	20～29歳	10	3	3	4	0	1	5	2	2	3	0	0	0
	30～39歳	39	12	10	17	7	16	9	4	1	1	3	1	0
	40～49歳	76	26	18	22	21	48	8	3	9	5	2	5	0
	50～59歳	70	16	29	20	24	16	2	4	2	4	5	3	2
	60～69歳	106	55	59	47	30	3	9	17	7	4	8	8	2
	70歳以上	178	120	84	98	41	3	29	33	27	14	24	9	0

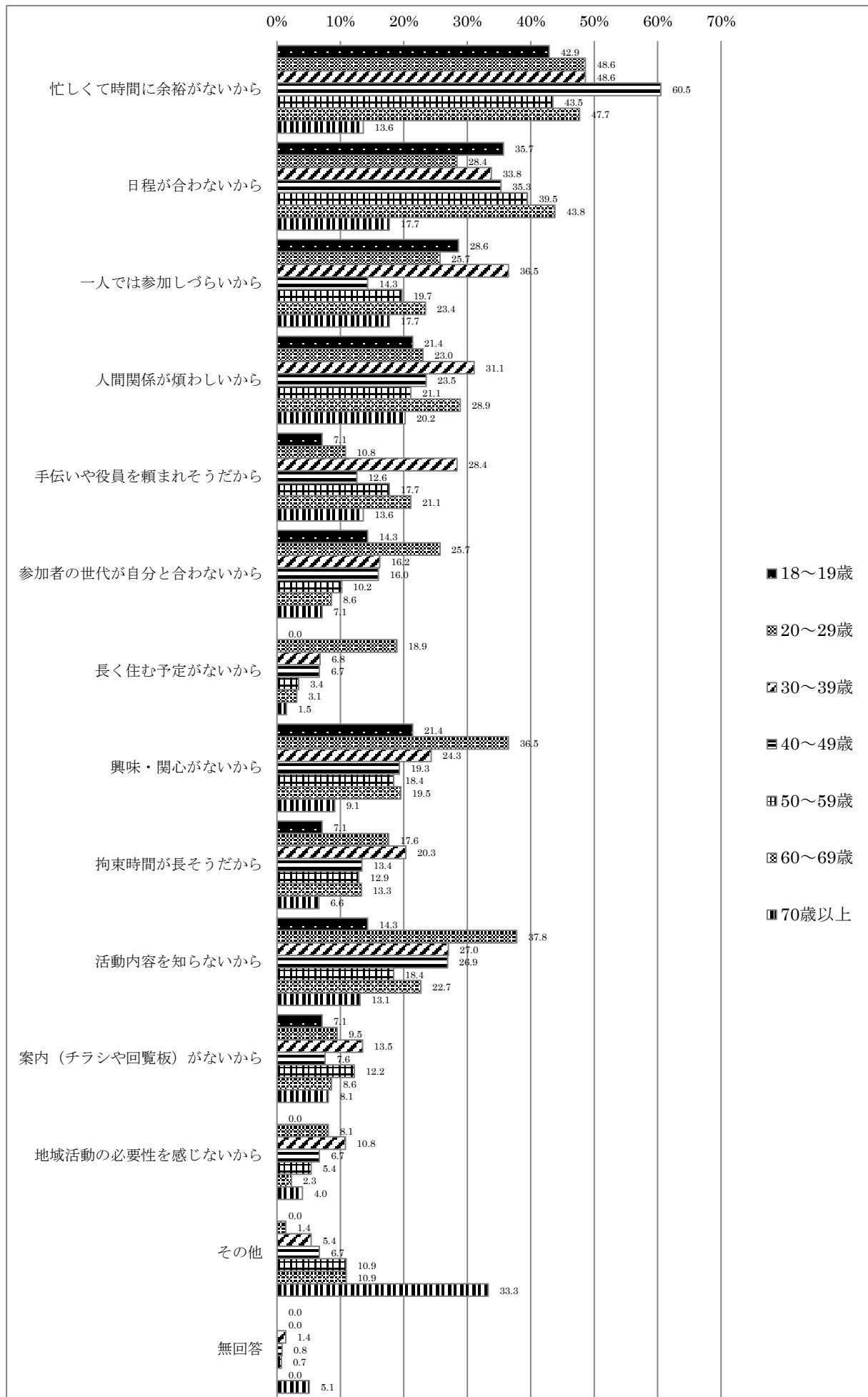
問 17 問 15 で「4 現在は参加していないが、過去には参加したことがある」「5 参加したことがない」を選んだ方にお聞きします。あなたが、地域活動に参加していない理由は何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 忙しくて時間に余裕がないから | 8 興味・関心がないから |
| 2 日程が合わないから | 9 拘束時間が長そうだから |
| 3 一人では参加しづらいから | 10 活動内容を知らないから |
| 4 人間関係が煩わしいから | 11 案内（チラシや回覧板）がないから |
| 5 手伝いや役員を頼まれそうだから | 12 地域活動の必要性を感じないから |
| 6 参加者の世代が自分と合わないから | 13 その他（ ） |
| 7 長く住む予定がないから | |

【全体】



【年代別】



「忙しくて時間に余裕がないから」が、70歳以上を除く全年代において最も割合が高い。「日程が合わないから」も同様の傾向があり、特に40代～60代が顕著である。これは10代も同様であるが、学業によるものと思料される。

また、「活動内容を知らないから」「興味・関心がないから」は、特に20代が多いことがうかがえる。

【全体を通じて】

「忙しくて時間に余裕がないから」「日程が合わないから」といった、予定の調整がつかないという割合が高かった。また、「人間関係が煩わしいから」「一人では参加しづらいから」など他者との関係構築に積極的になれないと考えられる回答、「活動内容を知らないから」「興味・関心がないから」など知識や意欲の面で接点がないと考えられる回答の割合が高かった。

「忙しくて時間に余裕がないから」「日程が合わないから」は、参加を否定しているものではなく、将来的に予定が合えば参加の可能性があるとと言える。

また、「活動内容を知らないから」「興味・関心がないから」も明確な否定とは言えないことから、こういった層へ、地域活動の意義を知らせたり参加の意欲を促進したりするため、多様な住民が参加しやすいようなコミュニティ運営や情報発信が求められていると言える。

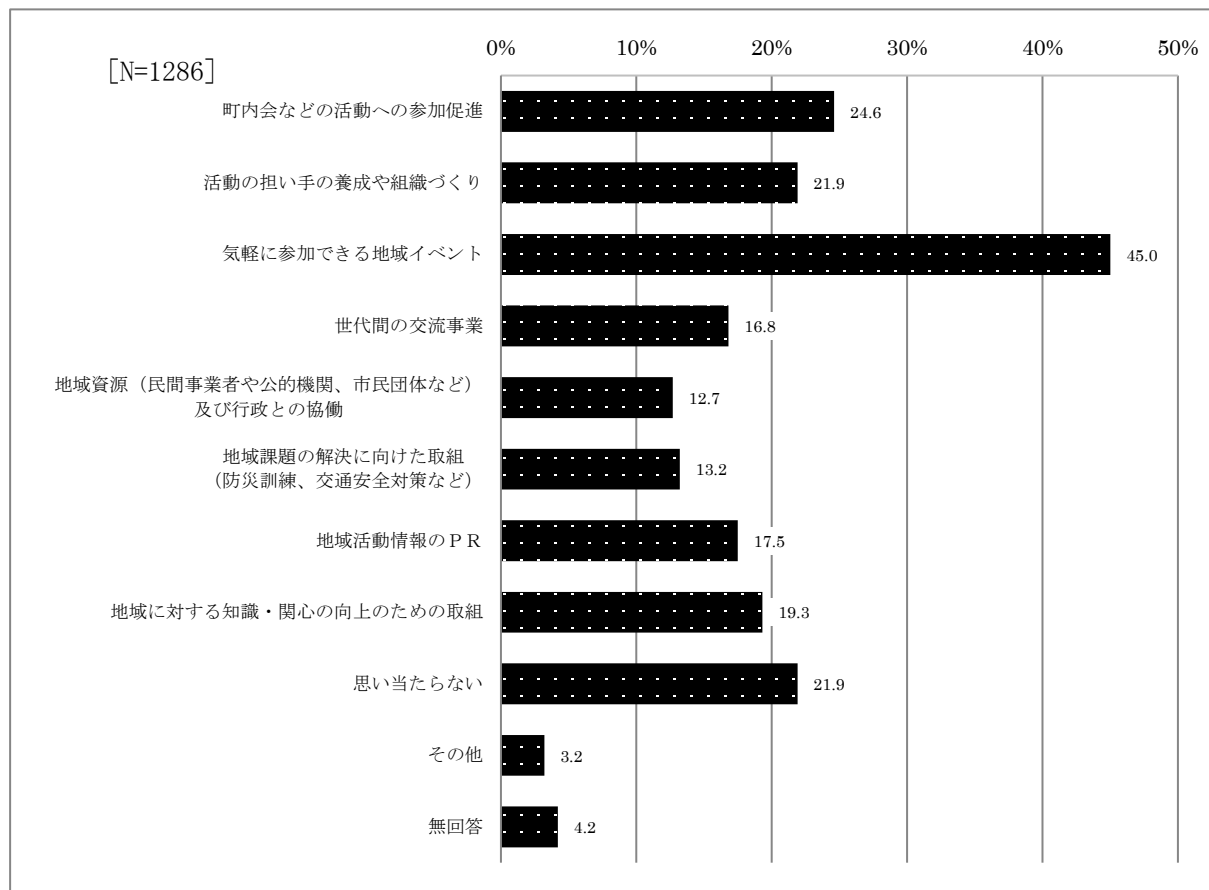
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数（人）	忙しくて時間に余裕がないから	日程が合わないから	一人では参加しづらいから	人間関係が煩わしいから	手伝いや役員を頼まれそうだから	参加者の世代が自分と合わないから	長く住む予定がないから	興味・関心がないから	拘束時間が長そうだから	活動内容を知らないから	案内（チラシや回覧板）がないから	地域活動の必要性を感じないから	その他	無回答
全体		754	302	242	161	179	125	92	39	141	94	164	72	41	109	13
地区	河北	240	108	85	37	54	41	25	9	50	28	45	19	12	34	5
	河南	113	42	42	32	28	20	17	7	16	15	27	12	9	11	2
	盛南	114	45	28	23	29	17	11	5	20	15	34	10	3	14	2
	厨川	162	71	56	34	42	31	27	11	32	24	35	14	10	24	2
	都南	107	31	23	31	23	15	11	6	19	10	21	16	6	18	2
	玉山	18	5	8	4	3	1	1	1	4	2	2	1	1	8	0
性別	男	345	140	109	73	96	67	46	16	65	43	73	40	23	45	3
	女	409	162	133	88	83	58	46	23	76	51	91	32	18	64	10
年齢	18～19歳	14	6	5	4	3	1	2	0	3	1	2	1	0	0	0
	20～29歳	74	36	21	19	17	8	19	14	27	13	28	7	6	1	0
	30～39歳	74	36	25	27	23	21	12	5	18	15	20	10	8	4	1
	40～49歳	119	72	42	17	28	15	19	8	23	16	32	9	8	8	1
	50～59歳	147	64	58	29	31	26	15	5	27	19	27	18	8	16	1
	60～69歳	128	61	56	30	37	27	11	4	25	17	29	11	3	14	0
	70歳以上	198	27	35	35	40	27	14	3	18	13	26	16	8	66	10

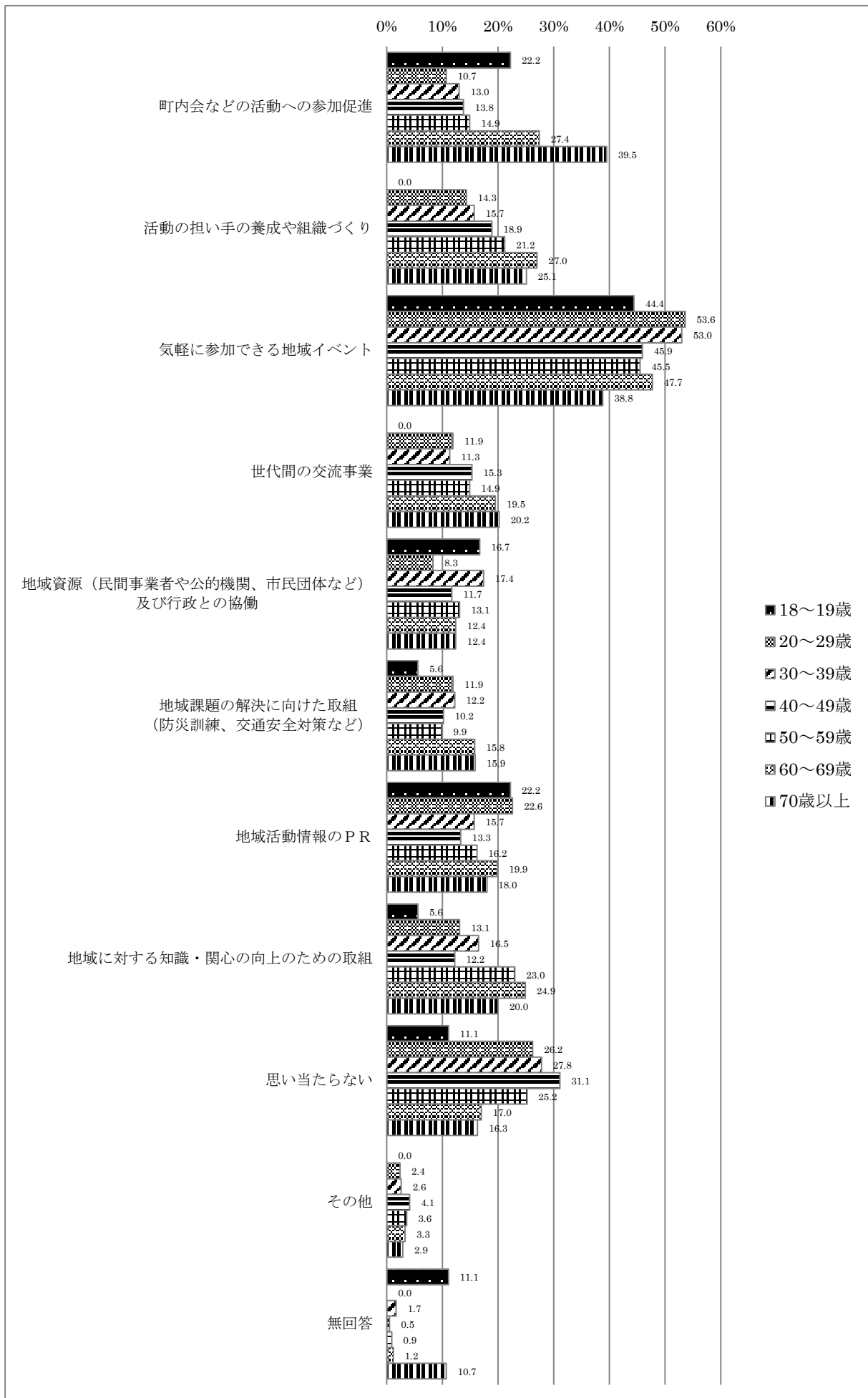
問 18 地域活動をより活性化するために有効な取組は、どのようなことだと思いますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------------|
| 1 町内会などの活動への参加促進 | 6 地域課題の解決に向けた取組（防災訓練、交通安全対策など） |
| 2 活動の担い手の養成や組織づくり | 7 地域活動情報のPR |
| 3 気軽に参加できる地域イベント | 8 地域に対する知識・関心の向上のための取組 |
| 4 世代間の交流事業 | 9 思い当たらない |
| 5 地域資源（民間事業者や公的機関、市民団体など）及び行政との協働 | 10 その他（ ） |

【全体】



【年代別】



「気軽に参加できる地域イベント」は、20代、30代の若い世代を中心にどの年代でも割合が高い。「町内会などの活動への参加促進」「活動の担い手の養成や組織づくり」「世代間の交流事業」は、年代が上がるにつれて割合が高くなる傾向がある。次世代の担い手を確保する上で、多様な世代が参加しやすい雰囲気醸成が重要であることがうかがえる。

【全体を通じて】

50代以上の地域活動を主体的に担っている世代が、「活動の担い手の養成や組織づくり」「地域に対する知識・関心の向上のための取組」が有効であるとしているのに対し、10代～30代の若い世代は「気軽に参加できる地域イベント」や「地域活動情報のPR」が有効であるとしていることから、若い世代を活動に取り込むためのイベントの企画やPRの在り方の検討が、地域活動を主体的に担う世代が重視する担い手の養成や、地域に対する知識・関心の向上に結びつく一つの方策として、マッチするものと考えられる。

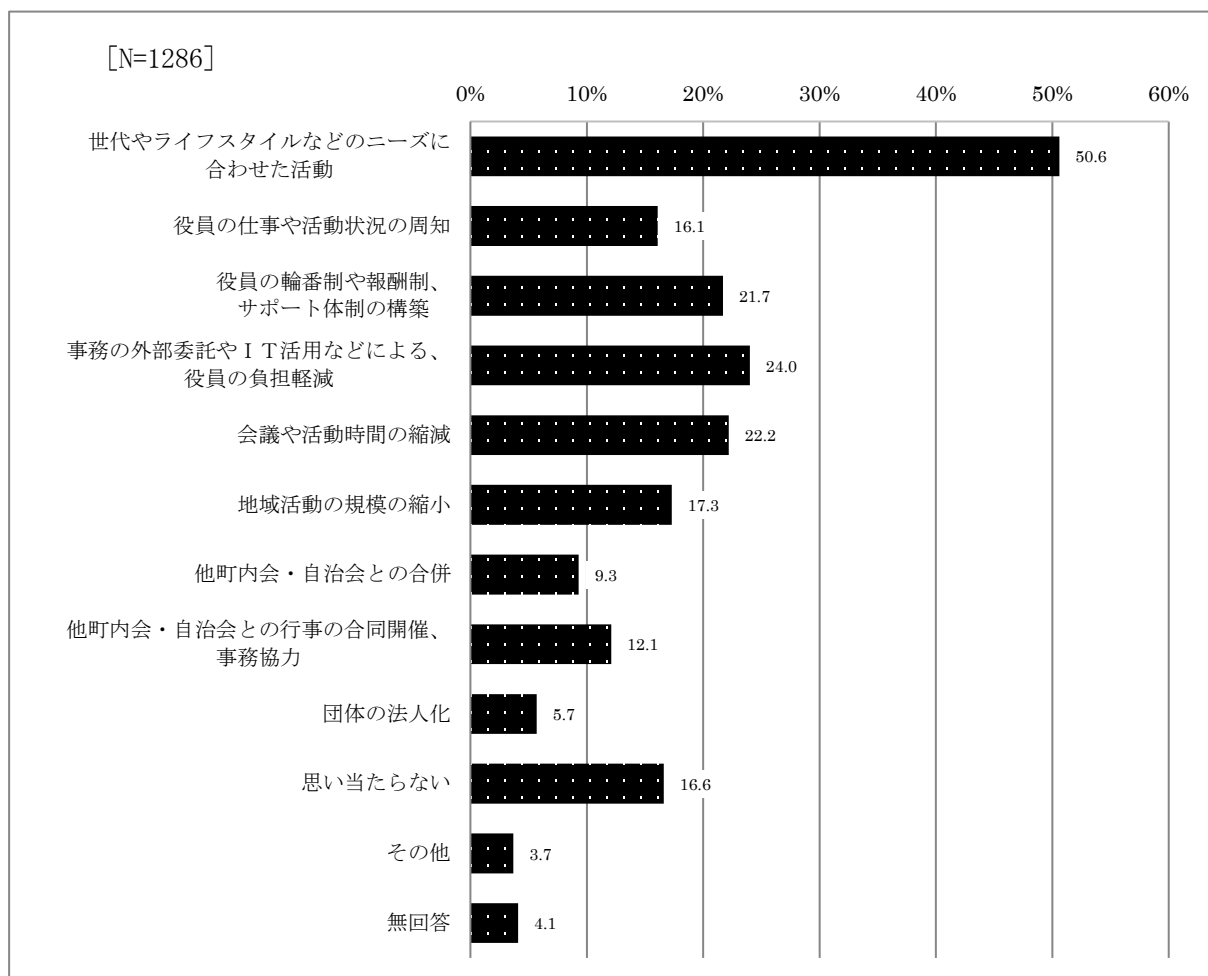
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	町内会などの活動への参加促進	活動の担い手の養成や組織づくり	気軽に参加できる地域イベント	世代間の交流事業	地域資源（民間事業者や公的機関、市民団体など）及び行政との協働	地域課題の解決に向けた取組（防災訓練、交通安全対策など）	地域活動情報のPR	地域に対する知識・関心の向上のための取組	思い当たらない	無回答	その他
全体		1286	316	282	579	216	163	170	225	248	281	41	54
地区	河北	406	96	86	167	68	60	60	77	85	96	17	13
	河南	175	41	39	76	30	22	23	34	30	36	4	6
	盛南	182	37	38	89	28	16	22	25	30	39	2	11
	厨川	281	74	57	130	46	37	30	42	55	66	9	12
	都南	205	58	49	100	33	21	29	38	44	37	5	11
	玉山	37	10	13	17	11	7	6	9	4	7	4	1
性別	男	601	152	147	270	108	85	76	112	110	127	18	22
	女	685	164	135	309	108	78	94	113	138	154	23	32
年齢	18～19歳	18	4	0	8	0	3	1	4	1	2	0	2
	20～29歳	84	9	12	45	10	7	10	19	11	22	2	0
	30～39歳	115	15	18	61	13	20	14	18	19	32	3	2
	40～49歳	196	27	37	90	30	23	20	26	24	61	8	1
	50～59歳	222	33	47	101	33	29	22	36	51	56	8	2
	60～69歳	241	66	65	115	47	30	38	48	60	41	8	3
	70歳以上	410	162	103	159	83	51	65	74	82	67	12	44

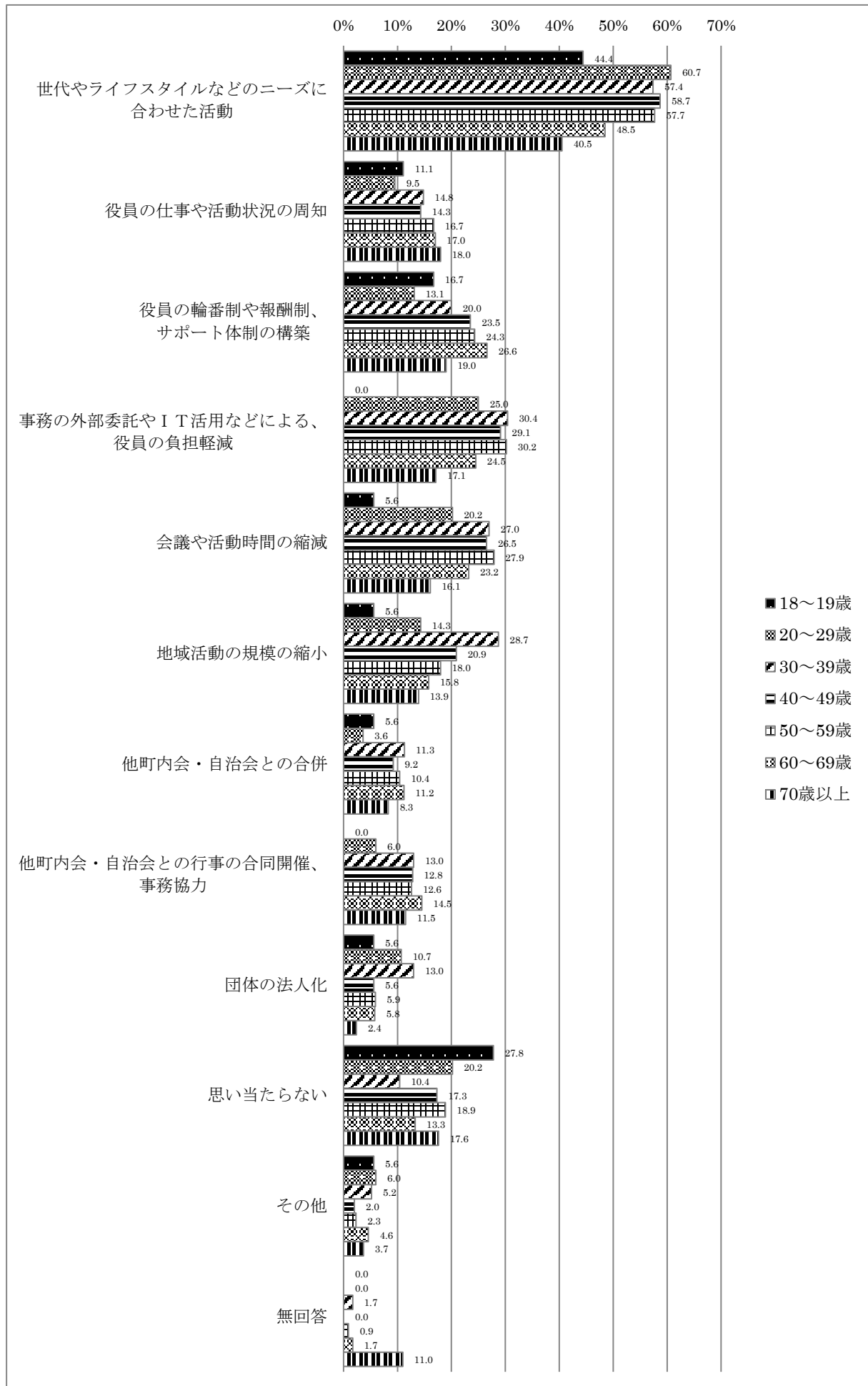
問19 町内会・自治会など、地域活動を行う団体における担い手不足や高齢化、参加者の固定化などといった地域課題について、どのような解決策があると思いますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1 世代やライフスタイルなどのニーズに合わせた活動 | 6 地域活動の規模の縮小 |
| 2 役員の仕事や活動状況の周知 | 7 他町内会・自治会との合併 |
| 3 役員の輪番制や報酬制、サポート体制の構築 | 8 他町内会・自治会との行事の合同開催、事務協力 |
| 4 事務の外部委託やIT活用などによる、役員の負担軽減 | 9 団体の法人化 |
| 5 会議や活動時間の縮減 | 10 思い当たらない |
| | 11 その他（ ） |

【全体】



【年代別】



「世代やライフスタイルなどのニーズに合わせた活動」は、全ての世代において割合が高かったが、20代～50代により顕著であった。

また、「事務の外部委託やIT活用などによる、役員の負担軽減」「会議や活動時間の縮減」は、20代～60代まで共通して割合が高く、今後の活動を担う世代においては、これまでの活動や運営における負担の在り方を見直すべきとの意見が多いものと見受けられた。

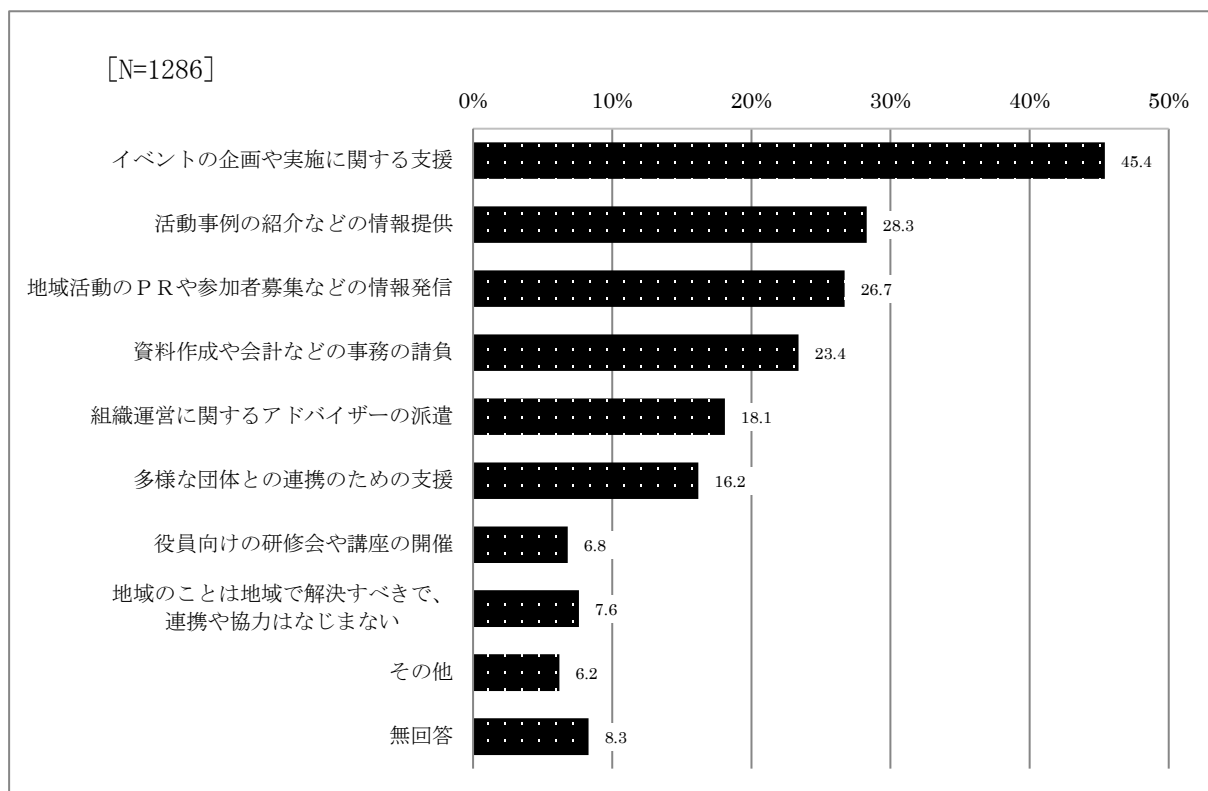
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	世代やライフスタイルなどのニーズに合わせた活動	役員の仕事や活動状況の周知	役員の輪番制や報酬制、サポート体制の構築	事務の外部委託やIT活用などによる、役員の負担軽減	会議や活動時間の縮減	地域活動の規模の縮小	他町内会・自治会との合併	他町内会・自治会との行事の合同開催、事務協力	団体の法人化	思い当たらない	その他	無回答
全体		1286	651	207	279	309	285	222	119	155	73	214	47	53
地区	河北	406	207	62	80	105	103	65	34	48	32	71	17	14
	河南	175	83	30	43	39	38	30	22	22	12	32	4	9
	盛南	182	98	27	37	41	36	30	11	17	7	28	4	9
	厨川	281	152	46	66	69	60	51	32	37	13	42	11	8
	都南	205	93	32	43	49	39	40	18	26	7	36	8	10
	玉山	37	18	10	10	6	9	6	2	5	2	5	3	3
性別	男	601	292	98	140	141	140	105	68	75	41	106	21	21
	女	685	359	109	139	168	145	117	51	80	32	108	26	32
年齢	18～19歳	18	8	2	3	0	1	1	1	0	1	5	1	0
	20～29歳	84	51	8	11	21	17	12	3	5	9	17	5	0
	30～39歳	115	66	17	23	35	31	33	13	15	15	12	6	2
	40～49歳	196	115	28	46	57	52	41	18	25	11	34	4	0
	50～59歳	222	128	37	54	67	62	40	23	28	13	42	5	2
	60～69歳	241	117	41	64	59	56	38	27	35	14	32	11	4
	70歳以上	410	166	74	78	70	66	57	34	47	10	72	15	45

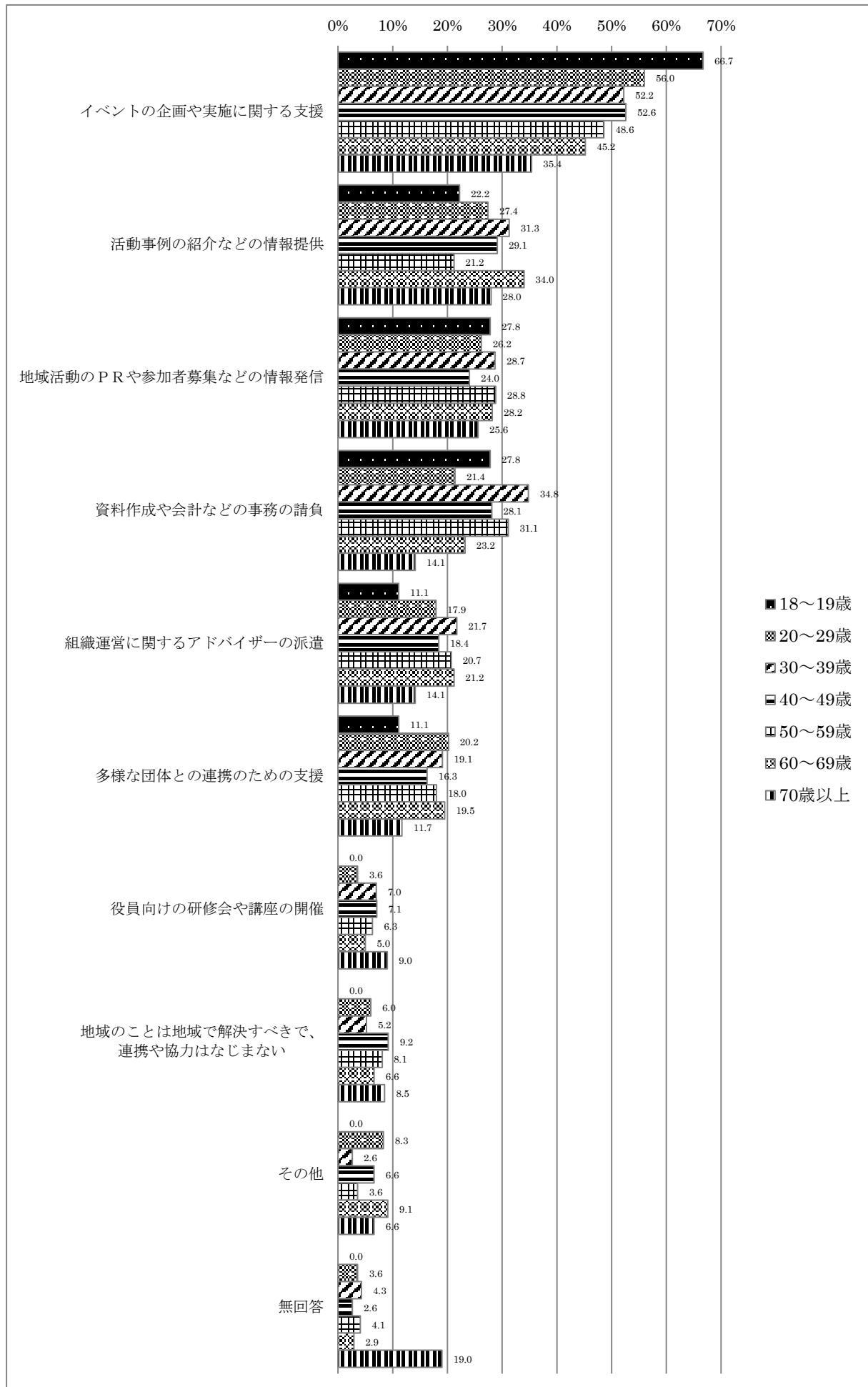
問20 問19の地域課題の解決に向けて、住民以外の団体（公的機関やNPO、企業など）からどのような支援や協力があればいいと思いますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | | |
|------------------------|-------------------------------|
| 1 イベントの企画や実施に関する支援 | 6 多様な団体との連携のための支援 |
| 2 活動事例の紹介などの情報提供 | 7 役員向けの研修会や講座の開催 |
| 3 地域活動のPRや参加者募集などの情報発信 | 8 地域のことは地域で解決すべきで、連携や協力はなじまない |
| 4 資料作成や会計などの事務の請負 | 9 その他（ ） |
| 5 組織運営に関するアドバイザーの派遣 | |

【全体】



【年代別】



「イベントの企画や実施に関する支援」は、全ての世代で割合が高い中で、若い世代になるほど割合が高い傾向が見られる。一方、70歳以上においては、「資料作成や会計などの事務の請負」「組織運営に関するアドバイザーの派遣」「多様な団体との連携のための支援」など、運営に関して地域外の協力を得ることには消極的であることが見て取れる。

【全体を通じて】

「イベントの企画や実施に関する支援」「活動事例の紹介などの情報提供」「地域活動のPRや参加者募集などの情報発信」の割合が上位三つであることから、外部団体の支援を得る上では、運営面よりもアイデア面や情報面の支援が比較的求められており、これらの分野の支援の強化を検討していくことが、スタートとしては効果を発揮しやすいものと考えられる。

【性別、年代別、地区別の回答数】

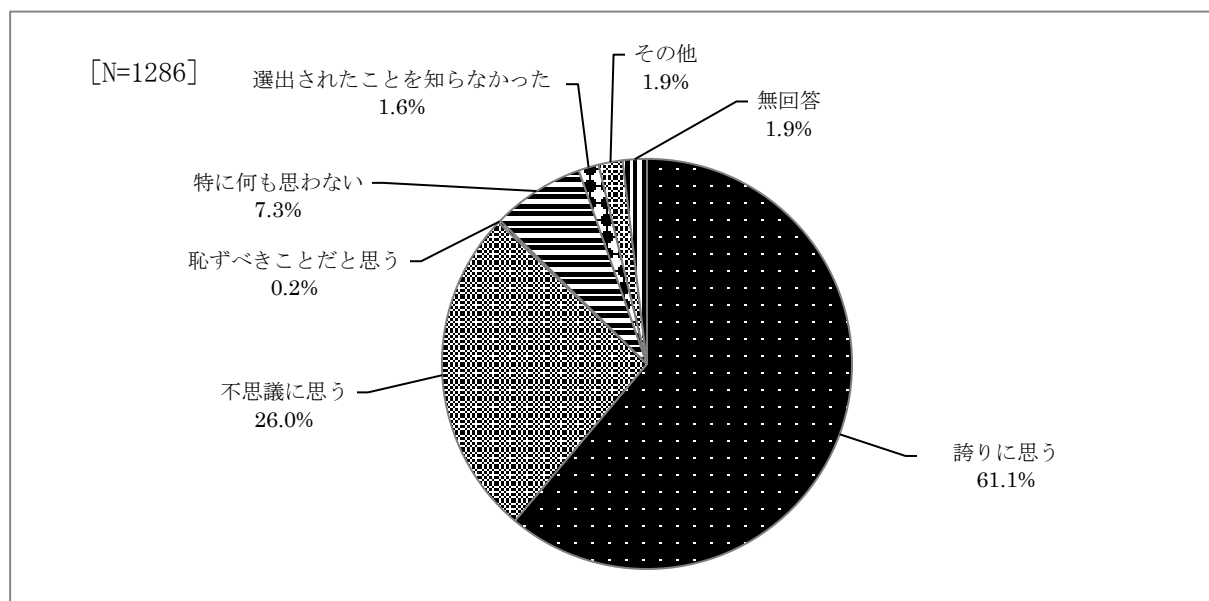
		実数 (人)	イベントの企画や実施に関する支援	活動事例の紹介などの情報提供	地域活動のPRや参加者募集などの情報発信	資料作成や会計などの事務の請負	組織運営に関するアドバイザーの派遣	多様な団体との連携のための支援	役員向けの研修会や講座の開催	地域のことは地域で解決すべきで、連携や協力はなじまない	その他	無回答
全体		1286	584	364	344	301	233	208	88	98	80	107
地区	河北	406	186	128	116	100	80	68	23	33	19	32
	河南	175	69	40	41	37	27	27	11	22	7	19
	盛南	182	84	45	45	47	29	27	15	10	11	15
	厨川	281	138	83	79	70	49	41	17	13	24	21
	都南	205	94	57	52	40	40	36	18	20	13	16
	玉山	37	13	11	11	7	8	9	4	0	6	4
性別	男	601	277	180	157	152	113	95	42	55	35	43
	女	685	307	184	187	149	120	113	46	43	45	64
年齢	18～19歳	18	12	4	5	5	2	2	0	0	0	0
	20～29歳	84	47	23	22	18	15	17	3	5	7	3
	30～39歳	115	60	36	33	40	25	22	8	6	3	5
	40～49歳	196	103	57	47	55	36	32	14	18	13	5
	50～59歳	222	108	47	64	69	46	40	14	18	8	9
	60～69歳	241	109	82	68	56	51	47	12	16	22	7
	70歳以上	410	145	115	105	58	58	48	37	35	27	78

《テーマ4 シティプロモーションについて》

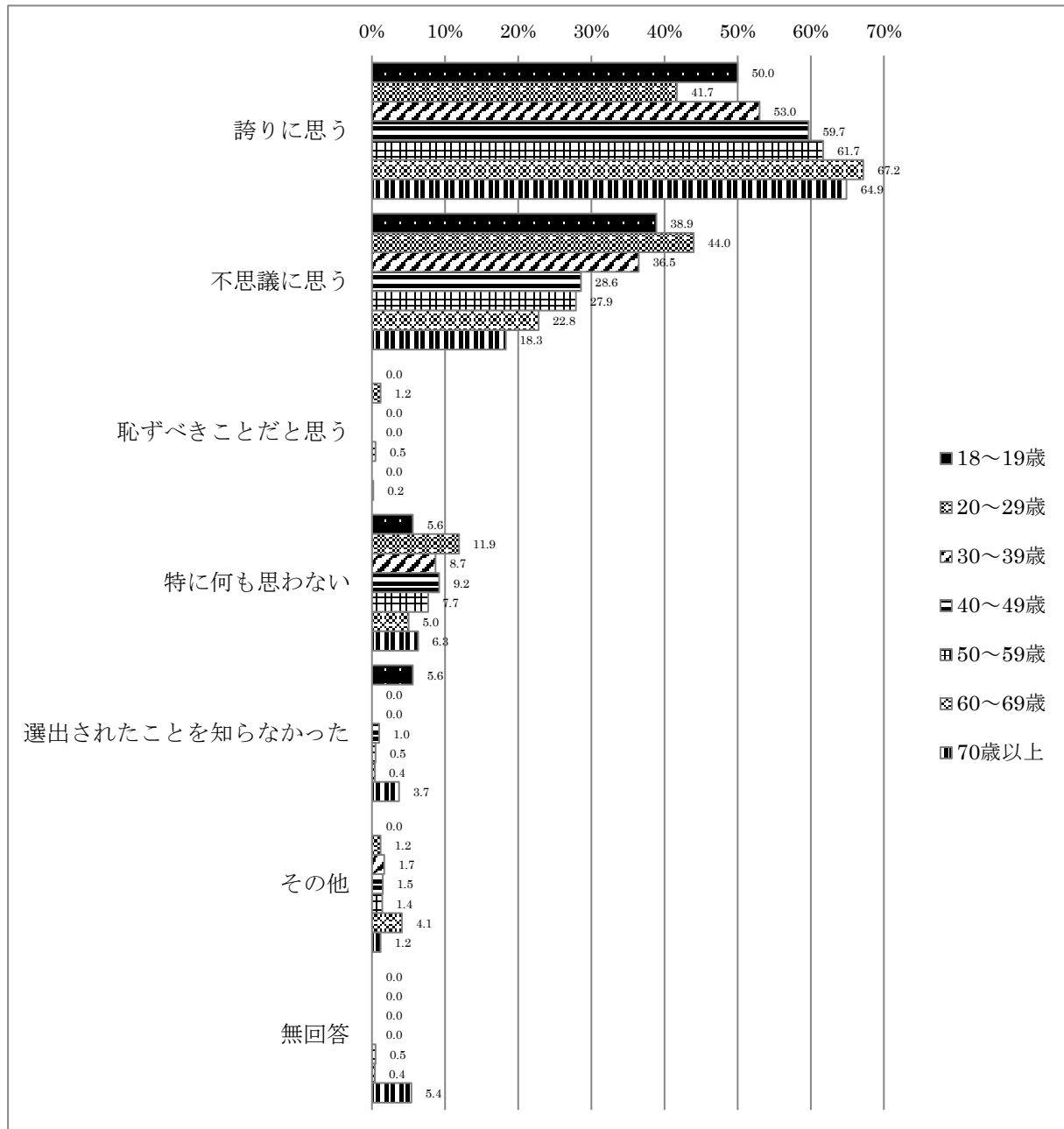
問 21 あなたは、ニューヨーク・タイムズ紙「2023 年に行くべき 52 カ所」に盛岡市が選出されたことをどう思いますか。当てはまるもの 1 つ に○を付けてください。

- | | |
|--------------|------------------|
| 1 誇りに思う | 4 特に何も思わない |
| 2 不思議に思う | 5 選出されたことを知らなかった |
| 3 恥ずべきことだと思う | 6 その他（ ） |

【全体】



【年代別】



「誇りに思う」割合は、年代が下がるにつれて低くなる傾向が見られ、20代では5割を切っていたが、10代が「誇りに思う」割合は20代よりも高いことが分かった。

【全体を通じて】

選出されたことを「誇りに思う」が6割以上であった一方、「不思議に思う」が26.0%、「特に何も思わない」が7.3%だった。

なお、「選出されたことを知らなかった」は1.6%に留まり、広く認知されていることがうかがえる。

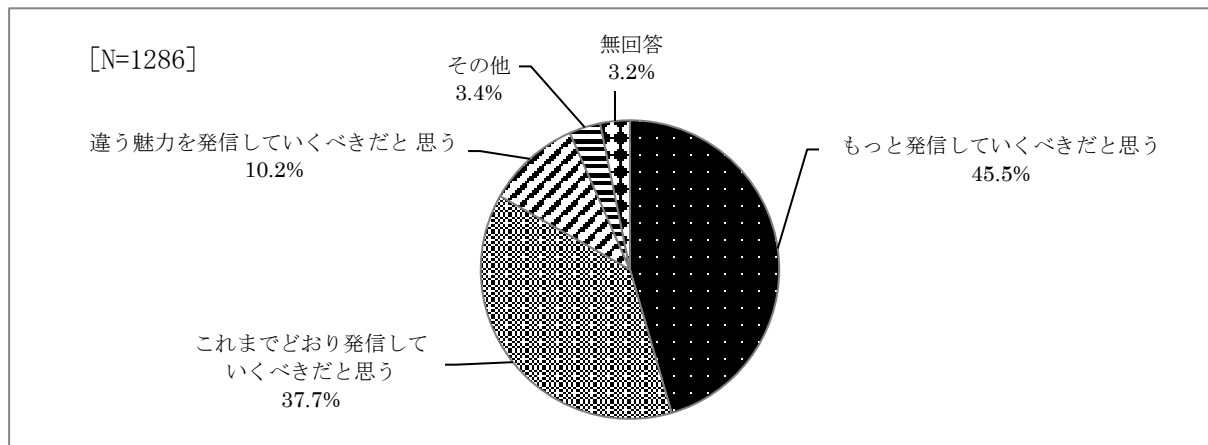
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	誇りに思う	不思議に思う	恥ずべきことだと思う	特に何も思わない	選出されたことを知らなかった	その他	無回答
全体		1286	787	334	3	94	20	24	24
地区	河北	406	242	114	2	32	4	9	3
	河南	175	108	40	0	15	7	2	3
	盛南	182	117	48	0	7	2	2	6
	厨川	281	171	76	0	16	3	6	9
	都南	205	128	48	1	19	3	5	1
	玉山	37	21	8	0	5	1	0	2
性別	男	601	359	160	2	57	11	6	6
	女	685	428	174	1	37	9	18	18
年齢	18～19歳	18	9	7	0	1	1	0	0
	20～29歳	84	35	37	1	10	0	1	0
	30～39歳	115	61	42	0	10	0	2	0
	40～49歳	196	117	56	0	18	2	3	0
	50～59歳	222	137	62	1	17	1	3	1
	60～69歳	241	162	55	0	12	1	10	1
	70歳以上	410	266	75	1	26	15	5	22

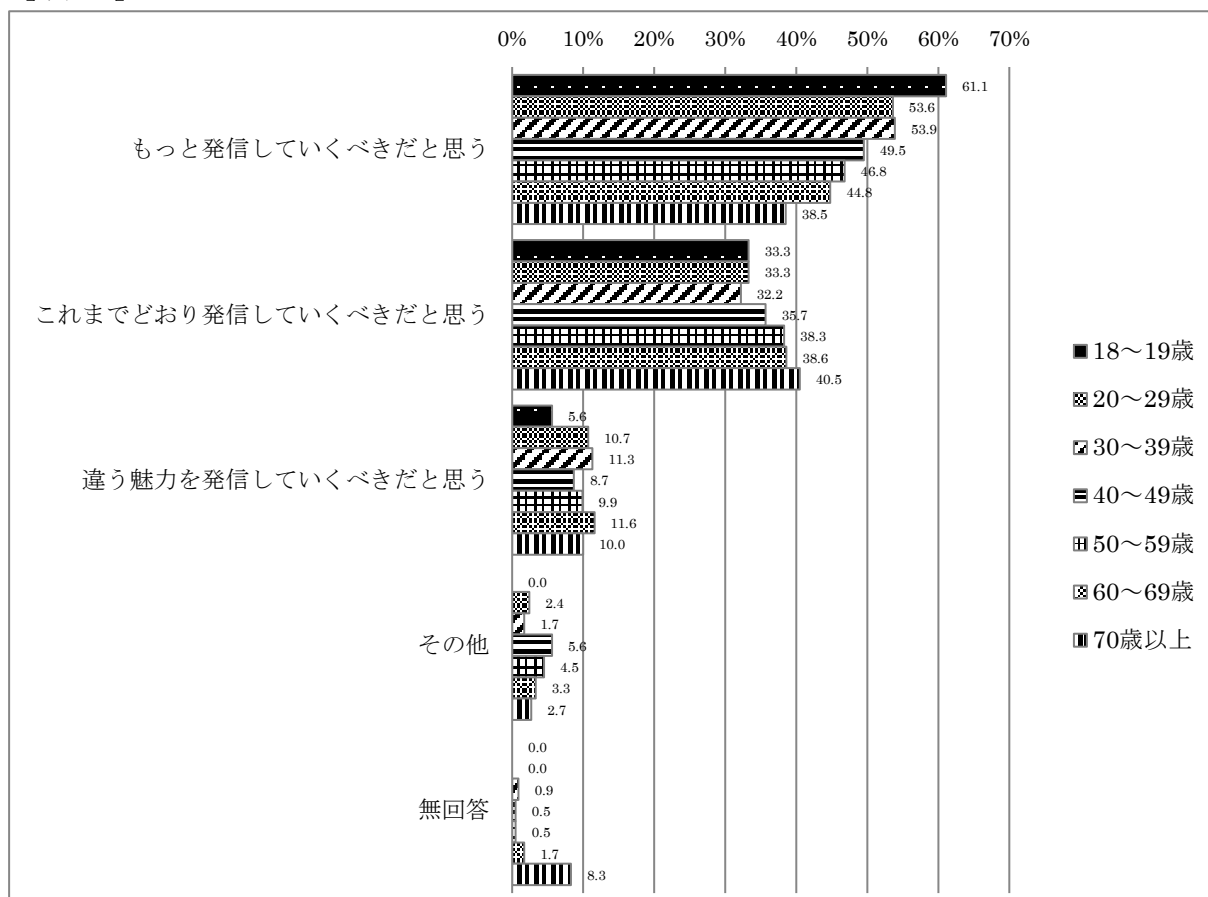
問 22 ニューヨーク・タイムズ紙では、「まちに根付く文化」や「日常の中に溶け込む魅力」が評価されましたが、今後、市のプロモーションとして、この「まちの文化や日常の魅力」をどう発信すべきと考えますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1 もっと発信していくべきだと思う | 3 違う魅力を発信していくべきだと思う |
| 2 これまでどおり発信していくべきだと思う | 4 その他（ ） |

【全体】



【年代別】



【全体を通じて】

「もっと発信していくべきだと思う」と「これまでどおり発信していくべきだと思う」を合わせると8割以上であった。発信の方向性としてはおおむね理解を得られているので、「まちの文化や日常の魅力」のPRを継続すべきと考える。

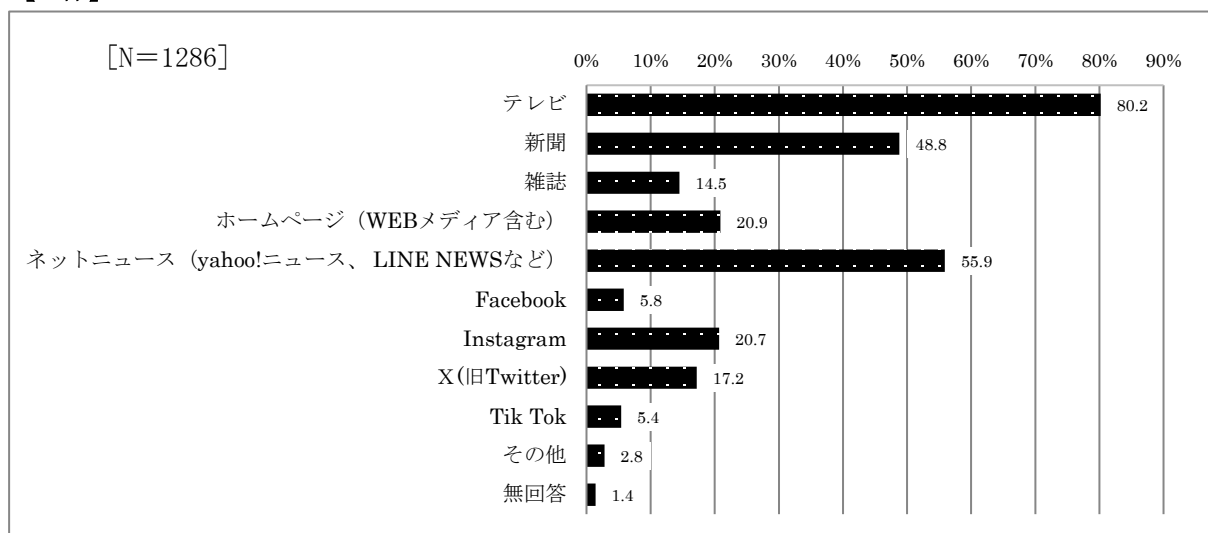
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	もっと発信していくべきだと思う	これまでもっと発信していくべきだと思う	違う魅力を発信していくべきだと思う	その他	無回答
全体		1286	585	485	131	44	41
地区	河北	406	185	153	43	19	6
	河南	175	79	63	23	3	7
	盛南	182	83	64	19	8	8
	尉川	281	135	114	16	5	11
	都南	205	87	77	28	7	6
	玉山	37	16	14	2	2	3
性別	男	601	271	224	70	20	16
	女	685	314	261	61	24	25
年齢	18～19歳	18	11	6	1	0	0
	20～29歳	84	45	28	9	2	0
	30～39歳	115	62	37	13	2	1
	40～49歳	196	97	70	17	11	1
	50～59歳	222	104	85	22	10	1
	60～69歳	241	108	93	28	8	4
	70歳以上	410	158	166	41	11	34

問 23 あなたは、ニュースやトレンドの情報を主にどの媒体で入手していますか。当てはまるもの
全てに○を付けてください。

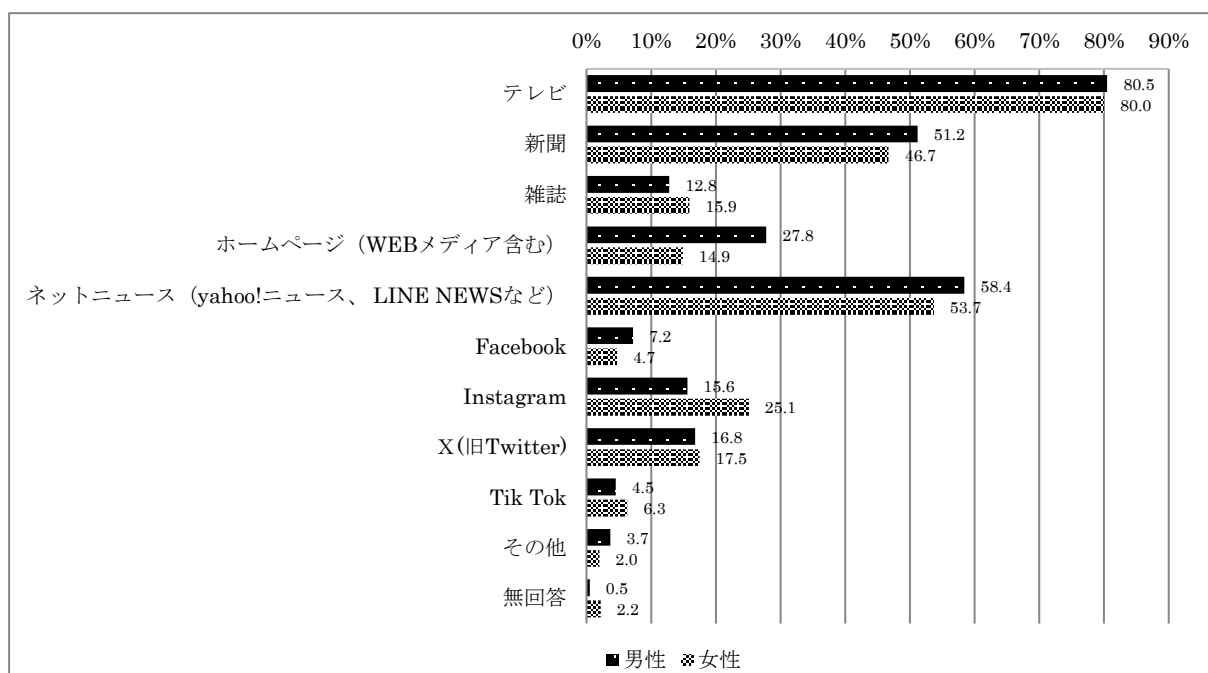
- | | |
|-------------------------------------|---------------|
| 1 テレビ | 6 Facebook |
| 2 新聞 | 7 Instagram |
| 3 雑誌 | 8 X(旧Twitter) |
| 4 ホームページ (WEBメディア含む) | 9 Tik Tok |
| 5 ネットニュース (yahoo!ニュース、LINE NEWS など) | 10 その他 () |

【全体】



「テレビ」「ネットニュース (yahoo!ニュース、LINE NEWSなど)」「新聞」の順に割合が高く、「ネットニュース (yahoo!ニュース、LINE NEWSなど)」が「新聞」を上回る結果となった。SNSの中では、「Instagram」が20.7%だった一方、「Tik Tok」は5.4%であった。

【性別】



「ホームページ (WEBメディア含む)」は、男性の方が女性よりも割合が高い一方、「Instagram」は女性の方が男性の割合よりも高かった。男性向けにはホームページの作り込みを、女性向けにはInstagramでの発信を意識すると効果的と言える。

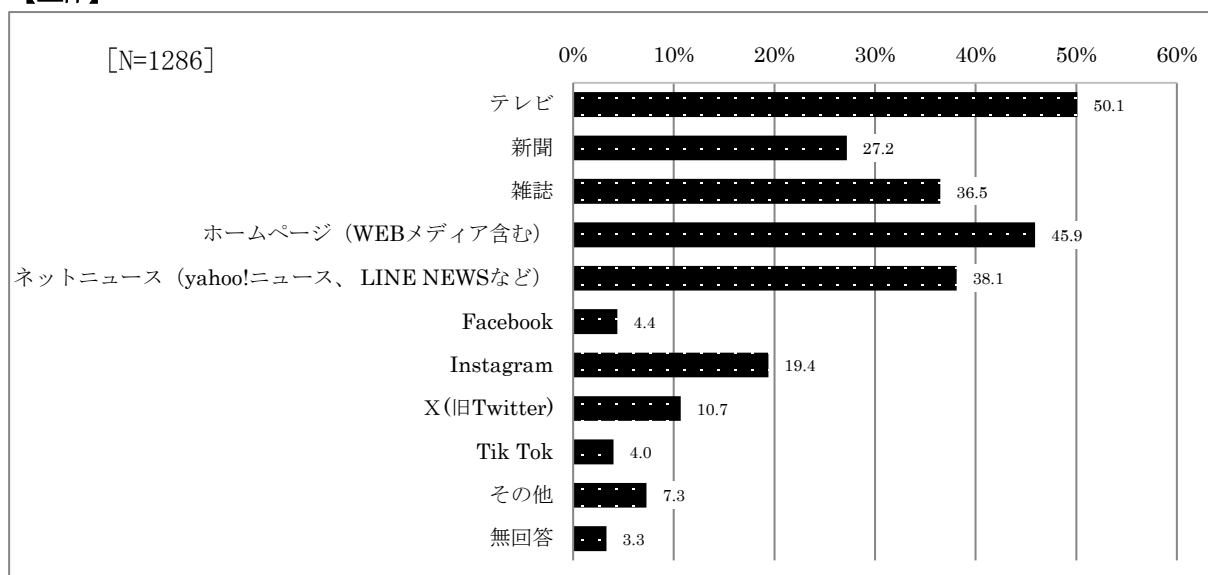
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	テレビ	新聞	雑誌	ホームページ (WEBメディア含む)	ネットニュース (yahoo! ニュース、LINE NEWSなど)	Facebook	Instagram	X(旧Twitter)	Tik Tok	その他	無回答
全体		1286	1032	628	186	269	719	75	266	221	70	36	18
地区	河北	406	322	213	59	90	230	20	86	77	20	12	4
	河南	175	138	85	17	38	100	12	48	32	9	5	3
	盛南	182	144	81	24	43	108	8	40	32	11	6	3
	尉川	281	229	129	47	58	161	19	58	42	19	6	5
	都南	205	178	105	35	35	104	15	29	33	9	5	1
	玉山	37	21	15	4	5	16	1	5	5	2	2	2
性別	男	601	484	308	77	167	351	43	94	101	27	22	3
	女	685	548	320	109	102	368	32	172	120	43	14	15
年齢	18～19歳	18	13	1	0	2	7	0	14	11	6	0	0
	20～29歳	84	53	9	7	15	58	4	46	54	15	1	0
	30～39歳	115	74	17	11	32	84	10	58	42	16	2	0
	40～49歳	196	131	53	20	60	154	21	71	53	12	5	0
	50～59歳	222	176	98	24	63	165	23	50	35	11	4	1
	60～69歳	241	206	137	44	56	149	8	19	14	5	14	1
	70歳以上	410	379	313	80	41	102	9	8	12	5	10	16

問 24 あなたは、普段、旅行先についての情報を主にどの媒体で入手していますか。当てはまるものの全てに○を付けてください。

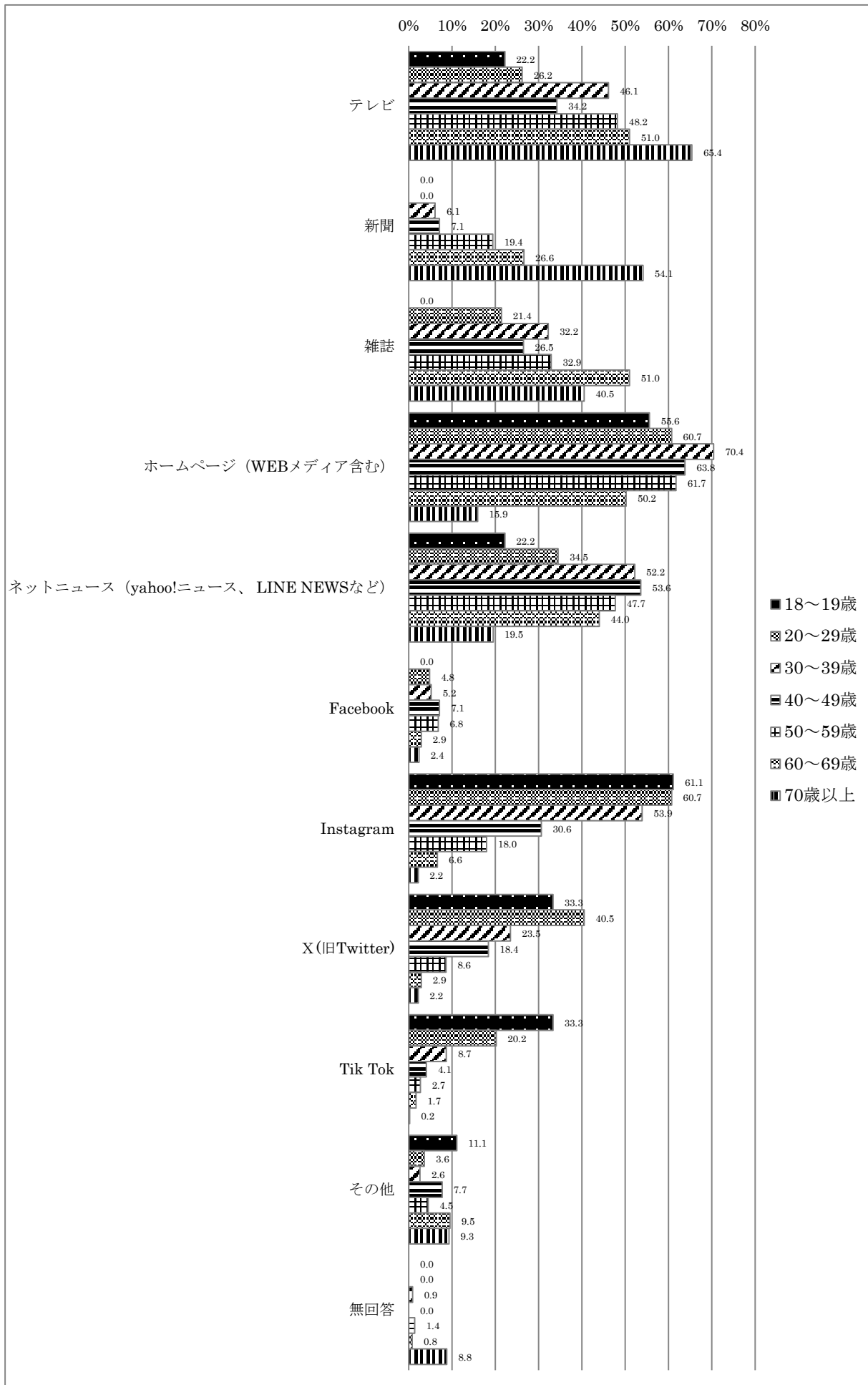
1 テレビ	6 Facebook
2 新聞	7 Instagram
3 雑誌	8 X(旧Twitter)
4 ホームページ (WEB メディア含む)	9 Tik Tok
5 ネットニュース (yahoo!ニュース、LINE NEWS など)	10 その他 ()

【全体】



問23「ニュース等の情報を得るために利用している媒体」と比較し、「テレビ」「新聞」「ネットニュース (yahoo!ニュース、LINE NEWSなど)」の割合が低い一方、「雑誌」「ホームページ (WEBメディア含む)」の割合が高くなっている。SNSでは「X (旧Twitter)」の割合が減少した一方、「Instagram」は同程度となったことから、「Instagram」は必要とする情報の種別によらず一定のニーズがあることが分かった。

【年代別】



【全体を通じて】

旅行先の情報は、日常の情報収集よりも綿密に調べる必要があると思われることから、より詳しい情報が収集できるホームページが重要視されていると考えられる。

SNSの中では、多くの年代で割合の高いInstagramに注力することが肝要と言える。

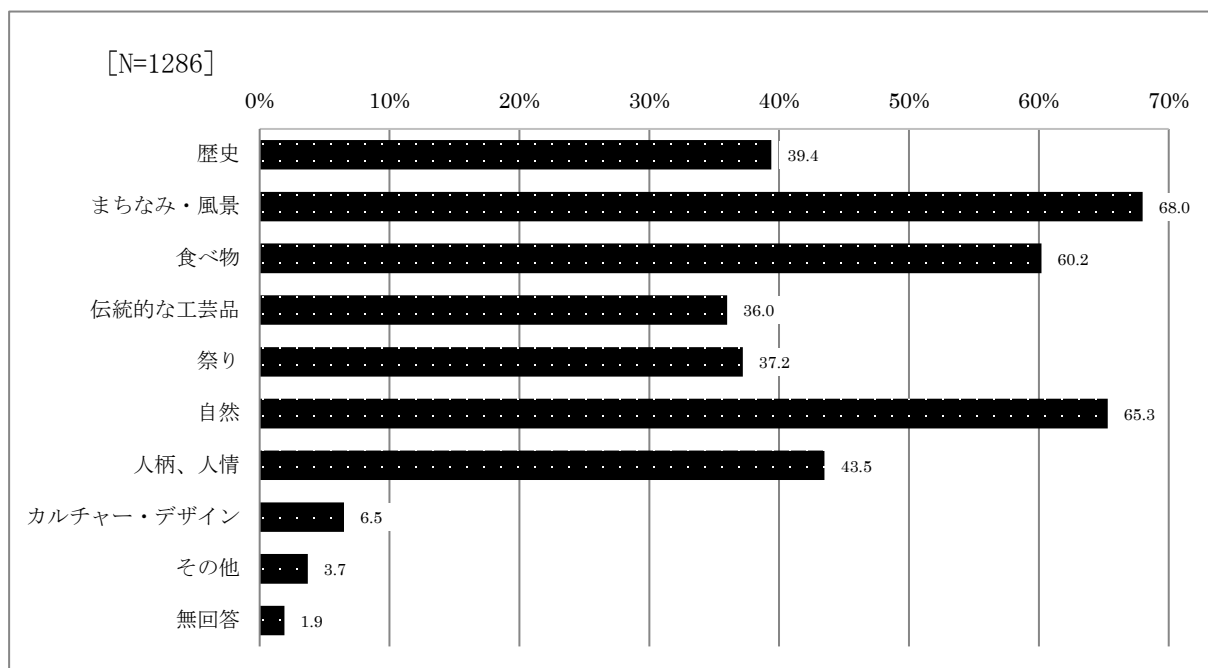
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	テレビ	新聞	雑誌	ホームページ (WEBメディア含む)	ネットニュース (yahoo!ニュース、LINE NEWSなど)	Facebook	Instagram	X(旧Twitter)	Tik Tok	その他	無回答
全体		1286	644	350	469	590	490	56	249	138	52	94	42
地区	河北	406	192	116	151	192	153	15	76	43	11	38	11
	河南	175	82	44	54	91	62	10	44	19	8	8	6
	盛南	182	87	44	60	89	79	3	38	21	9	14	6
	厨川	281	136	67	108	123	114	14	59	30	14	19	11
	都南	205	130	68	83	81	71	13	27	21	8	11	6
	玉山	37	17	11	13	14	11	1	5	4	2	4	2
性別	男	601	300	175	207	300	262	34	90	73	19	47	11
	女	685	344	175	262	290	228	22	159	65	33	47	31
年齢	18～19歳	18	4	0	0	10	4	0	11	6	6	2	0
	20～29歳	84	22	0	18	51	29	4	51	34	17	3	0
	30～39歳	115	53	7	37	81	60	6	62	27	10	3	1
	40～49歳	196	67	14	52	125	105	14	60	36	8	15	0
	50～59歳	222	107	43	73	137	106	15	40	19	6	10	3
	60～69歳	241	123	64	123	121	106	7	16	7	4	23	2
	70歳以上	410	268	222	166	65	80	10	9	9	1	38	36

問 25 あなたが思う盛岡市の魅力は何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

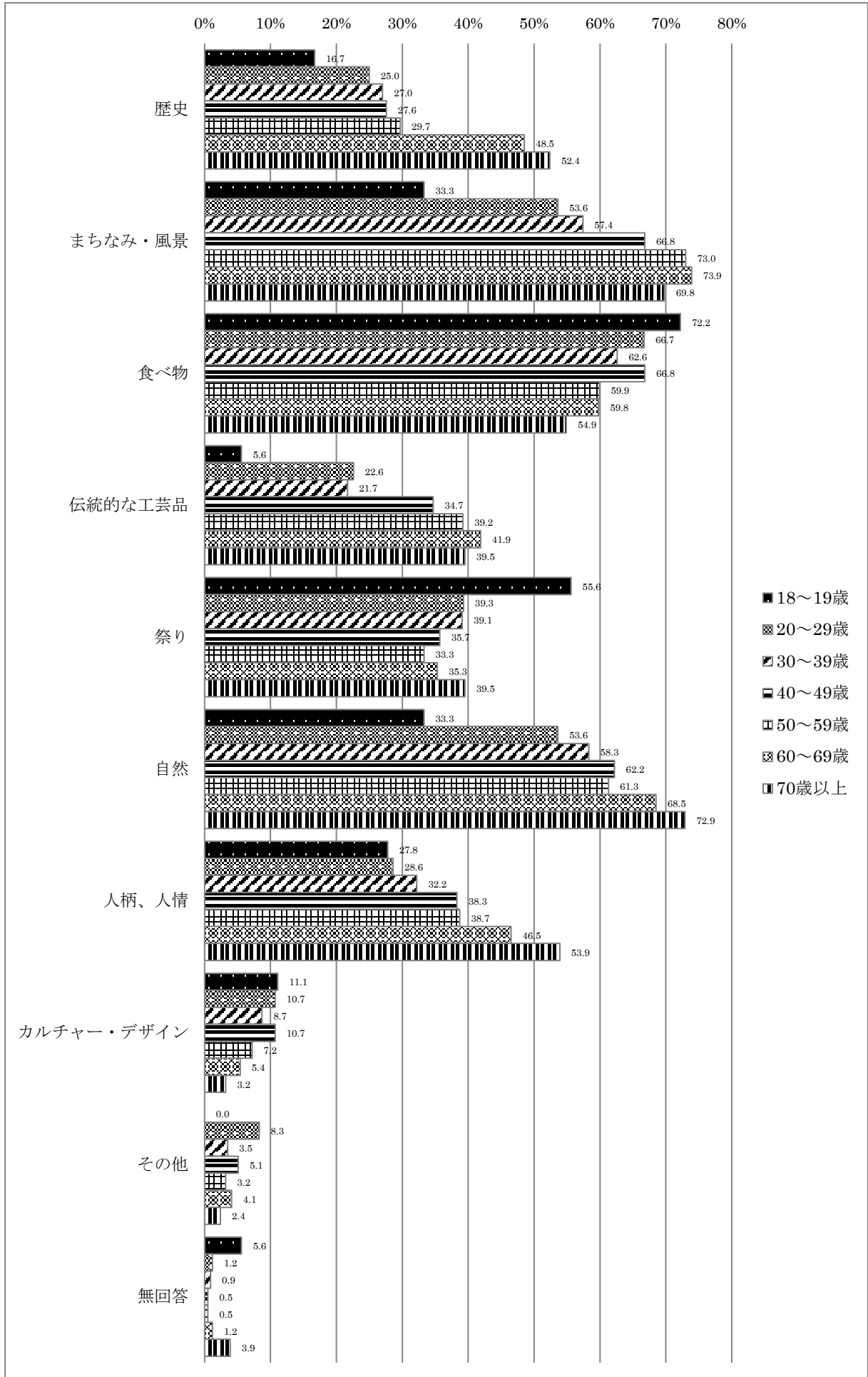
- | | |
|-----------|-------------------------------|
| 1 歴史 | 6 自然 |
| 2 まちなみ・風景 | 7 人柄、人情 |
| 3 食べ物 | 8 カルチャー・デザイン |
| 4 伝統的な工芸品 | 9 その他（ ） |
| 5 祭り | |

【全体】



「まちなみ・風景」「自然」「食べ物」の順に割合が高く、6割を上回っている。「その他」を除くと、最も割合が低かったのは「カルチャー・デザイン」だった。

【年代別】



年代が高いほど魅力と捉える傾向がある「まちなみ・風景」「自然」については、世代間でギャップが存在することが分かった。

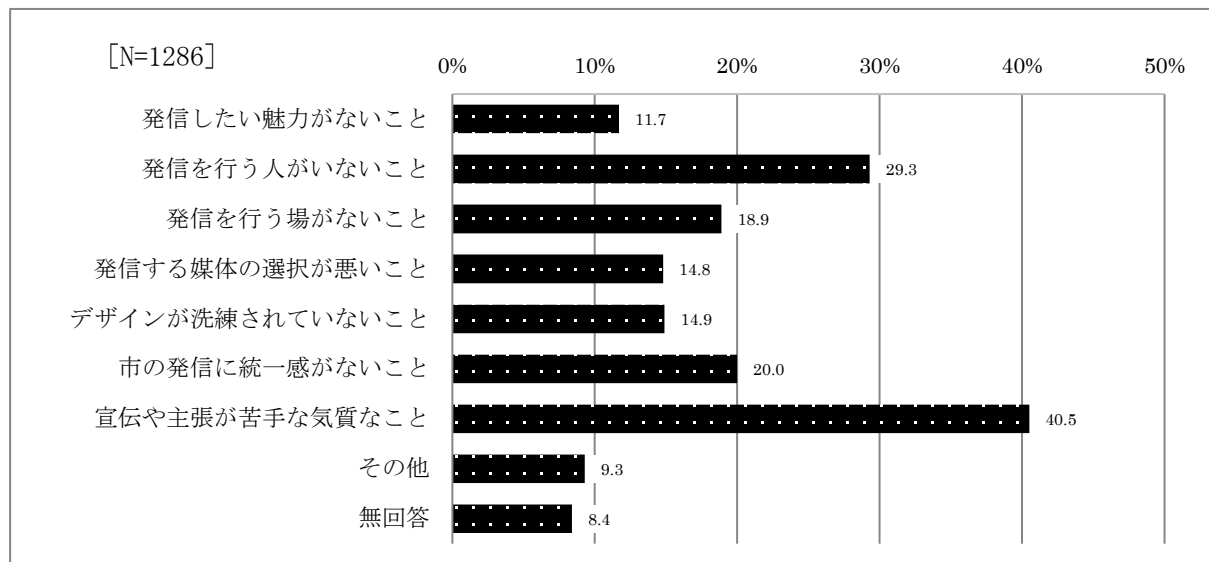
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	歴史	まちなみ・風景	食べ物	伝統的な工芸品	祭り	自然	人柄、人情	カルチャー・デザイン	その他	無回答
全体		1286	507	874	774	463	479	840	560	84	48	24
地区	河北	406	164	282	253	146	143	268	170	25	16	6
	河南	175	65	130	106	60	71	115	84	11	4	5
	盛南	182	74	118	102	69	80	115	77	13	11	2
	厨川	281	108	181	172	99	105	171	131	21	9	6
	都南	205	83	136	119	76	69	146	84	11	8	2
	玉山	37	13	27	22	13	11	25	14	3	0	3
性別	男	601	241	409	361	185	221	369	261	43	21	10
	女	685	266	465	413	278	258	471	299	41	27	14
年齢	18～19歳	18	3	6	13	1	10	6	5	2	0	1
	20～29歳	84	21	45	56	19	33	45	24	9	7	1
	30～39歳	115	31	66	72	25	45	67	37	10	4	1
	40～49歳	196	54	131	131	68	70	122	75	21	10	1
	50～59歳	222	66	162	133	87	74	136	86	16	7	1
	60～69歳	241	117	178	144	101	85	165	112	13	10	3
	70歳以上	410	215	286	225	162	162	299	221	13	10	16

問 26 盛岡の魅力の発信について、どのようなことが課題だと思いますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

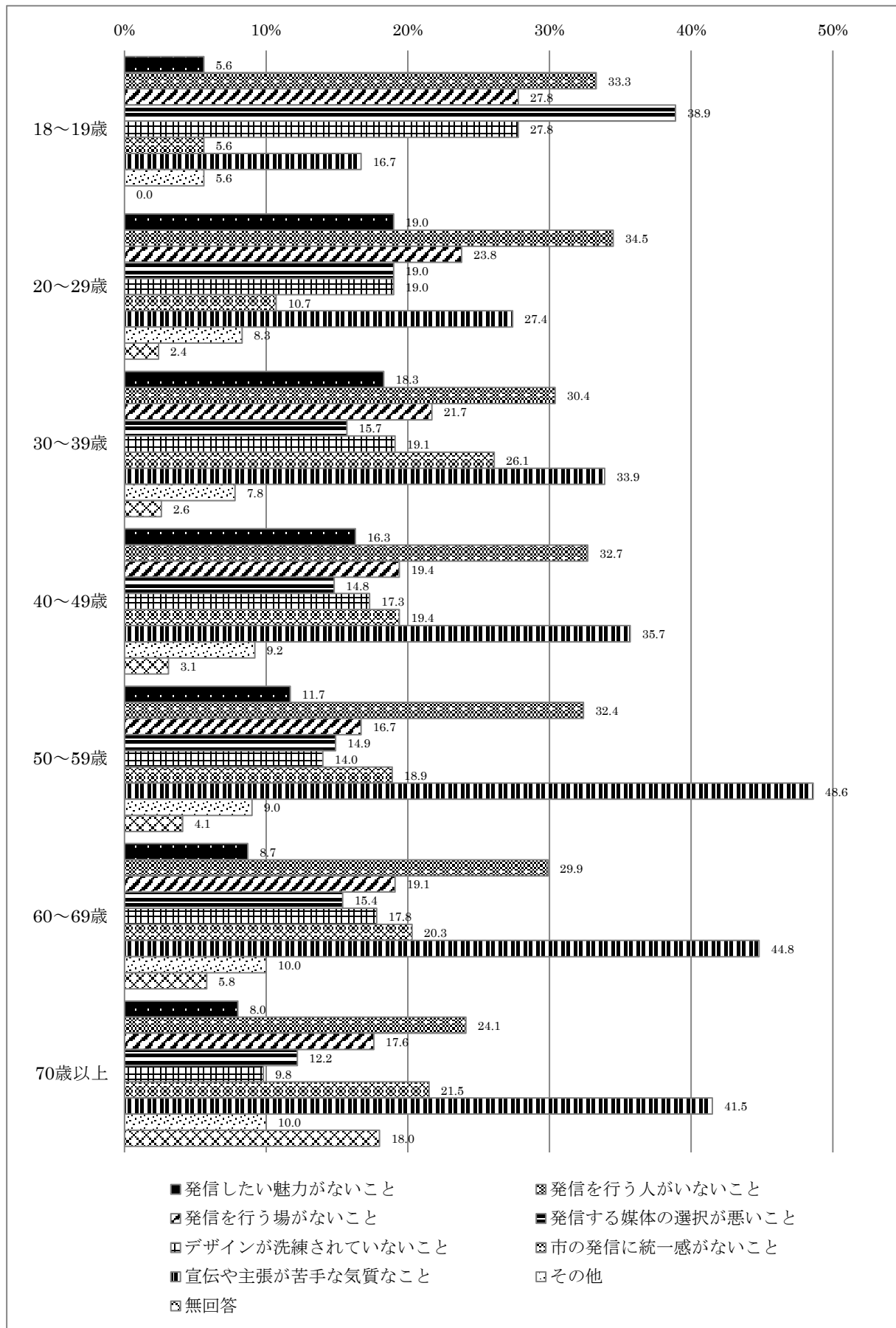
- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 発信したい魅力がないこと | 5 デザインが洗練されていないこと |
| 2 発信を行う人がいないこと | 6 市の発信に統一感がないこと |
| 3 発信を行う場がないこと | 7 宣伝や主張が苦手な気質なこと |
| 4 発信する媒体の選択が悪いこと | 8 その他 () |

【全体】



「宣伝や主張が苦手な気質なこと」の割合が最も高く、「発信を行う人がいないこと」「市の発信に統一感がないこと」が続いた。「発信したい魅力がないこと」は11.7%で、「その他」を除けば割合としては最も低かった。

【年代別】



30代以降は「宣伝や主張が苦手な気質なこと」の割合が最も高かった一方、10代は「発信する媒体の選択が悪いこと」、20代は「発信を行う人がいないこと」の割合が最も高かったことから、世代間で隔たりがあることが分かった。

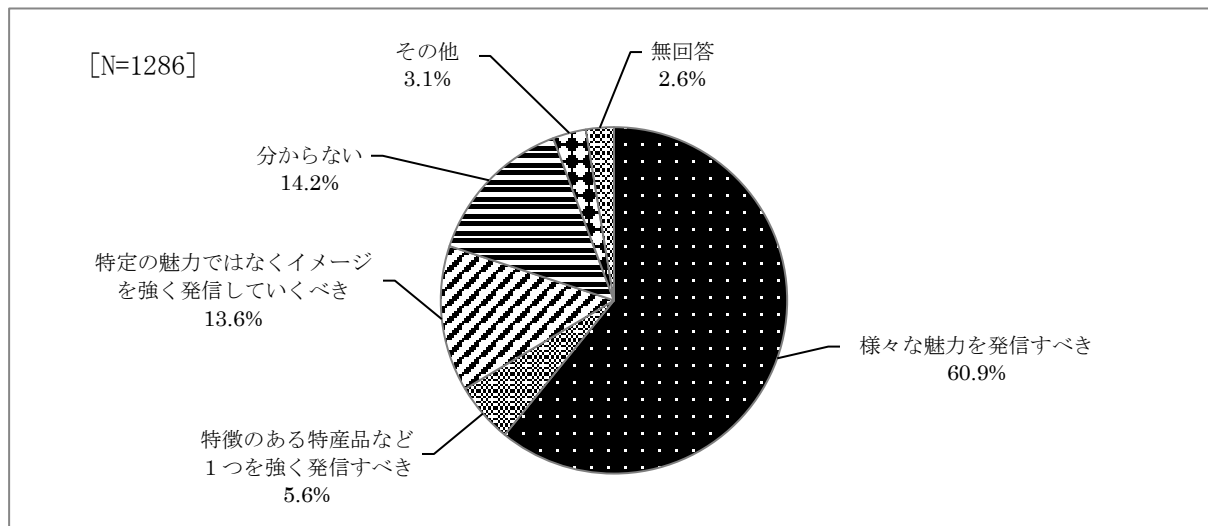
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	発信したい魅力がないこと	発信を行う人がいないこと	発信を行う場がないこと	発信する媒体の選択が悪いこと	デザインが洗練されていないこと	市の発信に統一感がないこと	宣伝や主張が苦手な気質なこと	その他	無回答
全体		1286	150	377	243	190	191	257	521	120	108
地区	河北	406	48	116	80	69	66	87	174	46	22
	河南	175	15	50	25	25	28	37	64	13	19
	盛南	182	24	54	34	29	26	35	76	11	16
	厨川	281	32	73	54	42	38	49	112	32	23
	都南	205	26	73	43	22	29	42	81	13	24
	玉山	37	5	11	7	3	4	7	14	5	4
性別	男	601	73	182	100	98	102	137	251	60	39
	女	685	77	195	143	92	89	120	270	60	69
年齢	18～19歳	18	1	6	5	7	5	1	3	1	0
	20～29歳	84	16	29	20	16	16	9	23	7	2
	30～39歳	115	21	35	25	18	22	30	39	9	3
	40～49歳	196	32	64	38	29	34	38	70	18	6
	50～59歳	222	26	72	37	33	31	42	108	20	9
	60～69歳	241	21	72	46	37	43	49	108	24	14
	70歳以上	410	33	99	72	50	40	88	170	41	74

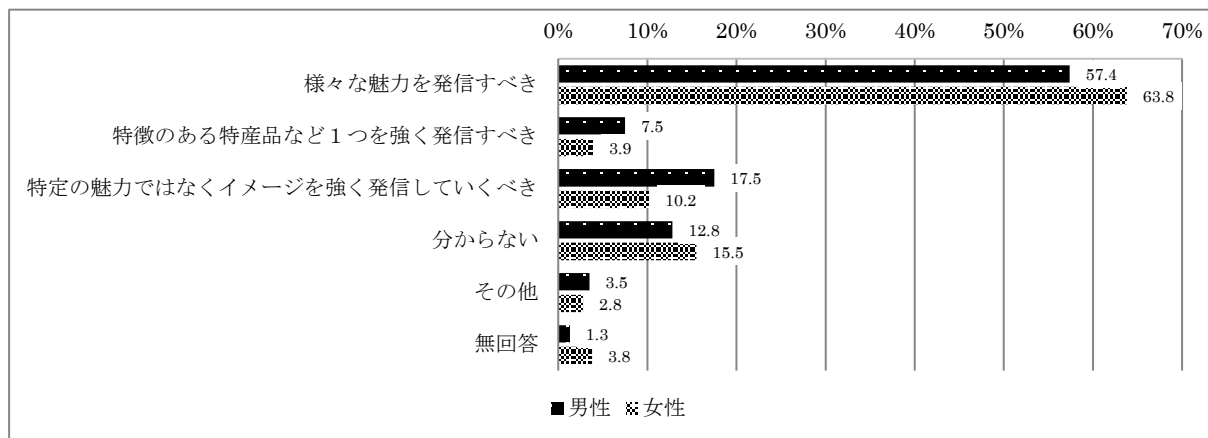
問 27 あなたは、盛岡市のシティプロモーションとして、どのように魅力を発信していくべきだと考えますか。当てはまるもの 1つに○を付けてください。

- 1 様々な魅力を発信すべき
- 2 特徴のある特産品など1つを強く発信すべき
- 3 特定の魅力ではなくイメージを強く発信していくべき
- 4 分からない
- 5 その他 ()

【全体】



【性別】



男女とも「様々な魅力を発信すべき」の割合が最も高いが、男性は「特定の魅力ではなくイメージを強く発信していくべき」と考える割合が女性よりも高く、イメージ戦略重視の傾向が見られる。

【全体を通じて】

「様々な魅力を発信すべき」が6割以上であった一方、「特徴のある特産品など1つを強く発信すべき」は5.6%であった。2番目に割合が高かったのが「分からない」の14.2%で、「特定の魅力ではなくイメージを強く発信していくべき」の13.6%と続いた。

「様々な魅力を発信すべき」の割合が6割以上であったことから、様々な魅力を発信している現在のシティプロモーションは、市民の求める方向性に合致していると言える。

【性別、年代別、地区別の回答数】

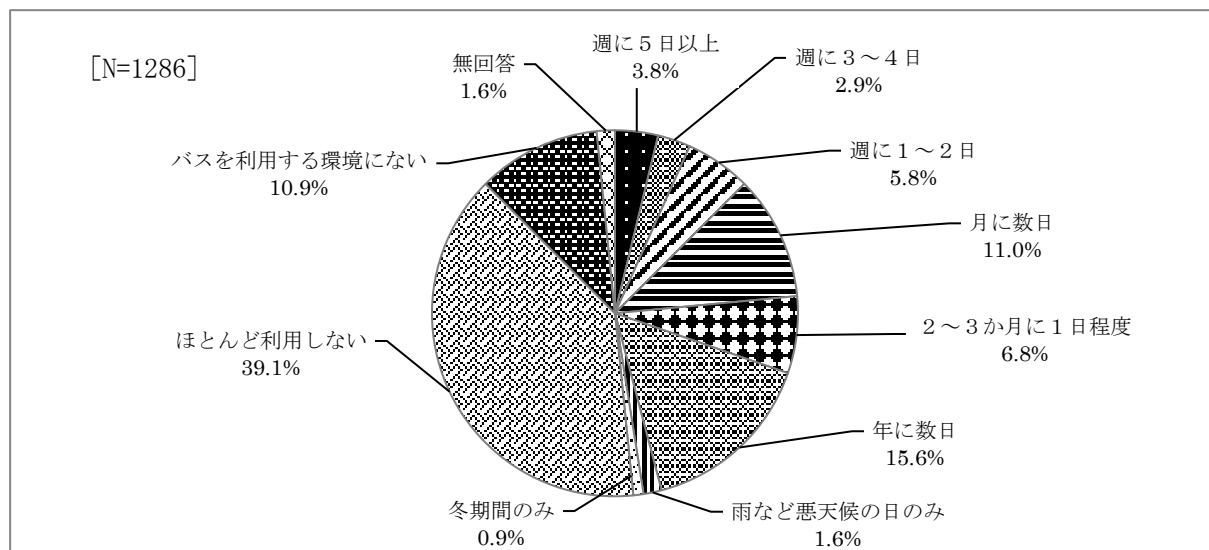
		実数 (人)	様々な魅力を発信すべき	特徴のある特産品など1つを強く発信すべき	特定の魅力ではなくイメージを強く発信していくべき	分からない	その他	無回答
全体		1286	782	72	175	183	40	34
地区	河北	406	246	21	61	45	22	11
	河南	175	117	4	24	23	2	5
	盛南	182	105	12	29	30	3	3
	厨川	281	178	13	33	43	7	7
	都南	205	120	16	23	35	4	7
	玉山	37	16	6	5	7	2	1
性別	男	601	345	45	105	77	21	8
	女	685	437	27	70	106	19	26
年齢	18～19歳	18	16	2	0	0	0	0
	20～29歳	84	53	4	11	14	2	0
	30～39歳	115	68	9	21	14	3	0
	40～49歳	196	126	10	25	24	10	1
	50～59歳	222	141	16	29	28	6	2
	60～69歳	241	147	8	43	26	11	6
	70歳以上	410	231	23	46	77	8	25

《テーマ5 交通について》

問 28 あなたは、民間の路線バス（岩手県交通バス、岩手県北バス、JRバス）をどの程度利用していますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

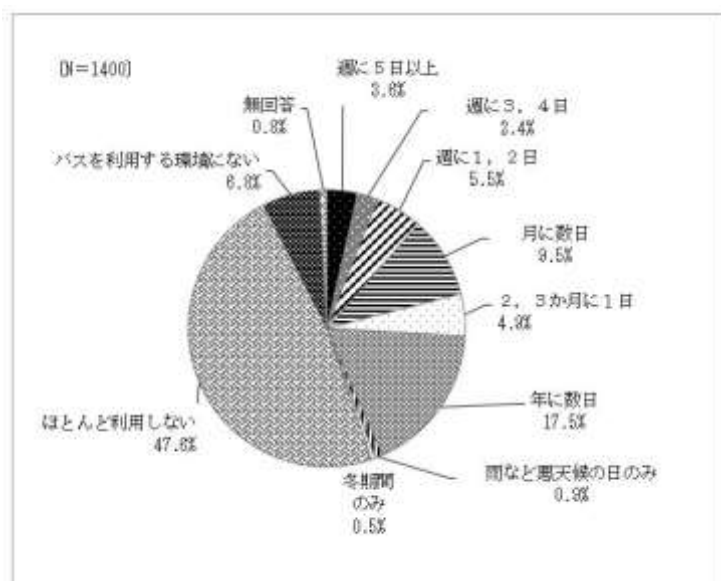
- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 週に5日以上 | 6 年に数日 |
| 2 週に3～4日 | 7 雨など悪天候の日のみ |
| 3 週に1～2日 | 8 冬期間のみ |
| 4 月に数日 | 9 ほとんど利用しない |
| 5 2～3か月に1日程度 | 10 バスを利用する環境にない |

【全体】

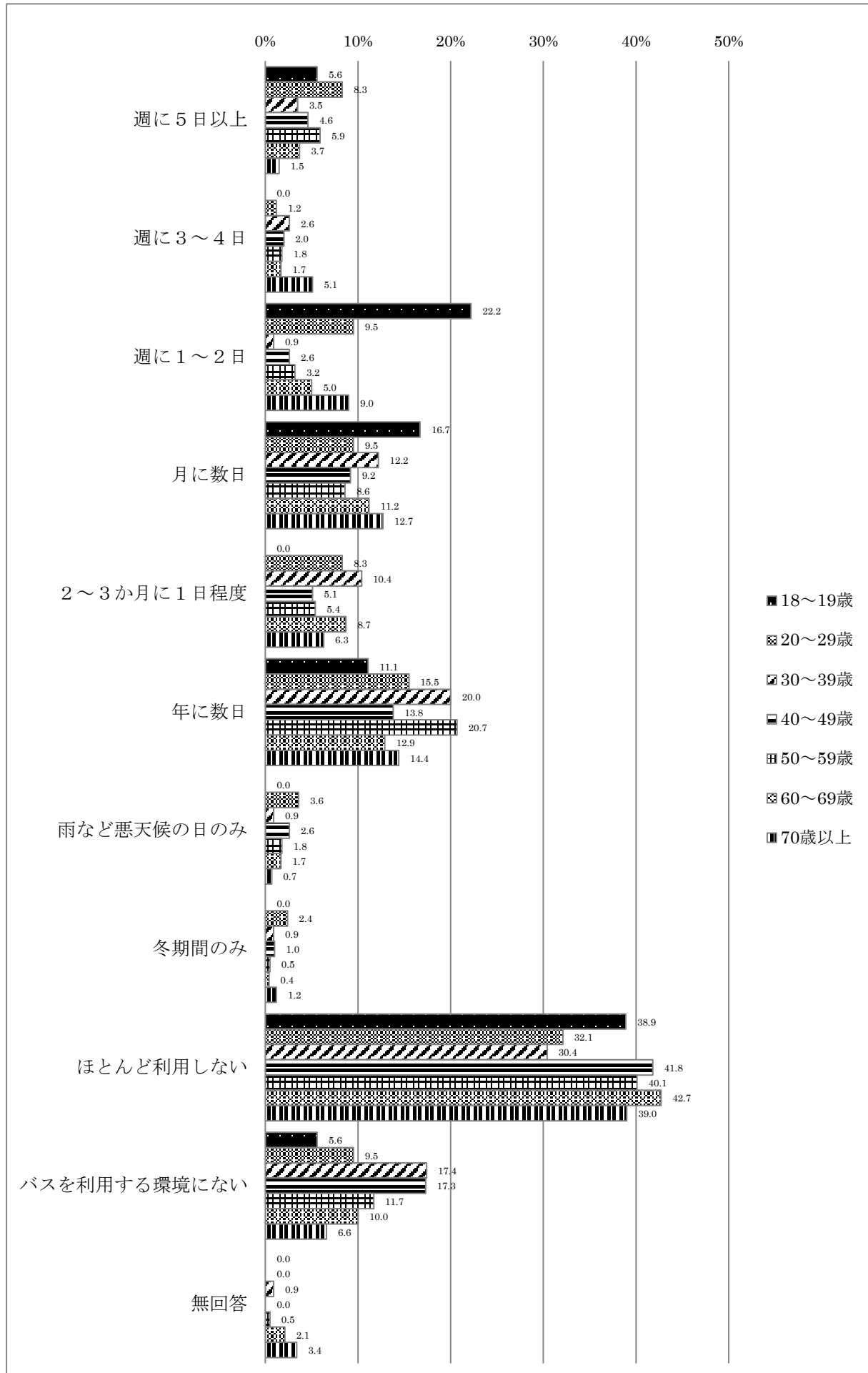


【参考】

令和3年度市民アンケート調査



【年代別】



【全体を通じて】

「ほとんど利用しない」の割合が39.1%となっており、「週に5日以上」「週に3～4日」「週に1～2日」の合計が12.5%となっている。令和3年度「市民アンケート調査（交通手段について）」では「ほとんど利用しない」が47.6%、「週に5日以上」「週に3、4日」「週に1、2日」の合計が11.5%であったことから、バスの利用頻度が増えている状況となっている。

バス路線を維持していくためには、バス利用者を増やすことが望ましいことから、引き続き日常的にバスの利用を促進する施策が必要であると考えられる。

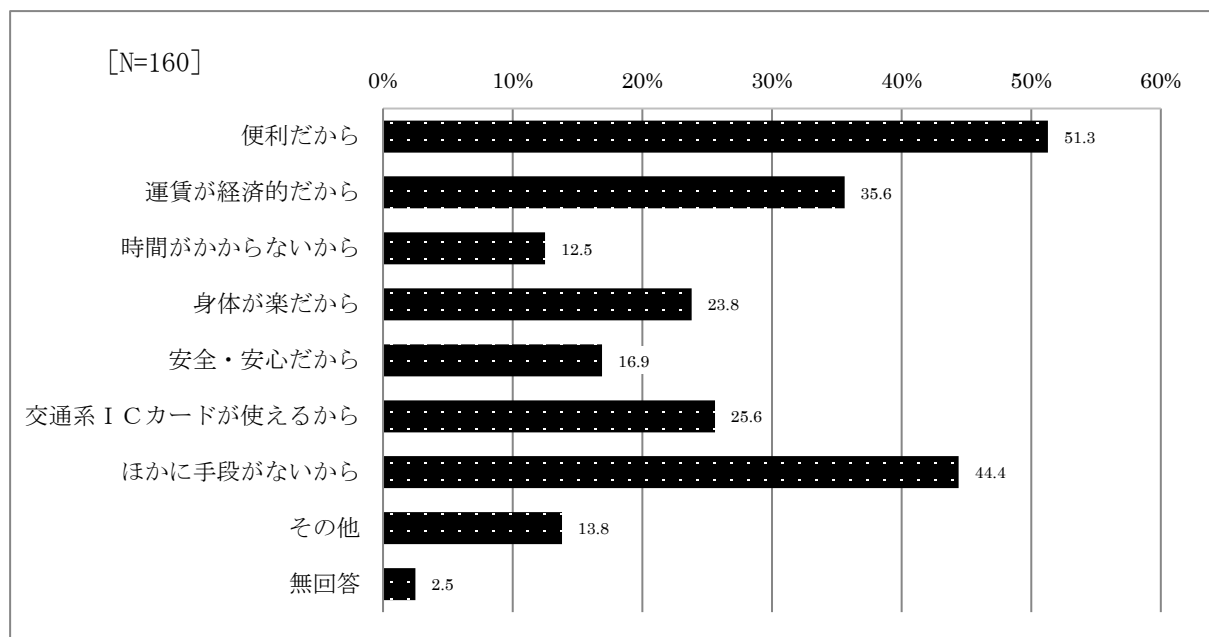
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	週に 5日 以上	週に 3～ 4日	週に 1～ 2日	月に 数日	2～3 か月に 1日程度	年に 数日	雨など 悪天候の 日のみ	冬期 間のみ	ほとん ど利用し ない	バスを 利用する 環境に ない	無回 答
全体		1286	49	37	74	141	88	201	20	12	503	140	21
地区	河北	406	23	17	31	53	29	68	7	5	136	30	7
	河南	175	4	6	18	23	15	17	8	2	60	17	5
	盛南	182	5	2	5	15	9	27	5	0	88	25	1
	厨川	281	14	9	15	32	17	56	0	2	109	23	4
	都南	205	3	3	4	17	16	30	0	3	90	35	4
	玉山	37	0	0	1	1	2	3	0	0	20	10	0
性別	男	601	21	10	29	60	50	102	10	4	244	64	7
	女	685	28	27	45	81	38	99	10	8	259	76	14
年齢	18～19歳	18	1	0	4	3	0	2	0	0	7	1	0
	20～29歳	84	7	1	8	8	7	13	3	2	27	8	0
	30～39歳	115	4	3	1	14	12	23	1	1	35	20	1
	40～49歳	196	9	4	5	18	10	27	5	2	82	34	0
	50～59歳	222	13	4	7	19	12	46	4	1	89	26	1
	60～69歳	241	9	4	12	27	21	31	4	1	103	24	5
	70歳以上	410	6	21	37	52	26	59	3	5	160	27	14

問 29 問 28 で「1 週に5日以上」「2 週に3～4日」「3 週に1～2日」を選んだ方にお聞きします。その利用頻度になっている理由は何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

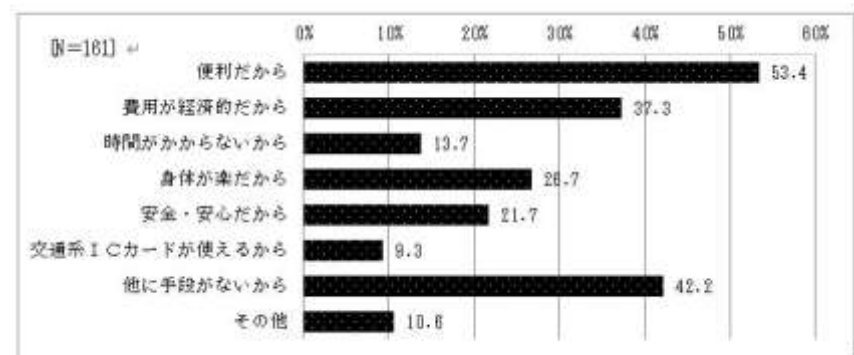
- | | |
|--------------|---------------------|
| 1 便利だから | 5 安全・安心だから |
| 2 運賃が経済的だから | 6 交通系 I C カードが使えるから |
| 3 時間がかからないから | 7 ほかに手段がないから |
| 4 身体が楽だから | 8 その他 () |

【全体】

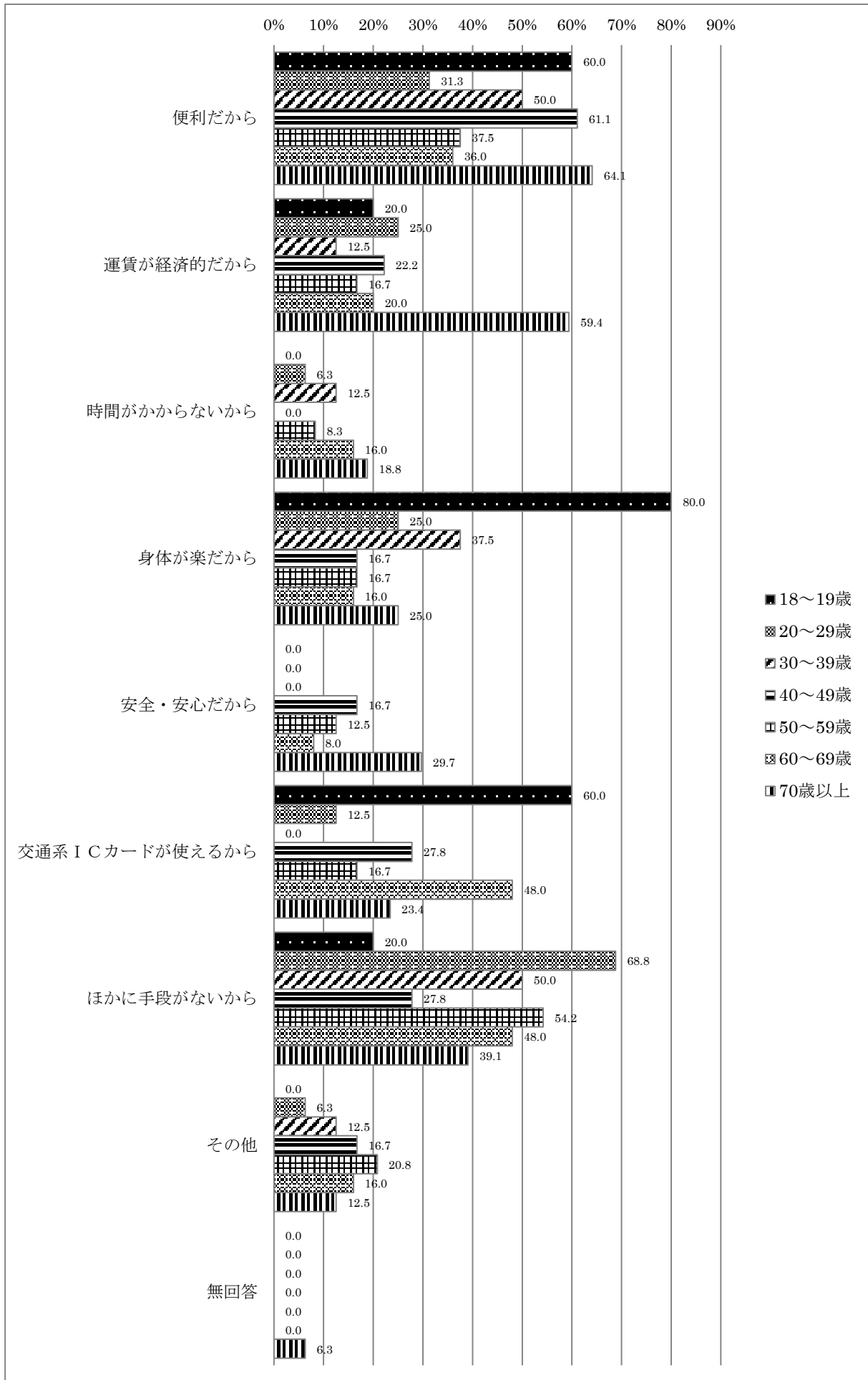


【参考】

令和3年度市民アンケート調査



【年代別】



【全体を通じて】

「ほかに手段がないから」の割合が4割以上となっており、公共交通機関としての手段がバスしかない人の割合が高い状況となっている。「便利だから」の割合は51.3%となっているが、令和3年度「市民アンケート調査（交通手段について）」では「便利だから」の割合が53.4%であった。盛岡市地域公共交通網形成計画では、「便利だから」の目標割合を67.0%としており、バス利用の満足度を高める施策が更に求められる。

「その他」では、通勤手段として等、バスを必要としている回答が多く寄せられていることから、バス路線の維持は求められていると考えられる。

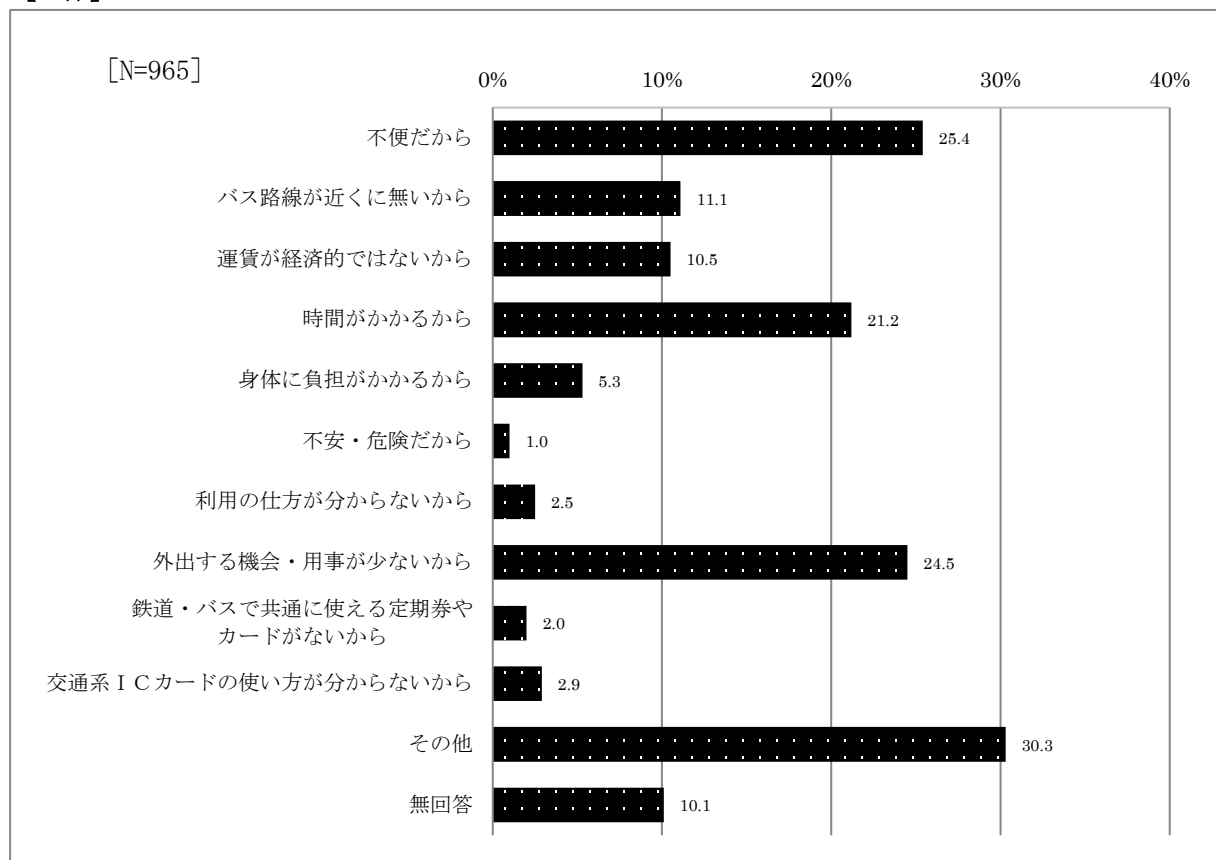
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	便利だから	運賃が経済的だから	時間がかからないから	身体が楽だから	安全・安心だから	交通系ICカードが使えるから	ほかに手段がないから	その他	無回答
全体		160	82	57	20	38	27	41	71	22	4
地区	河北	71	39	22	8	14	12	14	35	11	1
	河南	28	14	15	10	9	5	8	13	1	1
	盛南	12	5	4	1	5	2	4	4	4	0
	厨川	38	20	13	1	8	6	12	14	3	2
	都南	10	4	3	0	2	2	3	5	2	0
	玉山	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
性別	男	60	28	20	5	9	7	14	24	12	2
	女	100	54	37	15	29	20	27	47	10	2
年齢	18～19歳	5	3	1	0	4	0	3	1	0	0
	20～29歳	16	5	4	1	4	0	2	11	1	0
	30～39歳	8	4	1	1	3	0	0	4	1	0
	40～49歳	18	11	4	0	3	3	5	5	3	0
	50～59歳	24	9	4	2	4	3	4	13	5	0
	60～69歳	25	9	5	4	4	2	12	12	4	0
	70歳以上	64	41	38	12	16	19	15	25	8	4

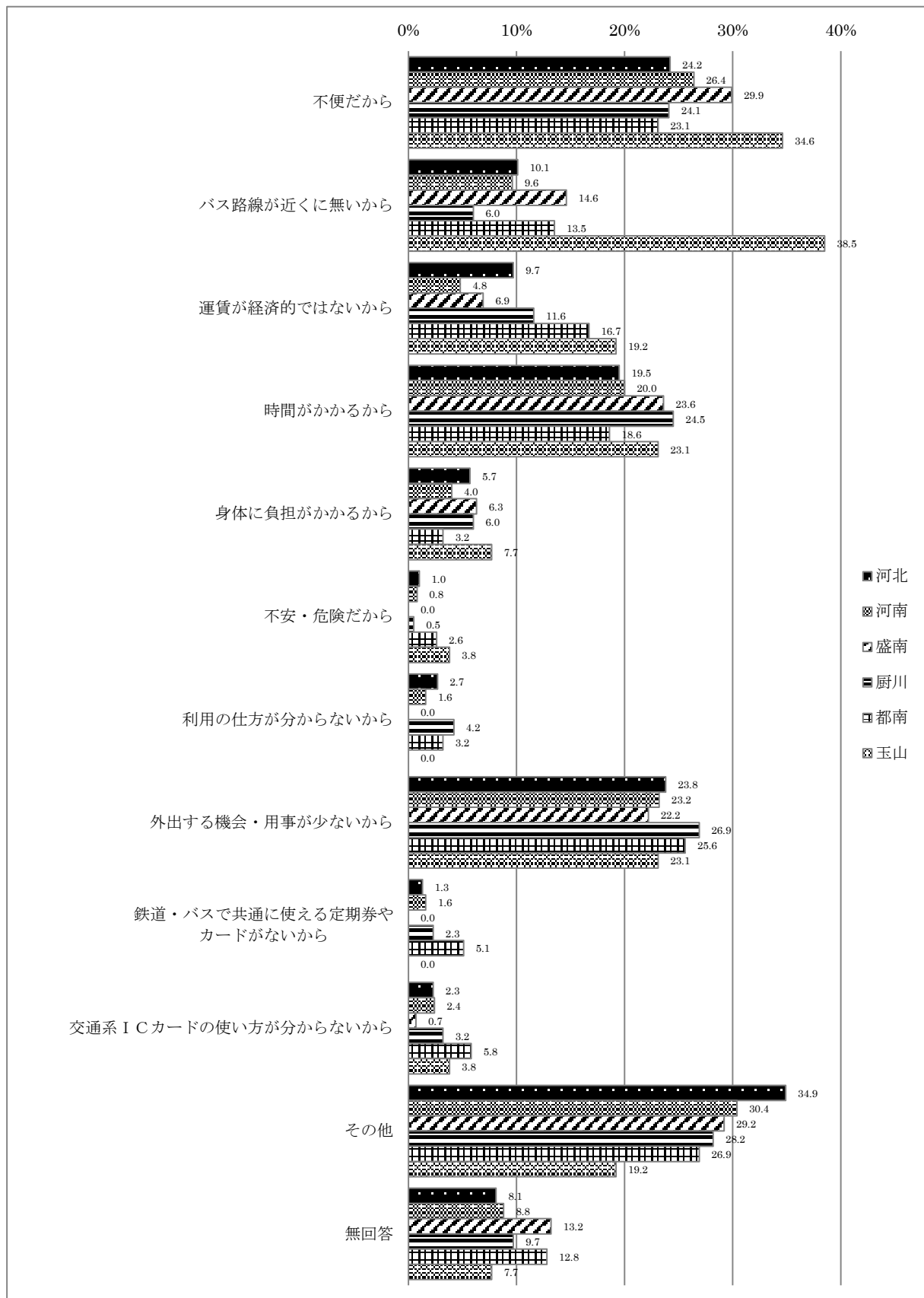
問 30 問 28 で「4 月に数日」「5 2～3か月に1日程度」「6 年に数日」「7 雨など悪天候の日のみ」「8 冬期間のみ」「9 ほとんど利用しない」を選んだ方にお聞きします。その利用頻度になっている理由は何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | | |
|-----------------|----------------------------|
| 1 不便だから | 8 外出する機会・用事が少ないから |
| 2 バス路線が近くに無いから | 9 鉄道・バスで共通に使える定期券やカードがないから |
| 3 運賃が経済的ではないから | 10 交通系 I C カードの使い方が分からないから |
| 4 時間がかかるから | 11 その他 () |
| 5 身体に負担がかかるから | |
| 6 不安・危険だから | |
| 7 利用の仕方が分からないから | |

【全体】



【地区別】



「不便だから」が玉山地区、盛南地区で割合が高くなっている。「バス路線が近くに無いから」は玉山地区で割合が高くなっている。

両地区のバス路線を検証し、他の公共交通機関との関連を見て、今後の施策を検討する必要があると考えられる。

【性別、年代別、地区別の回答数】

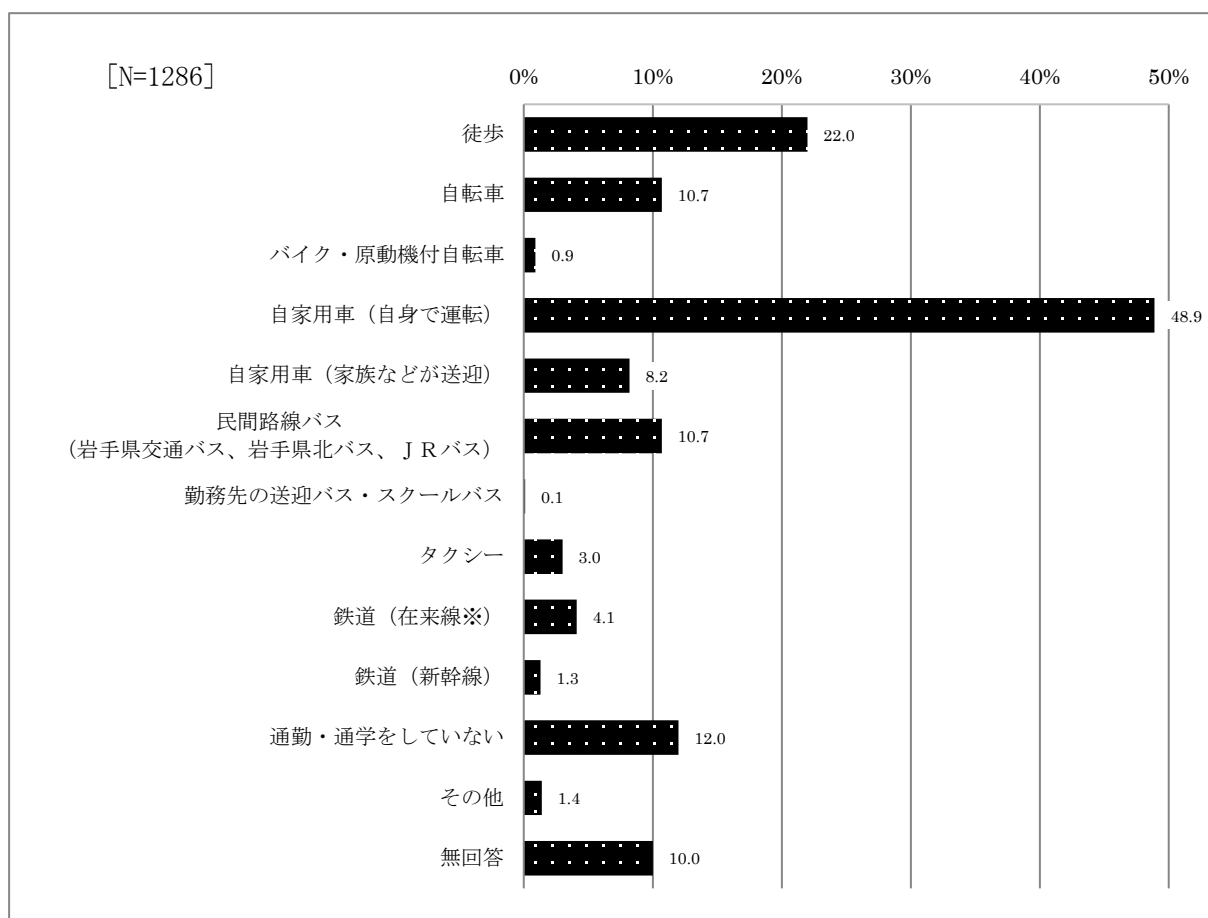
		実数（人）	不便だから	バス路線が近くに無いから	運賃が経済的ではないから	時間がかかるから	身体に負担がかかるから	不安・危険だから	利用の仕方が分からないから	外出する機会・用事が少ないから	鉄道・バスで共通に使える定期券やカードがないから	交通系ＩＣカードの使い方が分からないから	その他	無回答
全体		965	245	107	101	205	51	10	24	236	19	28	292	97
地区	河北	298	72	30	29	58	17	3	8	71	4	7	104	24
	河南	125	33	12	6	25	5	1	2	29	2	3	38	11
	盛南	144	43	21	10	34	9	0	0	32	0	1	42	19
	厨川	216	52	13	25	53	13	1	9	58	5	7	61	21
	都南	156	36	21	26	29	5	4	5	40	8	9	42	20
	玉山	26	9	10	5	6	2	1	0	6	0	1	5	2
性別	男	470	127	55	49	111	18	3	13	110	8	14	148	38
	女	495	118	52	52	94	33	7	11	126	11	14	144	59
年齢	18～19歳	12	2	3	2	1	0	0	0	3	0	0	3	1
	20～29歳	60	22	9	13	14	2	1	3	11	1	2	14	4
	30～39歳	86	26	12	9	25	4	0	2	14	1	1	25	7
	40～49歳	144	37	17	17	30	4	1	4	22	4	1	51	18
	50～59歳	171	46	13	24	45	5	1	2	34	4	4	57	11
	60～69歳	187	59	18	20	41	7	1	3	41	4	7	59	19
	70歳以上	305	53	35	16	49	29	6	10	111	5	13	83	37

※ 問 31～33 の在来線とは、ＪＲ東北本線、ＪＲ田沢湖線、ＪＲ山田線、ＪＲ花輪線、ＩＧＲいわて銀河鉄道線のことです。

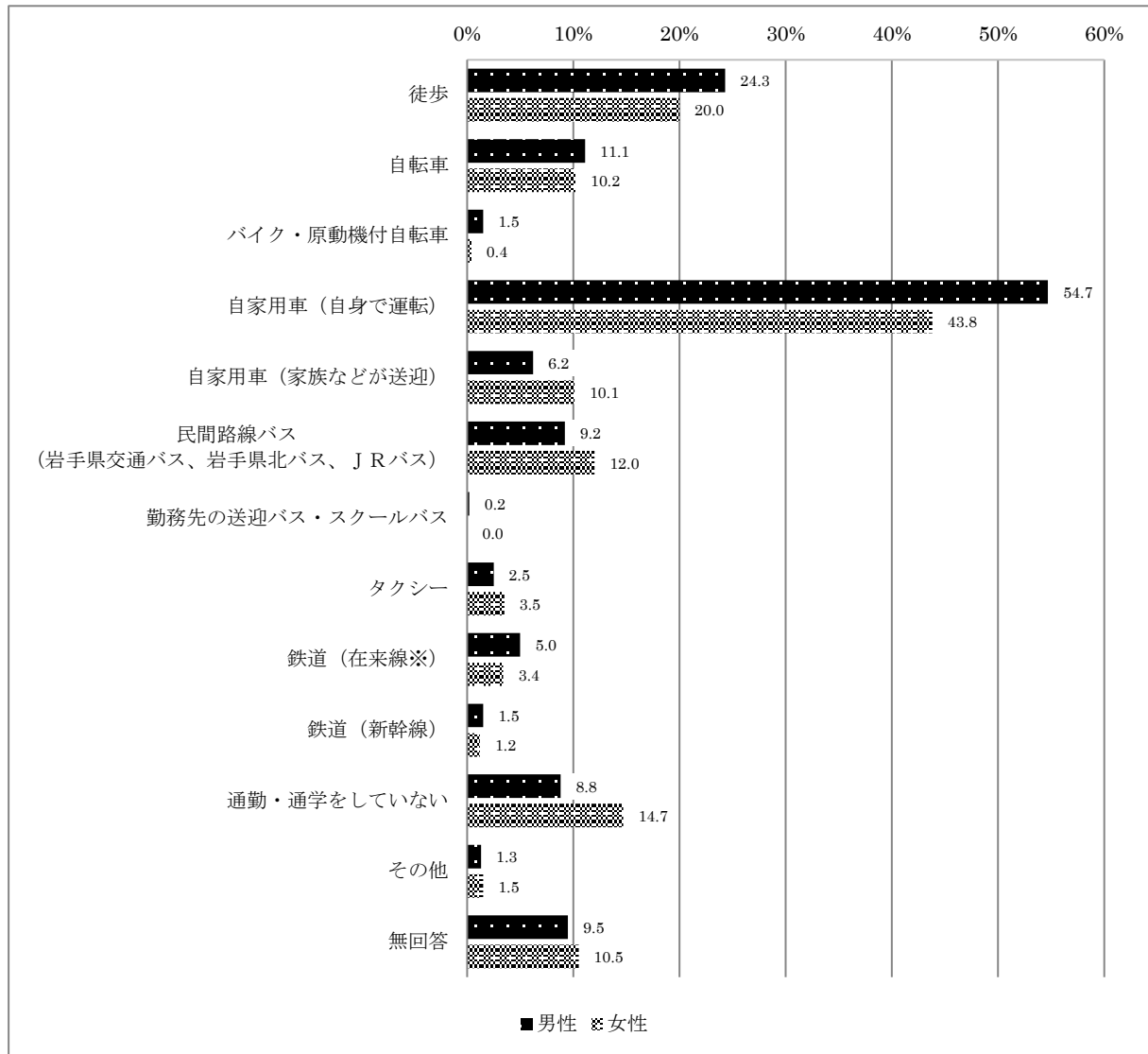
問 31 あなたが、普段、通勤・通学に利用している交通手段は何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| 1 徒歩 | 7 勤務先の送迎バス・スクールバス |
| 2 自転車 | 8 タクシー |
| 3 バイク・原動機付自転車 | 9 鉄道（在来線※） |
| 4 自家用車（自身で運転） | 10 鉄道（新幹線） |
| 5 自家用車（家族などが送迎） | 11 通勤・通学をしていない |
| 6 民間路線バス（岩手県交通バス、岩手県北バス、ＪＲバス） | 12 その他（ ） |

【全体】



【性別】



【全体を通じて】

「自家用車（自身が運転）」の割合が48.9%と最も高い一方で、「民間路線バス（岩手県交通バス、岩手県北バス、J Rバス）」が10.7%、「鉄道（在来線※）」が4.1%、「タクシー」が3.0%であり、公共交通機関の割合が低い。盛岡市総合交通計画の基本方針である「自家用車利用を抑制し、公共交通機関や自転車の利用への転換を図る」ための施策が更に求められる。

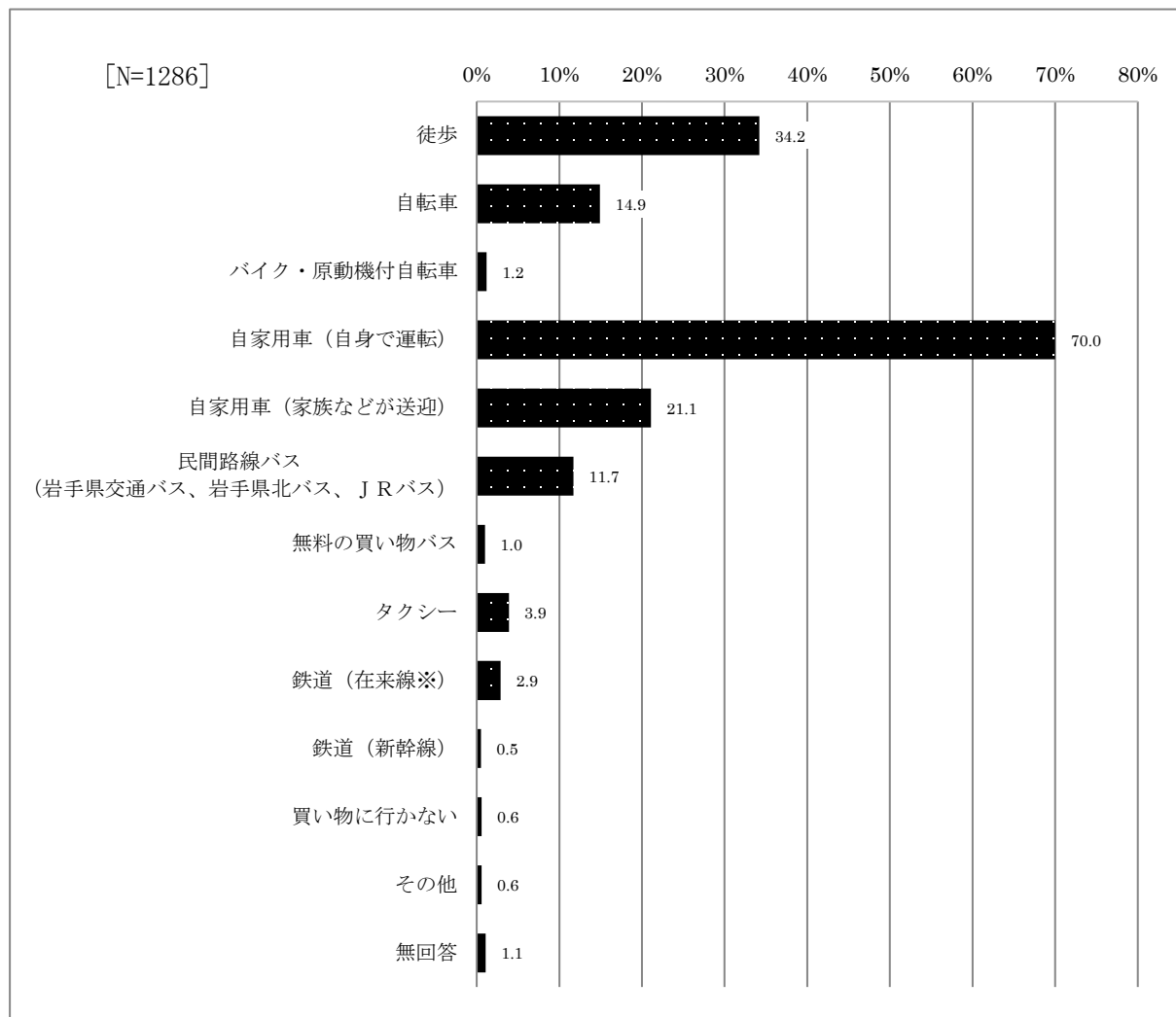
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数（人）	徒歩	自転車	バイク・原動機付自転車	自家用車（自身で運転）	自家用車（家族などが送迎）	民間路線バス（岩手県交通バス、岩手県北バス、JRバス）	勤務先の送迎バス・スクールバス	タクシー	鉄道（在来線※）	鉄道（新幹線）	通勤・通学をしていない	その他	無回答
全体		1286	283	137	12	629	106	137	1	39	53	17	154	18	129
地区	河北	406	98	46	3	180	40	59	1	12	16	9	46	8	43
	河南	175	54	29	2	69	13	16	0	6	0	0	23	2	21
	盛南	182	35	21	1	104	16	11	0	8	5	1	20	1	14
	厨川	281	60	28	2	141	17	40	0	6	14	5	38	4	22
	都南	205	32	13	3	116	18	10	0	7	17	2	20	1	24
	玉山	37	4	0	1	19	2	1	0	0	1	0	7	2	5
性別	男	601	146	67	9	329	37	55	1	15	30	9	53	8	57
	女	685	137	70	3	300	69	82	0	24	23	8	101	10	72
年齢	18～19歳	18	9	10	0	4	3	2	0	0	0	0	0	0	1
	20～29歳	84	25	14	2	35	7	13	0	0	4	1	5	2	1
	30～39歳	115	26	12	1	80	5	7	0	2	7	2	6	0	0
	40～49歳	196	44	27	1	127	10	19	0	1	7	7	13	1	4
	50～59歳	222	60	24	3	146	12	26	1	6	8	2	18	1	7
	60～69歳	241	52	26	2	121	18	28	0	6	11	2	40	4	14
	70歳以上	410	67	24	3	116	51	42	0	24	16	3	72	10	102

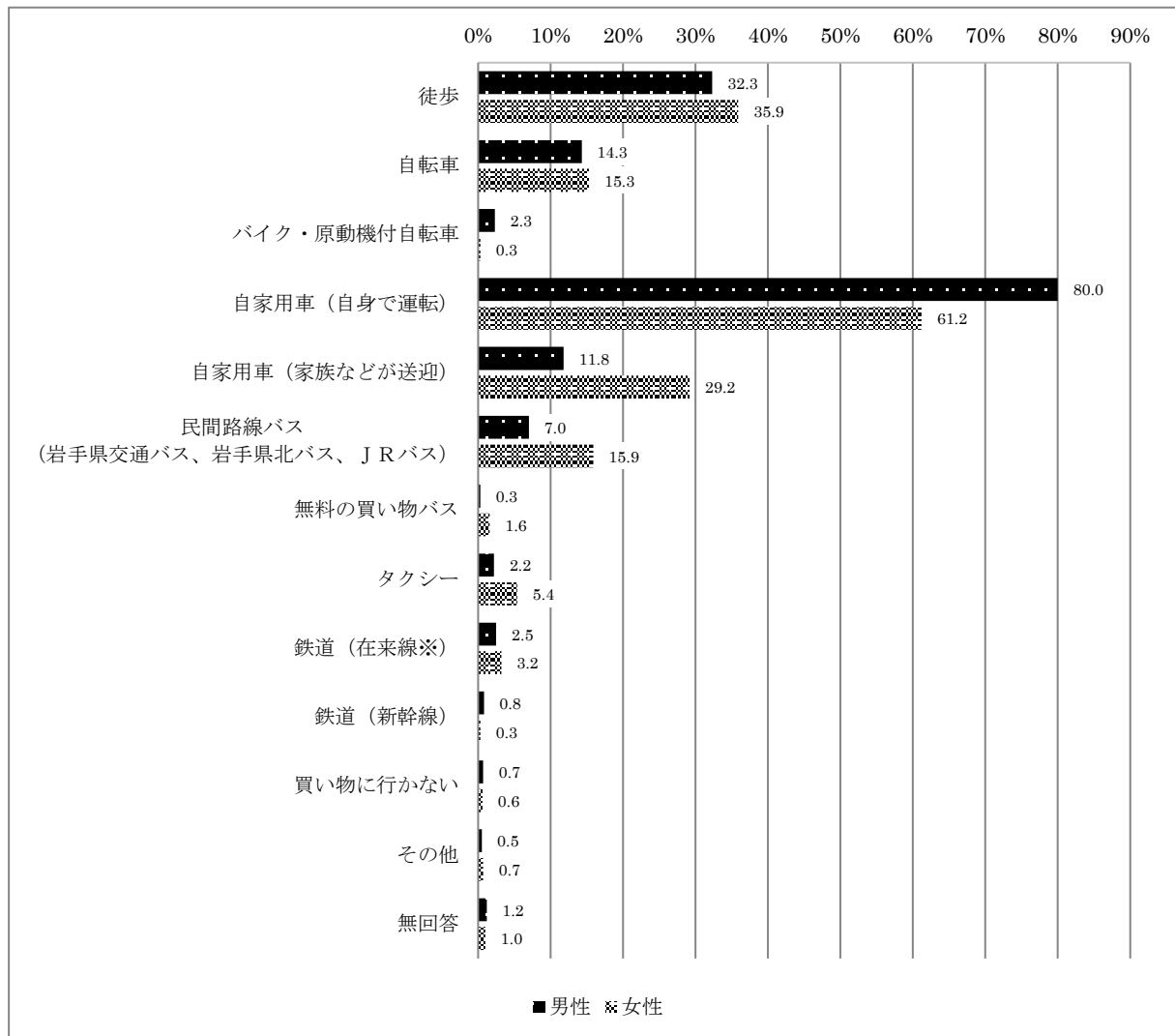
問 32 あなたが、普段、買い物に行く際に利用している交通手段は何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

1 徒歩	7 無料の買い物バス
2 自転車	8 タクシー
3 バイク・原動機付自転車	9 鉄道（在来線※）
4 自家用車（自身で運転）	10 鉄道（新幹線）
5 自家用車（家族などが送迎）	11 買い物に行かない
6 民間路線バス（岩手県交通バス、岩手県北バス、J Rバス）	12 その他（ ）

【全体】



【性別】



【全体を通じて】

「自家用車(自身が運転)」の割合が70.0%と最も高くなっており、問31「通勤・通学に利用する交通手段」、問33「定期的な通院に利用する交通手段」における回答の割合を上回っている。

自家用車から公共交通利用や自転車への転換を図るため、普段の買い物において、現在、盛岡市が満70歳以上に対して行っている「まちなか・おでかけバス」や「玉山地域列車でおでかけきっぷ」などの事業を検証するとともに、商店街等とも協議し、施策を検討することが必要と考えられる。

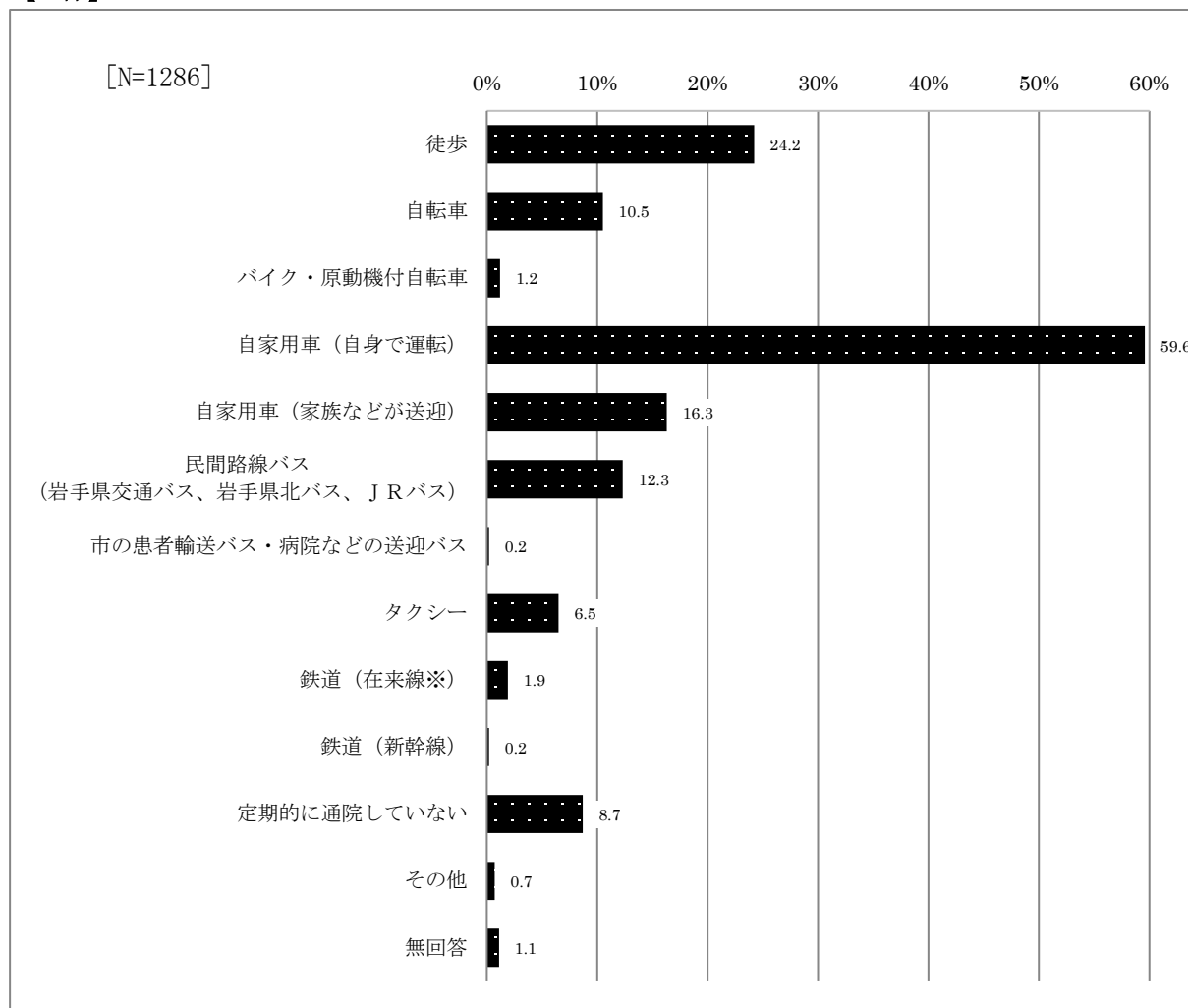
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	徒歩	自転車	バイク・原動機付自転車	自家用車 (自身で運転)	自家用車 (家族などが送迎)	民間路線バス (岩手県交通バス、岩手県北バス、JRバス)	無料の買い物バス	タクシー	鉄道 (在来線※)	鉄道 (新幹線)	買い物に行かない	その他	無回答
全体		1286	440	191	16	900	271	151	13	50	37	7	8	8	14
地区	河北	406	162	62	5	265	93	60	5	18	6	1	2	2	5
	河南	175	75	30	2	108	30	27	4	10	2	2	2	2	5
	盛南	182	52	28	1	135	37	16	1	8	6	1	1	1	1
	厨川	281	97	48	3	209	64	34	3	7	13	1	0	1	1
	都南	205	48	22	4	156	39	12	0	5	9	2	1	1	2
	玉山	37	6	1	1	27	8	2	0	2	1	0	2	1	0
性別	男	601	194	86	14	481	71	42	2	13	15	5	4	3	7
	女	685	246	105	2	419	200	109	11	37	22	2	4	5	7
年齢	18～19歳	18	10	8	0	4	7	3	0	0	2	0	0	0	1
	20～29歳	84	27	12	1	54	31	11	0	1	3	1	1	0	0
	30～39歳	115	35	11	0	96	23	6	1	2	3	0	1	0	0
	40～49歳	196	46	29	2	171	29	8	0	1	3	1	1	1	0
	50～59歳	222	75	34	0	180	31	19	2	3	5	0	0	0	0
	60～69歳	241	82	33	4	196	34	18	0	4	3	1	1	3	1
	70歳以上	410	165	64	9	199	116	86	10	39	18	4	4	4	12

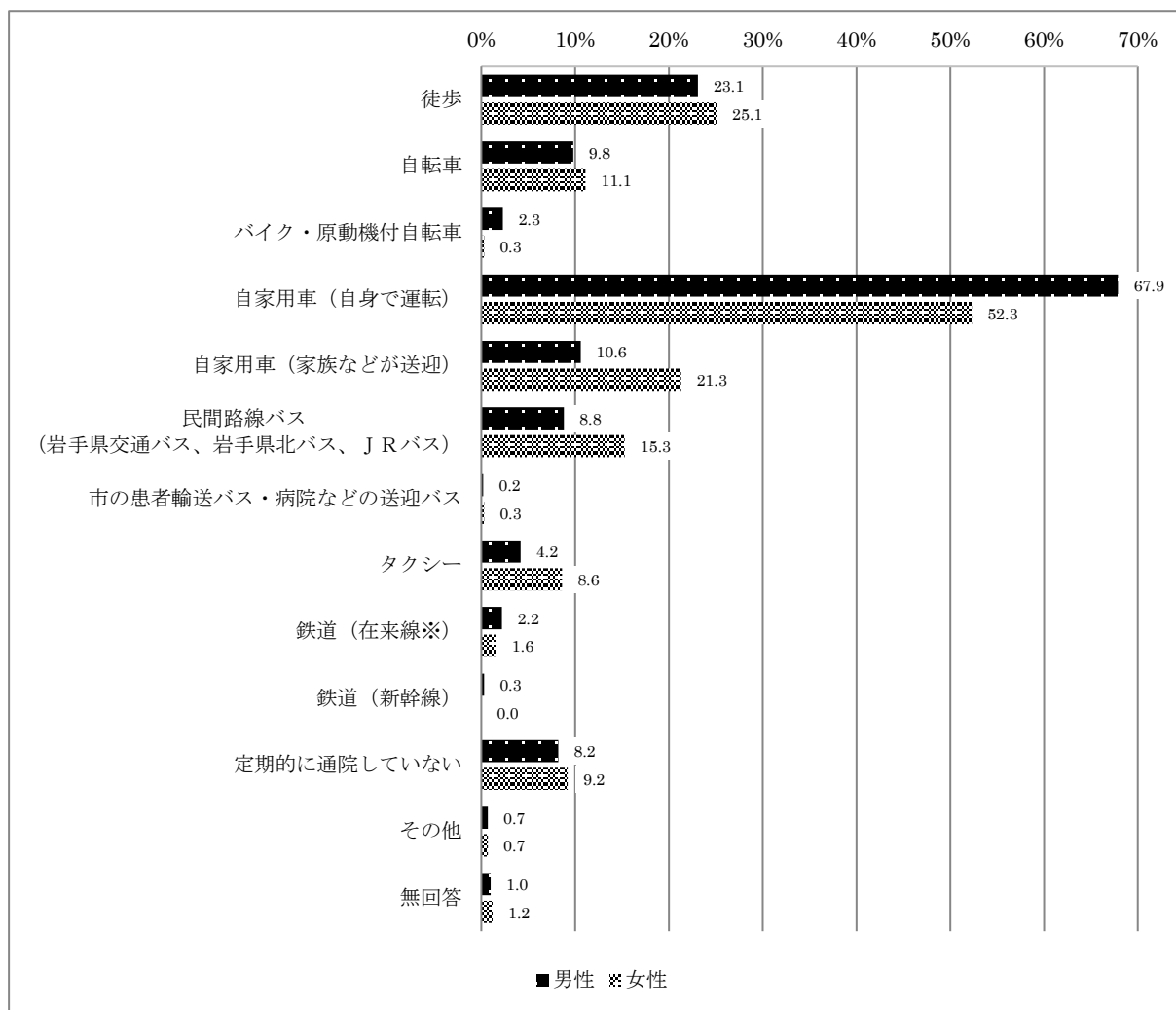
問 33 あなたが、普段、定期的な通院に利用している交通手段は何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | | |
|--------------------------------|----------------------|
| 1 徒歩 | 7 市の患者輸送バス・病院などの送迎バス |
| 2 自転車 | 8 タクシー |
| 3 バイク・原動機付自転車 | 9 鉄道（在来線※） |
| 4 自家用車（自身で運転） | 10 鉄道（新幹線） |
| 5 自家用車（家族などが送迎） | 11 定期的に通院していない |
| 6 民間路線バス（岩手県交通バス、岩手県北バス、J Rバス） | 12 その他（ ） |

【全体】



【性別】



【全体を通じて】

「自家用車（自身が運転）」が59.6パーセントと高くなっている。バス・タクシーの利用については、問31「通勤・通学に利用する交通手段」、問32「日頃の買い物に利用する交通手段」と同様に一定の利用があるため、公共交通網の再編や利便性を高める必要性があると考ええる。

【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	徒歩	自転車	バイク・原動機付自転車	自家用車 (自身で運転)	自家用車 (家族などが送迎)	民間路線バス (岩手県交通バス、岩手県北バス、JRバス)	市の患者輸送バス・病院などの送迎バス	タクシー	鉄道 (在来線※)	鉄道 (新幹線)	定期的に通院していない	その他	無回答
全体		1286	311	135	16	766	210	158	3	84	24	2	112	9	14
地区	河北	406	123	45	5	214	74	57	1	23	4	0	34	1	4
	河南	175	64	30	3	87	20	25	1	17	0	0	19	2	6
	盛南	182	30	17	0	118	32	18	0	16	2	1	15	0	1
	厨川	281	61	27	4	182	47	38	0	14	6	0	26	3	1
	都南	205	27	15	3	142	29	18	1	12	11	1	13	2	2
	玉山	37	6	1	1	23	8	2	0	2	1	0	5	1	0
性別	男	601	139	59	14	408	64	53	1	25	13	2	49	4	6
	女	685	172	76	2	358	146	105	2	59	11	0	63	5	8
年齢	18～19歳	18	6	3	0	1	5	1	0	0	0	0	6	0	1
	20～29歳	84	18	6	1	45	18	8	0	2	2	0	13	1	0
	30～39歳	115	21	8	1	81	11	10	0	4	3	2	16	0	0
	40～49歳	196	28	20	2	139	21	7	1	3	2	0	29	2	0
	50～59歳	222	46	25	1	155	21	22	1	7	2	0	23	0	0
	60～69歳	241	64	25	3	169	24	19	0	7	4	0	17	2	1
	70歳以上	410	128	48	8	176	110	91	1	61	11	0	8	4	12

令和6年度市民アンケート調査結果報告書
令和7年1月発行

〈発行・編集〉

盛岡市市長公室広聴広報課
〒020-8530 盛岡市内丸12番2号
電話 (019) 626-7517 (直通)

〈調査結果の考察担当〉

- ・市長公室広聴広報課
- ・総務部危機管理防災課
- ・市民部市民協働推進課
- ・市長公室都市戦略室
- ・建設部交通政策課

この報告書は再生紙を使用しています。